医療機関における外国人患者の 受入に係る実態調査 結果報告書

令和4年3月 厚生労働省

目次

第1章	調査の概要1
	1. 調査の背景目的
	2. 調査の目的2
	3. 調査の対象及び調査時期2
	4. 調査実施方法2
	5. 回収結果
	6. 報告書を見る際の注意事項 3
第2章	調査結果(病院)4
	I. 調査票 A 結果6
	1. 回答した医療機関の基本情報6
	(1) 開設者6
	(2) 病床数6
	(3) 1日平均外来患者数 (FA)7
	(4) 1日平均在院患者数 (FA)7
	(5) 医療機関の種別 (MA)8
	(6) 診療科目9
	2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて
	(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)10
	(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)11
	(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)12
	(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)13
	(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)14
	(6) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)の利用状況 (SA) 15
	(7) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業) の利用状況 (SA) 16
	(8) 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況(SA)17
	3. 外国人患者に対応する体制について
	3-1. 外国人患者の受入れに関する体制
	(1) -1 自院における外国人患者の受診状況(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)(SA)18
	(1)-2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出(SA)19
	(1) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」(SA)19
	3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況20
	(2) -1 外国人患者対応専門部署の有無 (SA)20
	(2) - 2 外国人患者対応専門部署の職員数 (FA)20
	(2) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)21
	3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター21
	(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)21
	(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)22
	(3) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)23

(3) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)	24
(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)	24
(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)	25
(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)	26
3-4. 医療通訳	27
(4) -1 医療通訳の人数 (SA)	27
(4) -2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)	27
(4) -3 医療通訳の兼職 (MA)	28
(4) - 4 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)	29
(4) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)	29
(4) -6 医療通訳の対応言語 (MA)	30
(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)	31
3-5. 電話通訳(遠隔通訳)	31
(5) -1 電話通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	31
(5) - 2 電話通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)	32
(5) - 3 電話通訳 (遠隔通訳) の対応言語 (MA)	33
3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)	34
(6) -1 ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況(SA)	34
(6) - 2 ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時(SA)	34
(6) - 3 ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語(MA)	35
3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況.	36
(7) - 1 タブレット端末等の利用状況 (SA)	36
(7) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)	37
(7) -3 現在使用している端末に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語(SA) . 38
3-8. 院内案内図、院内表示	38
(8) - 1 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)	38
(8) - 2 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)	39
3-9. 訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について(SA)	40
3-10. 多言語に対応するためのその他の取組など (FA)	40
4. 医療費について	41
4-1. 医療費(自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について	41
(1) 自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの請求額 (SA)	41
(2) 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況(SA)	41
(3) 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)	42
4-2. 医療費(保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費) について	43
(1) 保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況(SA)	43
(2) 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)	44
5. キャッシュレス決済について	45
(1) クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済の導入状況(SA)	45
(2) QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)	45
(3) 対応している QR コードサービス (MA)	46
(4) その他の電子マネーを利用した決済の導入状況 (SA)	47

	(5) その他対応している電子マネー (MA)
	(6) その他の決済サービスの導入状況 (SA)
	(7) その他の決済サービスの利用状況 (FA)
	6. 未収金等への対策について
	6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している取り組み50
	(1) -1 訪日外国人患者への取り組み状況 (SA)
	(1) - 2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み (MA)51
	(1) - 3 同意書の同意内容 (MA)
	6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み53
	(2) -1 在留外国人患者への本人確認実施の有無 (SA)53
	(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)
	6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法55
	(3) -1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況 (SA)
	(3) - 2 医療費の回収方法 (MA)
	II. 調査票 B 結果
	1. 外国人患者受入れの有無
	2. 在留外国人患者の受入れ実績について
	(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (FA)
	(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)59
	(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)60
	(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)61
	3. 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れ実績について
	(1) 訪日外国人患者 (医療渡航を除く) の受入れの有無及び延べ人数 (FA)62
	(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航を除く))(FA)63
	(3) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別の延べ人数(MA)64
	4. 訪日外国人患者 (医療渡航) の受入れ実績について
	(1) 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れの有無及び延べ人数(FA)65
	(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航))(FA)66
	(3) 受入れた訪日外国人患者 (医療渡航) の国籍別の延べ人数 (MA)67
	(4) 受入れた訪日外国人患者 (医療渡航) の ICD 分類 (FA)68
	5. 未収金を生じた患者について 69
	(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)69
	(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)70
	(3) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)(FA)71
	(4) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)(FA)71
第3章	調査結果(診療所)72
	I. 調査票 A 結果 74
	1. 回答した医療機関の基本情報
	(1) 開設者 (SA)
	(2) 病床の有無 (SA)
	(3) 1日平均外来患者数 (FA)
	(4) 1日平均在院患者数 (FA)75

(5)) 医療機関の種別(MA)	75
(6)) 診療科目 (MA)	76
2. 厚	厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて	77
(1)) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)	77
(2)) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)	77
(3)) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)	78
(4)) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)	78
(5)) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)	79
(6)) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)の利用状況 (SA)	79
(7)) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業)の利用状況(SA)	80
(8)) 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況 (SA)	80
3. 夕	外国人患者に対応する体制について	81
3-1.	外国人患者の受入れに関する体制	81
(1)) - 1 自院における外国人患者の受診状況(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)(SA)	81
(1)) - 2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出 (SA)	81
(1)) - 3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」(SA)	82
3-2.	外国人患者を受入れる体制の整備状況	82
(2)) - 1 外国人患者対応専門部署の有無 (SA)	82
(2))-2 外国人患者対応専門部署担当の職員数 (FA)	83
(2)) - 3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)	83
3-3.	外国人患者受入れ医療コーディネーター	84
(3)) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)	84
(3)) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)	84
(3)) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)	85
) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別 (SA)	
(3)) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)	86
(3)) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)	86
(3)) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)	87
3-4.	医療通訳	87
(4))-1 医療通訳の人数(SA)	87
(4)) - 2 医療通訳の専任・兼任の別 (SA)	88
(4))-3 医療通訳の兼職(MA)	88
(4)) - 4 医療通訳の常勤・非常勤の別 (SA)	89
(4)) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)	89
(4)) - 6 医療通訳の対応言語 (MA)	90
(4)) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)	90
3-5.	電話通訳(遠隔通訳)	91
(5)) - 1 電話通訳(遠隔通訳)の利用状況(SA)	91
(5)) - 2 電話通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)	91
(5)) - 3 電話通訳(遠隔通訳)の対応言語(MA)	92
3-6.	ビデオ通訳(遠隔通訳)	93
(6)) - 1 ビデオ通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)	93

(6) - 2 ビデオ通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)	. 93
(6) - 3 ビデオ通訳 (遠隔通訳) の対応言語 (MA)	. 94
3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況	. 95
(7) - 1 タブレット端末等の利用状況 (SA)	. 95
(7) - 2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)	. 95
(7)-3 現在使用している端末に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語 (SA) .	. 96
3-8. 院内案内図、院内表示	. 97
(8)-1 院内案内図、院内表示の多言語化状況(SA)	. 97
(8) - 2 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)	. 97
3-9. 訪日外国人患者 (医療渡航) の今後の受入れ方針について (SA)	. 98
3-10. 多言語に対応するためのその他の取組など (FA)	. 98
4. 医療費について	. 99
4-1. 医療費(自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について	. 99
(1) 自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの請求額 (SA)	. 99
(2) 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)	. 99
(3) 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)	100
4-2. 医療費 (保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費) について	101
(1) 保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)	101
(2) 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)	101
5. キャッシュレス決済について	102
(1) クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済の導入状況(SA)	102
(2) QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)	102
(3) 対応している QR コードサービス (MA)	103
(4) その他の電子マネーを利用した決済の導入状況 (SA)	104
(5) その他対応している電子マネー (MA)	104
(6) その他の決済サービスの導入状況 (SA)	105
(7) その他の決済サービスの利用状況 (FA)	105
6. 未収金等への対策について	106
6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している取り組み	106
(1) -1 訪日外国人患者への取り組み状況 (SA)	106
(1) - 2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み (MA)	106
(1) -3 同意書の同意内容 (MA)	107
6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み	108
(2) -1 在留外国人患者への本人確認実施の有無 (SA)	108
(2) - 2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)	108
6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法	109
(3) -1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況(SA)	109
(3) -2 医療費の回収方法 (MA)	109
II. 調査票 B 結果	110
1. 外国人患者受入れの有無	110
2. 在留外国人患者の受入れ実績について	110
(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (FA)	110

(2) 公	ら的医療保険利用の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)111
(3) 民	品間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)111
(4) 受	入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)112
3. 訪日外	- 国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について113
(1) 訪	5日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れの有無と延べ人数(FA)113
(2) 民	品間医療保険利用者の有無と延べ人数 (訪日外国人患者 (医療渡航を除く)) (FA)113
(3) 受	でけ入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別の延べ人数(MA)114
4. 訪日外	- 国人患者(医療渡航)の受入れ実績について115
(1) 訪	5日外国人患者(医療渡航)の受入れの有無及び延べ人数(FA)115
(2) 民	品間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航))(FA)115
(3) 受	入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別の延べ人数(MA)116
(4) 受	入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類(FA)117
5. 未収金	全を生じた患者について
(1) 未	- 収金を生じた患者の有無 (FA)
(2) 未	中収金を生じた在留外国人患者 (FA)119
(3) 未	中収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)(FA)119
(4) 未	中収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)(FA)119
<巻末資料>	
調査票	

第1章 調査の概要

1.調査の背景目的

我が国では、「明日の日本を支える観光ビジョン」(明日の日本を支える観光ビジョン構想会議、平成 28 年 3月)において、2030 年には 6,000 万人の訪日外国人旅行者数を目標として観光先進国の実現を目指している。このような中、健康・医療戦略推進本部のもとに設置された「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」において、「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に向けた総合対策」(平成 30 年 6 月)が取りまとめられ、現在、関係府省庁が連携して取組を進めている。

また、平成 31 年4月からの新たな外国人材の受入れ制度の開始に伴い、在留外国人が日本各地において医療を受けることが予想されるため、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」(外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議、平成 30 年 12 月) に基づき、全ての居住圏において外国人患者が安心して受診できる体制の整備を進めることとしている。

新型コロナウイルス感染症の影響によって訪日外国人は大幅に減少したが、今般、ウィズ・ポストコロナにおける対応をとりながら国際的な人の往来の再開に向けた措置が進められており、日本の医療機関を受診する外国人患者が再び増加すると思われる中、外国人患者が円滑に医療機関を受診できるよう、医療機関だけではなく、地方自治体、観光事業者・宿泊事業者等が連携して、地域全体として、外国人患者の受入体制を構築する事が重要と考えられる。

この際、外国人に対する医療提供体制の現状を把握する必要があることから、厚生労働省において全国の病院と一部の診療所を対象とし、医療機関の外国人患者受入能力向上のための指導、監督に必要な基礎資料を得ることを目的として、実態調査を行うこととした。

2.調査の目的

本調査は、その目的によって調査票を調査票 A,調査票 B の 2 つに分けて行った。 それぞれの調査票は以下の様な目的で調査した。

- ・調査票 A: 医療機関における外国人患者受入体制に関する調査
- ・調査票 B: 医療機関における外国人患者受入に関する調査

調査票 B では、受診された患者を一ヶ月間追跡調査している。

また、本調査では未収金について、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より一ヶ月を経ても診療費の一部又は全額を支払っていない場合としている。

3. 調査の対象及び調査時期

調査の対象とした医療機関は、調査対象者は全国の病院及び京都府及び沖縄県に所在する診療所である。 調査時期は以下のとおりである。

(ア)病院

- ・調査票 A 令和3年9月1日時点
- ・調査票 B 令和3年9月1日~令和3年9月30日

(イ) 京都府及び沖縄県に所在する診療所

- ・調査票 A 令和3年9月1日時点
- ・調査票 B 令和3年9月1日~令和3年9月30日

4. 調查実施方法

都道府県から管下の医療機関へ調査の協力依頼がなされ、病院はG-MIS(医療機関等情報支援システム)経由で回答、診療所は調査票を厚生労働省ウェブサイトからダウンロード、メールにより電子的に回収。

5. 回収結果

本調査での回収結果は下表に示すとおりである。

表1 回収結果

調査票種類	対象数	回収数	回収率
病院を調査対象とした調査票 A	8,284件	5, 453件	65.8%
病院を調査対象とした調査票 B	8,284件	5, 138件	62.0%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした 調査票 A	4,874件	1,471件	30.2%
京都府及び沖縄県の診療所を調査対象とした 調査票 B	4,874件	1,415件	29.0%

6. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中のnは設問に対する回答者数で、比率計算の基数を示している。
- (2) 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。なお、小数点以下第2 位を四捨 五入しているため、合計が 100 %を上下する場合がある。
- (3) グラフ内の数値は「割合(医療機関数)」で表している。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) クロス集計の合計は、設問に対して全ての区分を示していないことや、複数の区分に該当する医療機関があることなどにより、全体の合計とは合わない場合がある。
- (6) 本報告書で「救急医療機関」は、第2次救急医療機関及び救命救急センターを指す。

「JMIP もしくは JIH 認証医療機関」は、「JMIP認証病院(※ 1)」および「ジャパンインターナショナルホスピタルズ(※ 2)」を指す。

また、「拠点的な医療機関」は「「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の選出及び受入体制に係る情報の取りまとめについて(依頼)」(平成31年3月26日付け医政総発0326第3号、観参第800号)に基づき都道府県によって選出された医療機関を指す。

- ※1 一般財団法人日本医療教育財団が運営する「外国人患者受入れ医療機関認証制度 Japan Medical Service Accreditation fo International Patients (略称 JMIP)」の認証を受けた医療機関。
- ※2 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN により、渡航受診者の受入れに意欲と取組みのある病院 として推奨されている医療機関。
- (7) 病院調査では一部において、G-MIS (医療機関等情報支援システム) の情報に基づき算出している。
- (8) 報告書中の略語は以下を指す。
 - * FA 自由回答
 - * MA 複数回答
 - * SA 単一回答

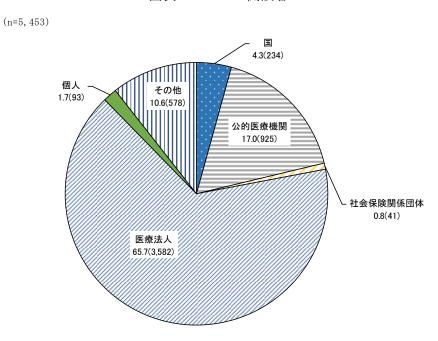
第2章 調査結果 (病院)

I. 調査票 A 結果

1. 回答した医療機関の基本情報

(1) 開設者

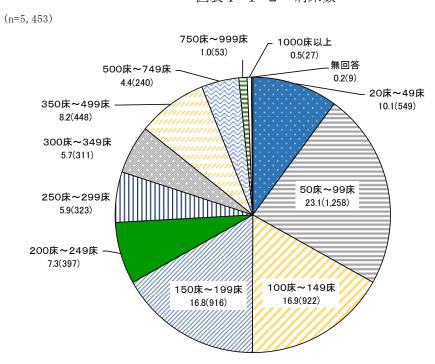
図表 I-1-1 開設者



※表中の値は G-MIS (医療機関等情報支援システム) の情報に基づき算出している。

(2) 病床数

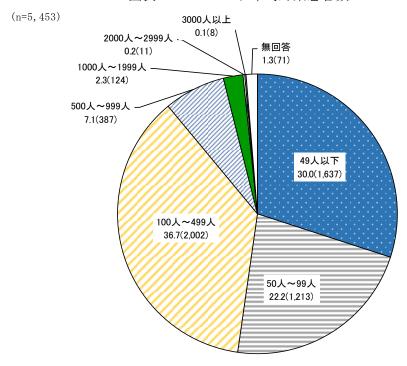
図表 I-1-2 病床数



※表中の値は G-MIS (医療機関等情報支援システム) の情報に基づき算出している。

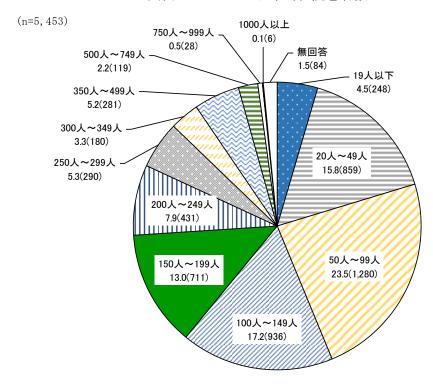
(3) 1日平均外来患者数 (FA)

図表 I-1-3 1日平均外来患者数



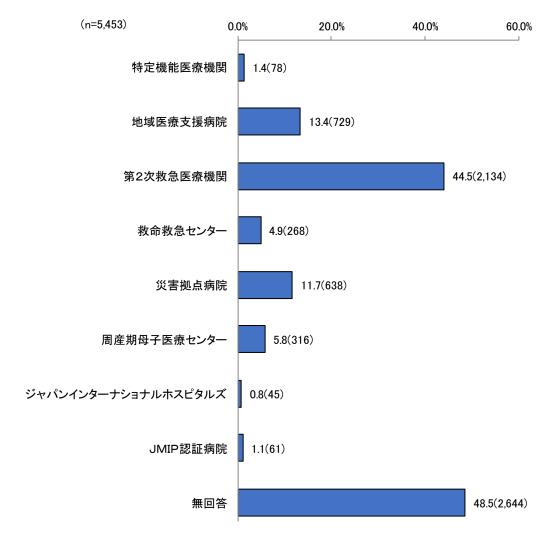
(4)1日平均在院患者数(FA)

図表 I-1-4 1日平均在院患者数



(5) 医療機関の種別(MA)

図表 I-1-5 医療機関の種別

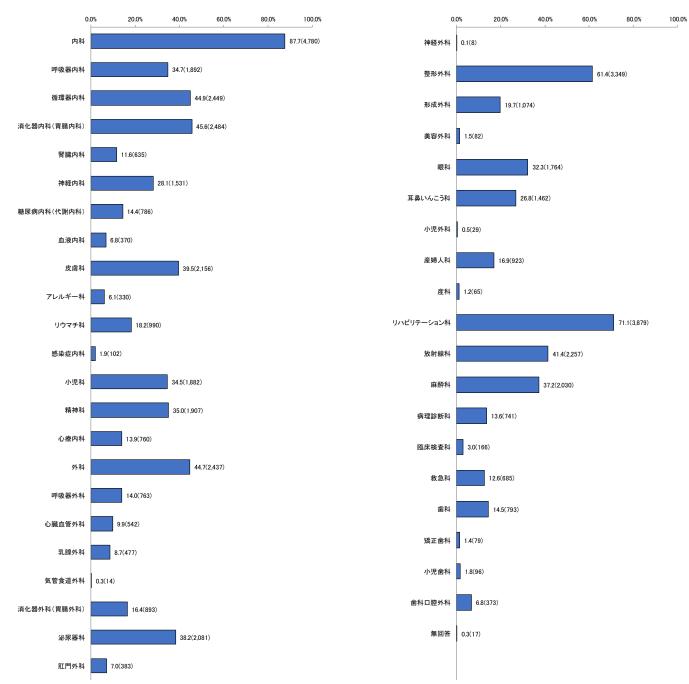


※表中の「特定機能医療機関」については G-MIS (医療機関等情報支援システム) の情報に基づき算出している。

(6)診療科目

図表 I-1-6 診療科目

(n=5,453)



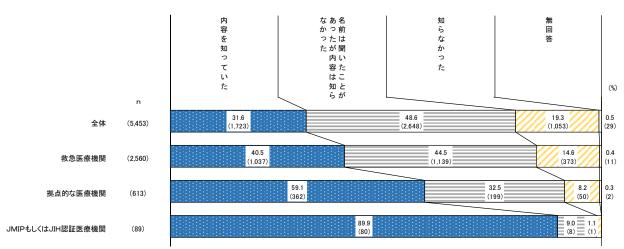
※表中の値は G-MIS (医療機関等情報支援システム) の情報に基づき算出している。

2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)

外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアルについてその認知度を聞いたところ、「内容を知っていた」が31.6%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が48.6%、「知らなかった」が19.3%、「無回答」が0.5%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 44.5% で最も高く、次いで「内容を知っていた」が 40.5%となっている。拠点的な医療機関は「内容を知っていた」が 59.1%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 32.5%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「内容を知っていた」が 89.9%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 9.0%となっている。

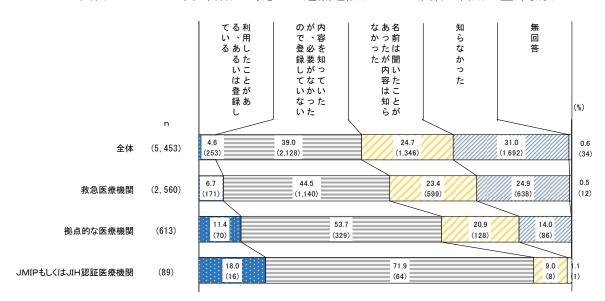


図表 I-2-1 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度

(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)

希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業についてその利用・登録状況を聞いたところ、「利用したことがある、あるいは登録している」4.6%、「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が39.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が24.7%、「知らなかった」が31.0%、「無回答」が0.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が 44.5%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 23.4%となっている。 拠点的な医療機関は「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が 53.7%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 20.9%となっている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が 71.9%で最も高く、次いで「利用したことがある、あるいは登録している」が 18.0%となっている。



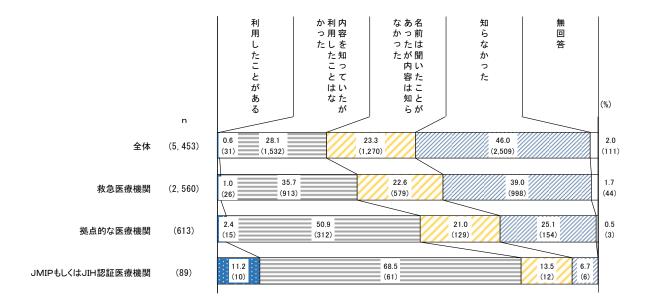
図表 I-2-2 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況

(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)

医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業についてその認知度を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.6%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 28.1%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 23.3%、「知らなかった」が 46.0%、「無回答」が 2.0%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が39.0%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が35.7%となっている。拠点的な医療機関は「内容を知っていたが利用したことはなかった」が50.9%で最も高く、次いで「知らなかった」が25.1%となっている。JMIPもしくはJIH 認証医療機関では「内容を知っていたが利用したことはなかった」が68.5%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が13.5%となっている。

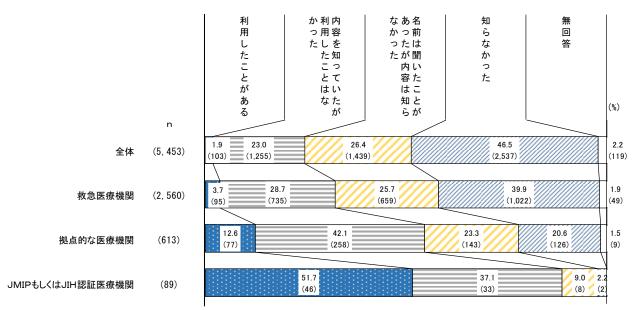
図表 I-2-3 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況



(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 1.9%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 23.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 26.4%、「知らなかった」が 46.5%、「無回答」が 2.2%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が39.9%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が28.7%となっている。拠点的な医療機関は、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が42.1%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が23.3%となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では「利用したことがある」が51.7%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が37.1%となっている。

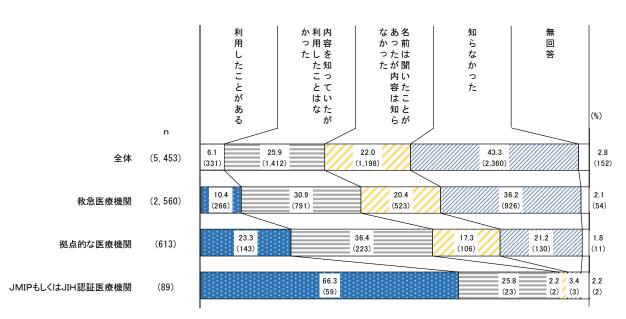


図表 I-2-4 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況

(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)

外国人向け多言語説明資料一覧についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 6.1%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 25.9%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 22.0%、「知らなかった」が 43.3%、「無回答」が 2.8%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が 36.2%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 30.9%となっている。拠点的な医療機関は、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 36.4%で最も高く、次いで「利用したことがある」が 23.3%、となっている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「利用したことがある」が 66.3%で最も高く、次いで「内容を知っていたが利用したことはなかった」 25.8%となっている。



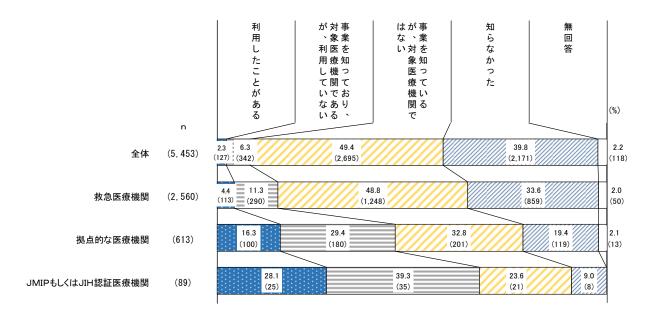
図表 I-2-5 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況

(6) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)の利用状況(SA)

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が2.3%、「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が6.3%、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が49.4%、「知らなかった」が39.8%、「無回答」が2.2%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 48.8%で最も高く、次いで「知らなかった」が 33.6%となっている。拠点的な医療機関は、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 32.8%で最も高く、次いで「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 29.4%、となっている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 39.3%で最も高く、次いで「利用したことがある」 28.1%となっている。

図表 I-2-6 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (医療機関における新型コロナウイルス感染症 の外国人患者受入れのための設備整備事業)の利用状況

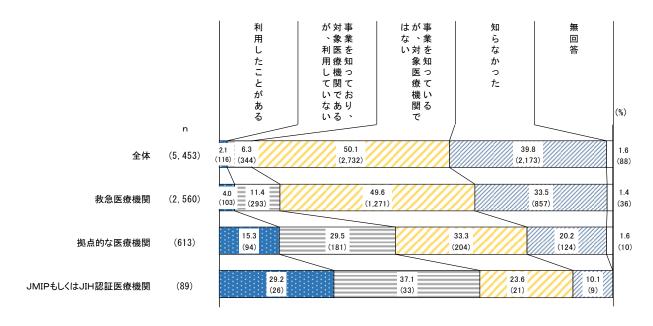


(7) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における 外国人患者の受入れ体制確保事業)の利用状況(SA)

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業)についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 2.1%、「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 6.3%、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 50.1%、「知らなかった」が 39.8%、「無回答」が 1.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 49.6%で最も高く、次いで「知らなかった」が 33.5%となっている。拠点的な医療機関は、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 33.3%で最も高く、次いで「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 29.5%、となっている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 37.1%で最も高く、次いで「利用したことがある」 29.2%となっている。

図表 I-2-7 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業)の利用状況



(8) 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況 (SA)

訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムについてその登録状況を聞いたところ、「医療機関登録をしている」が 0.7%、「内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった」が 14.8% 「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 24.7%、「知らなかった」が 58.5%、「無回答」が 1.2%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関は「知らなかった」が 56.1%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 23.7%となっている。拠点的な医療機関は、「知らなかった」が 52.9%で最も高く、次いで「内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった」が 24.0%、となっている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「知らなかった」が 50.6%で最も高く、次いで「内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった」 23.6%となっている。

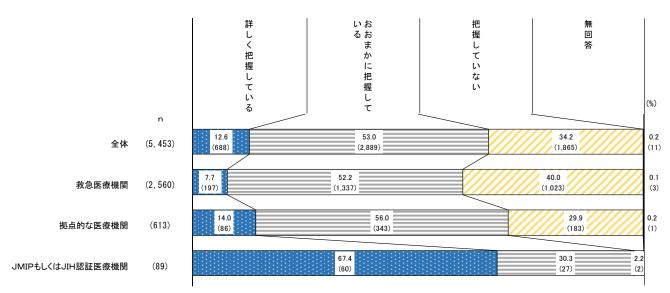
しが内 て、容 い医を い医 なあ名 る療 かつ前 6 回 ったは な 答 関 たが聞 か な療知 登 か機っ 内い 録 っ関て 容た た登い を 録た 知と (%) て を らが 14.8 (808) 58.5 24.7 0.7 12 全体 (5, 453)(1,349) (3,192) (64) 1.3 (34) 17.9 23.7 56.1 1.0 救急医療機関 (2, 560)(459) (606) (1.436)(25)3.3 24.0 52.9 0.7 19.2 拠点的な医療機関 (613) (20) (118) 11 2 146 50.6 236 JMIPもしくはJIH認証医療機関 (89) (10)(21) (13)(45)

図表 I-2-8 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 外国人患者の受入れに関する体制

(1) -1 自院における外国人患者の受診状況(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)(SA) 自院における外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「詳しく把握している」が 12.6%、 「おおまかに把握している」が 53.0%、「把握していない」が 34.2%、「無回答」が 0.2%となっている。 医療機関の種別でみると、救急医療機関は、「おおまかに把握している」が 52.2%で最も多く、次に「把握 していない」が 40.0%となっている。拠点的な医療機関は、「おおまかに把握している」が 56.0%で最も多 く、次いで「把握していない」が 29.9%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「詳しく把握し ている」が 67.4%で最も多く、次いで「おおまかに把握している」が 30.3%となっている。

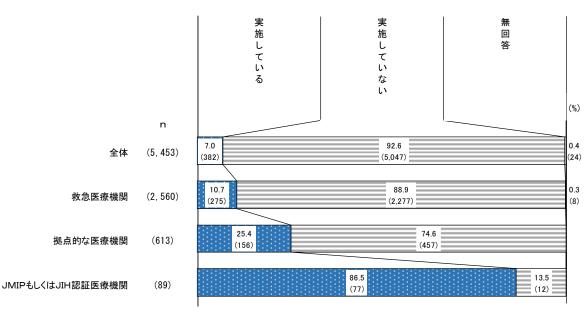


図表 I-3-1-1 自院における外国人患者の受診状況

(1) -2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出(SA)

外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出について聞いたところ、「実施している」が 7.0%、「実施していない」が 92.6%、「無回答」が 0.4%となっている。

医療機関の種別でみると、「実施している」が、救急医療機関では10.7%、拠点的な医療機関では25.4%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では86.5%となっている。

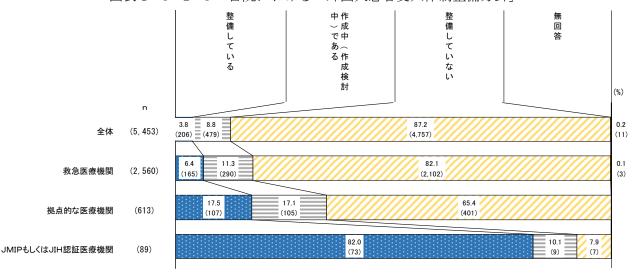


図表 I-3-1-2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出

(1) -3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」(SA)

自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」について聞いたところ、「整備している」が 3.8%、「作成中 (作成検討中) である」が 8.8%、「整備していない」が 87.2%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「整備していない」が82.1%で最も高く、次いで「作成中 (作成検討中)である」11.3%となっている。拠点的な医療機関では「整備していない」が65.4%で最も高 く、次いで「作成中(作成検討中)である」が17.1%となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では 「整備している」が82.0%で最も高く、次いで「作成中(作成検討中)である」が10.1%となっている。



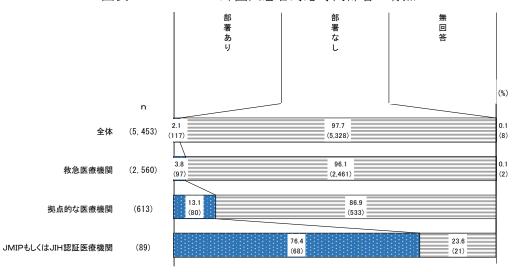
図表 I-3-1-3 自院における「外国人患者受入体制整備方針」

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況

(2) -1 外国人患者対応専門部署の有無(SA)

外国人患者対応専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が 2.1%、「部署なし」が 97.7%となっている。

医療機関の種別でみると、「部署あり」が救急医療機関では3.8%、拠点的な医療機関では13.1%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では76.4%となっている。

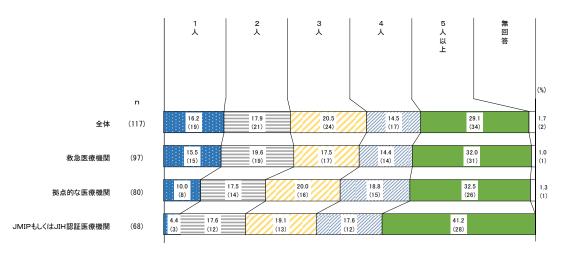


図表 I-3-2-1 外国人患者対応専門部署の有無

(2) -2 外国人患者対応専門部署の職員数 (FA)

外国人患者対応専門部署があると回答した医療機関に対して、専門部署の職員数について聞いたところ、「5人以上」が29.1%で最も高く、次いで「3人」が20.5%、「2人」が17.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「5人以上」が32.0%で最も高く、次いで「2人」が19.6%となっている。拠点的な医療機関では「5人以上」が32.5%で最も高く、次いで「3人」が20.0%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「5人以上」が41.2%で最も高く、次いで「3人」が19.1%となっている。

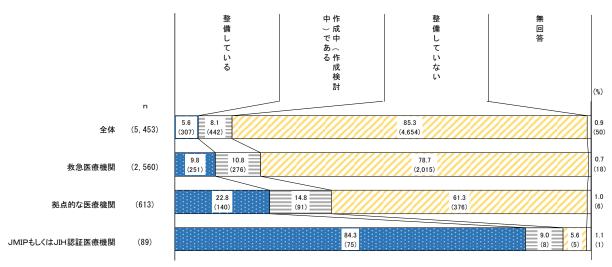


図表 I-3-2-2 外国人患者対応専門部署の職員数

(2) -3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)

外国人対応のマニュアル整備状況について聞いたところ、「整備している」が 5.6%、「作成中(作成検討中)である」が 8.1%、「整備していない」が 85.3%、「無回答」が 0.9%となっている。

医療機関の種別でみると、「整備している」は救急医療機関では 9.8%、拠点的な医療機関では 22.8%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 84.3%となっている。



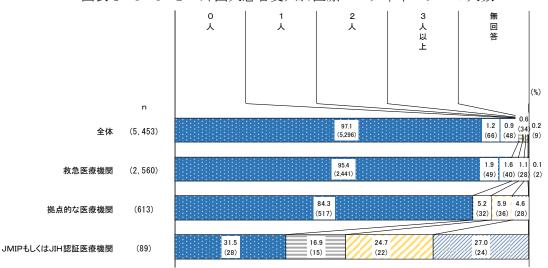
図表 I-3-2-3 外国人対応のマニュアル整備状況

3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター

(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数について聞いたところ、「0人」が 97.1%で最も高く、次いで「1人」が 1.2%、「2人以上」が 0.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「0人」が 95.4%で最も高く、次いで「1人」が 1.9%と続いている。拠点的な医療機関では「0人」が 84.3%で最も高く、次いで「2人」が 5.9%と続いている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「0人」が 31.5%で最も高く、次いで「3人以上」が 27.0%と続いている。

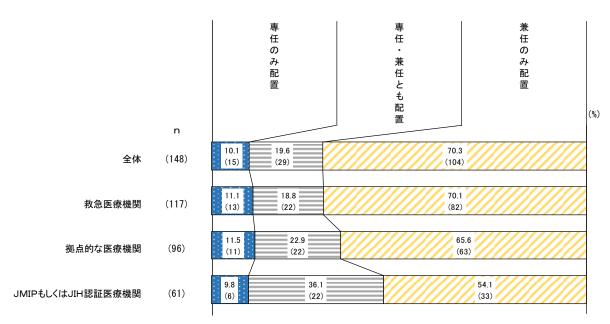


図表 I-3-3-1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数

(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が70.3%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が19.6%、「専任のみ配置」が10.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「兼任のみ配置」が 70.1%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が 18.8%と続いている。拠点的な医療機関では「兼任のみ配置」が 65.6%で最も高く、次いで「専任、兼任とも配置」が 22.9%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、「兼任のみ配置」が 54.1%で最も高く、次いで「専任、兼任とも配置」が 36.1%と続いている。



図表 I-3-3-2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別

(3) - 3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)

兼任の外国人患者受入れ医療コーディネーターを配置していると回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職について聞いたところ、「事務職員」が 74.4%で最も高く、次いで「医療通訳」が 30.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、「事務職員」が 76.0%で最も高く、次いで「医療通訳」が 33.7%と続いている。拠点的な医療機関では「事務職員」が 72.9%で最も高く、次いで「医療通訳」が 40.0%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「事務職員」が 70.9%で最も高く、次いで「医療通訳」が 49.1%と続いている。

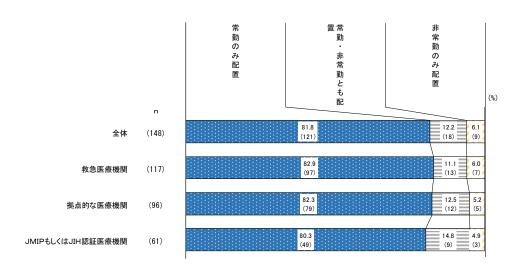
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 12.8(17) 6.7(7) 8.2(7) 医師 12.7(7) 18.8(25) 18.3(19) 看護師 23.5(20) 25.5(14) 9.8(13) 9.6(10) その他医療関係の 9.4(8) 有資格者 9.1(5) 74.4(99) 76.0(79) 事務職員 72.9(62) (医療通訳を除く) 70.9(39) 30.1(40) 33.7(35) 医療通訳 40.0(34) 49.1(27) 3.0(4) 2.9(3) その他 3.5(3) 1.8(1) ■ 全体(n=133) ■ 救急医療機関(n=104) ☑ 拠点的な医療機関(n=85) ☑ JMIPもしくはJIH認証医療機関(n=55)

図表 I-3-3-3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職

(3) - 4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別(SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が81.8%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が12.2%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「常勤のみ配置」が 82.9%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が 11.1%と続いている。拠点的な医療機関では「常勤のみ配置」が 82.3%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が 12.5%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「常勤のみ配置」が 80.3%で最も高く、次いで「常勤、非常勤とも配置」が 14.8%と続いている。

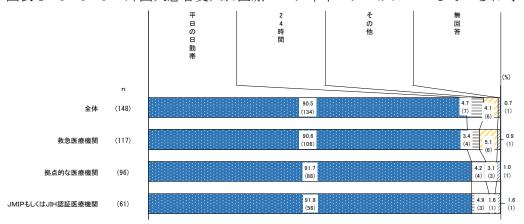


図表 I-3-3-4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別

(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時(SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が90.5%で最も高く、次いで「24時間」が4.7%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「平日の日勤帯」が90.6%で最も高く、次いで「その他」が5.1%と続いている。拠点的な医療機関では、「平日の日勤帯」が91.7%で最も高く、次いで「24時間」が4.2%と続いている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では「平日の日勤帯」が91.8%で最も高く、次いで「24時間」が4.9%と続いている。



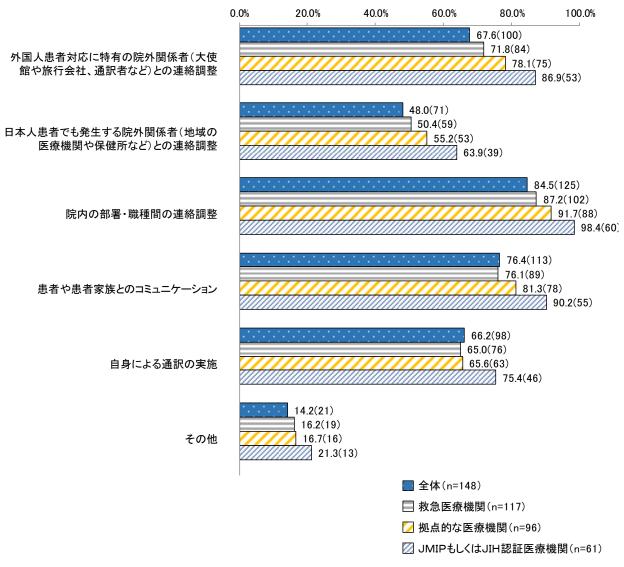
図表 I-3-3-5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時

(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割について聞いたところ、「院内の部署・職種間の連絡調整」が84.5%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が76.4%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「院内の部署・職種間の連絡調整」が87.2%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が76.1%と続いている。拠点的な医療機関では、「院内の部署・職種間の連絡調整」が91.7%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が81.3%と続いている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では、「院内の部署・職種間の連絡調整」が98.4%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が90.2%と続いている。

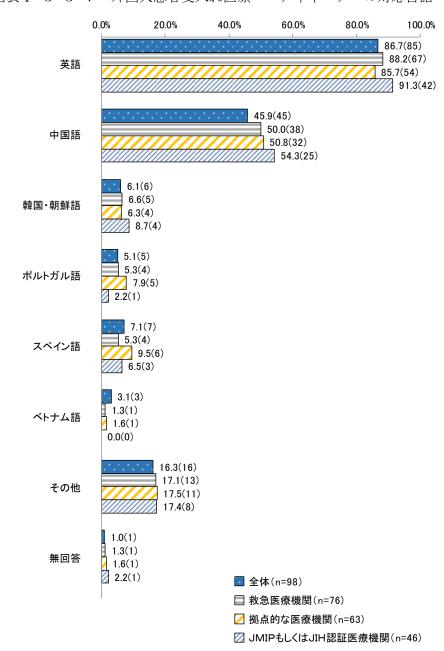
図表 I-3-3-6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割



(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割で『自身による通訳の実施』と回答した医療機関にコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が86.7%で最も高く、次いで「中国語」が45.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「英語」が88.2%で最も高く、次いで「中国語」が50.0%となっている。拠点的な医療機関では「英語」が85.7%で最も高く、次いで「中国語」が50.8%となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では「英語」が91.3%で最も高く、次いで「中国語」が54.3%となっていいる。



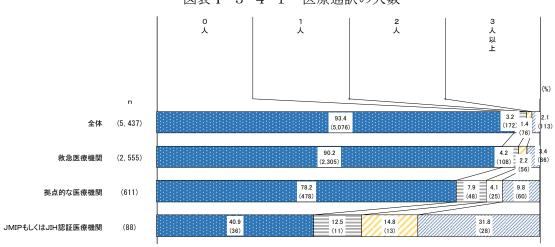
図表 I-3-3-7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語

3-4. 医療通訳

(4) −1 医療通訳の人数(SA)

医療通訳の人数について回答があった医療機関のうち、「0人」が 93.4%で最も高く、次いで「1人」が 3.2%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「0人」が 90.2%で最も高く、次いで「1人」が 4.2%と続いている。拠点的な医療機関では「0人」が 78.2%で最も高く、次いで「3人以上」が 9.8%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「0人」が 40.9%で最も高く、次いで「3人以上」が 31.8%と続いている。

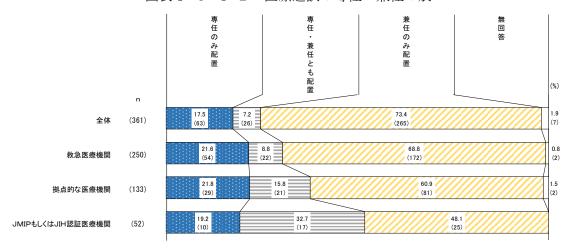


図表 I-3-4-1 医療通訳の人数

(4) -2 医療通訳の専任・兼任の別(SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が73.4%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が17.5%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「兼任のみ配置」が 68.8%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が 21.6%と続いている。拠点的な医療機関では「兼任のみ配置」が 60.9%で最も高く、次いで「専任のみ配置」が 21.8%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、「兼任のみ配置」が 48.1%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が 32.7%と続いている。

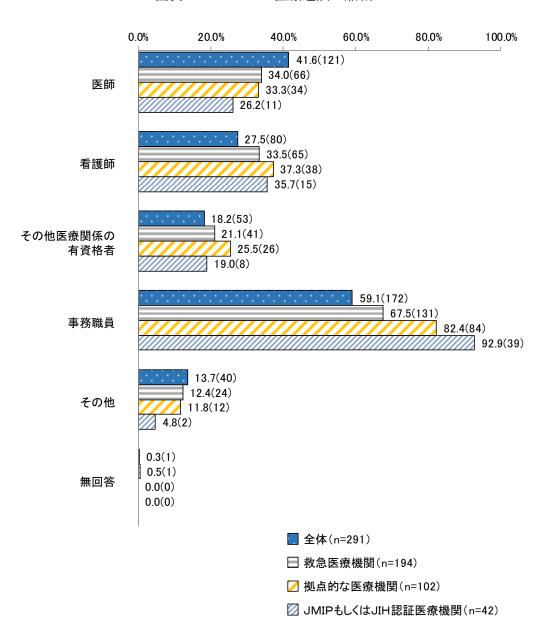


図表 I-3-4-2 医療通訳の専任・兼任の別

(4) -3 医療通訳の兼職 (MA)

兼任の医療通訳を配置していると回答した医療機関に対して、医療通訳の兼職について聞いたところ、「事 務職員」が 59.1%で最も高く、次いで「医師」が 41.6%と続いている。

医療機関の種別でみると救急医療機関では、「事務職員」が 67.5%で最も高く、次いで「医師」が 34.0% と続いている。拠点的な医療機関では、「事務職員」が 82.4%で最も高く、次いで「看護師」が 37.3%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、「事務職員」が 92.9%で最も高く、次いで「看護師」が 35.7%と続いている。

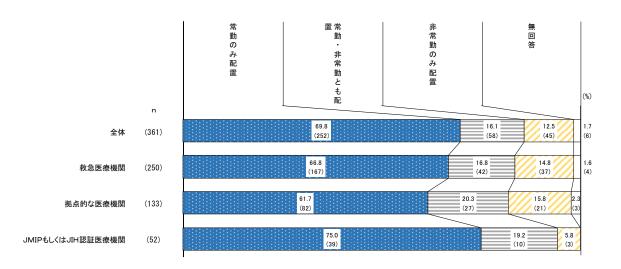


図表 I-3-4-3 医療通訳の兼職

(4) -4 医療通訳の常勤・非常勤の別(SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が69.8%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が16.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「常勤のみ配置」が 66.8%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が 16.8%と続いている。拠点的な医療機関では、「常勤のみ配置」が 61.7%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が 20.3%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、「常勤のみ配置」が 75.0%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が 19.2%と続いている。

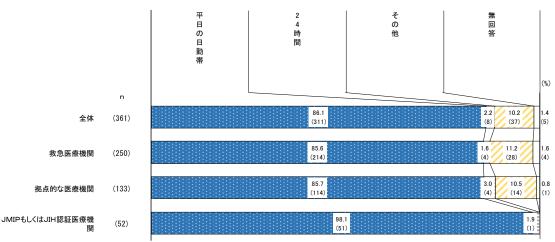


図表 I-3-4-4 医療通訳の常勤・非常勤の別

(4) -5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)

医療通訳の人数が 1 人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳がカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が 86.1%で最も高く、次いで「その他」が 10.2%、「24 時間」が 2.2%、「無回答」が 1.4%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「平日の日勤帯」が 85.6%で最も高く、次いで「その他」が 11.2%と続いている。拠点的な医療機関では、「平日の日勤帯」が 85.7%で最も高く、次いで「その他」が 10.5%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、「平日の日勤帯」が 98.1%で最も高く、次いで「24 時間」が 1.9%と続いている。

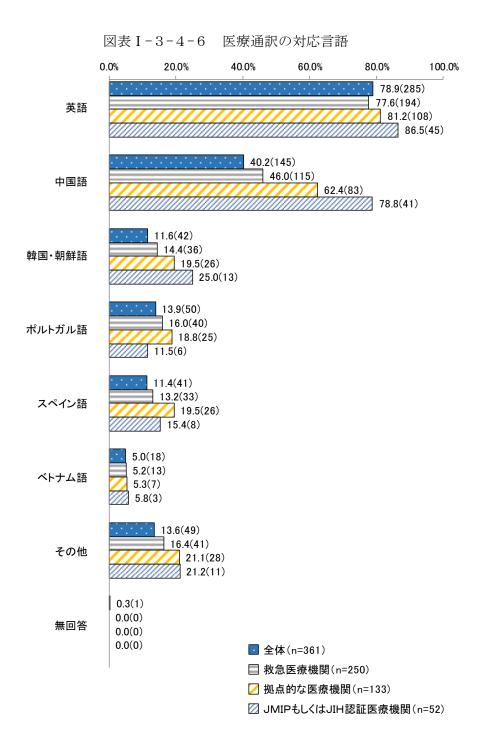


図表 I-3-4-5 医療通訳がカバーしている日時

(4) -6 医療通訳の対応言語 (MA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が78.9%で最も高く、次いで「中国語」が40.2%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「英語」が 77.6%で最も高く、次いで「中国語」が 46.0%と 続いている。拠点的な医療機関では「英語」が 81.2%で最も高く、次いで「中国語」が 62.4%と続いている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「英語」が 86.5%で最も高く、次いで「中国語」が 78.8%と続いている。

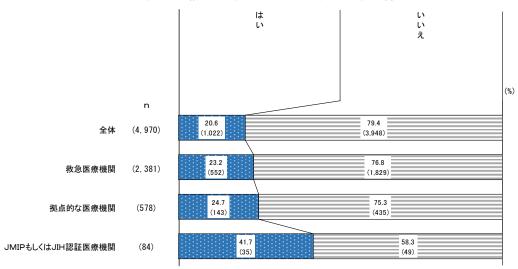


30

(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)

患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内しているか(医療機関のホームページ等による案内も含む)について回答があった医療機関のうち、「いいえ」が79.4%、「はい」が20.6%となっている。

医療機関の種別でみると、「はい」が救急医療機関では23.2%、拠点的な医療機関では24.7%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では41.7%となっている。

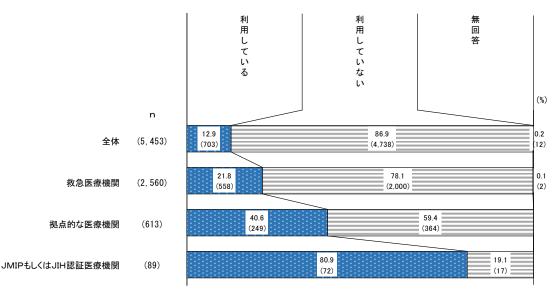


図表 I-3-4-7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか

3-5. 電話通訳(遠隔通訳)

(5) -1 電話通訳 (遠隔通訳) の利用状況 (SA)

医療機関の種別でみると、「利用している」が救急医療機関では 21.8%、拠点的な医療機関では 40.6%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 80.9%となっている。

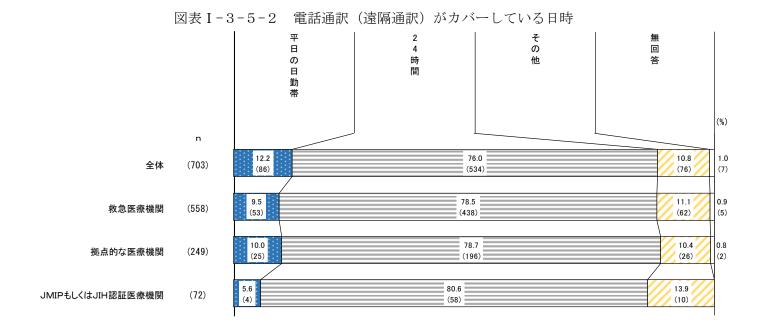


図表 I-3-5-1 電話通訳の利用状況

(5) -2 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時(SA)

電話通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている範囲について聞いたところ、「24 時間」が 76.0%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が 12.2%となっている。

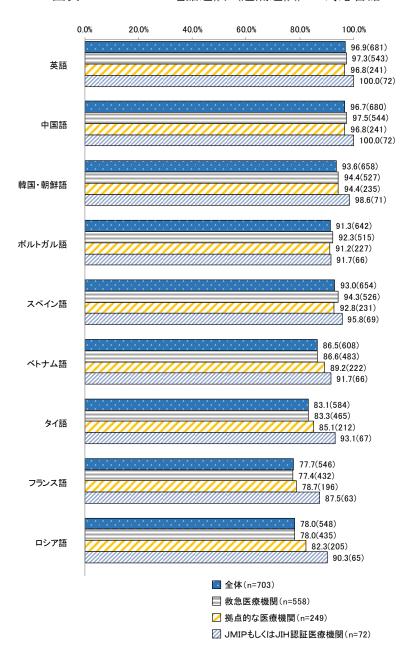
医療機関の種別でみると、救急医療機関では「24 時間」が 78.5%で最も高く、次いで「その他」が 11.1%となっている。拠点的な医療機関では、「24 時間」が 78.7%で最も高く、次いで「その他」が 10.4% となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「24 時間」が 80.6%で最も高く、次いで「その他」が 13.9%となっている。



(5) -3 電話通訳 (遠隔通訳) の対応言語 (MA)

電話通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、電話通訳(遠隔通訳)の対応言語について聞いたところ、「英語」が96.9%で最も高く、次いで「中国語」が96.7%で続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、「中国語」が 97.5%で最も高く、次いで「英語」が 97.3%で続いている。拠点的な医療機関では、「英語」と「中国語」がそれぞれ 96.8%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が 94.4%となっている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、「英語」と「中国語」がそれぞれ 100.0%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が 98.6%となっている。



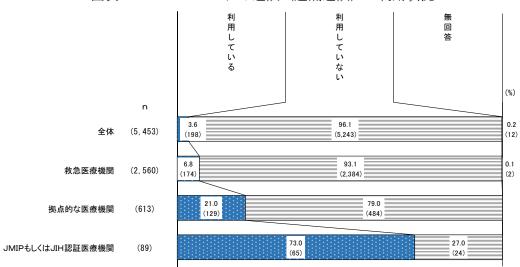
図表 I-3-5-3 電話通訳(遠隔通訳)の対応言語

3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)

(6)-1 ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況 (SA)

ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が 3.6%、「利用していない」が 96.1%となっている。

医療機関の種別でみると、「利用している」は救急医療機関では 6.8%、拠点的な医療機関では 21.0%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 73.0%となっている。

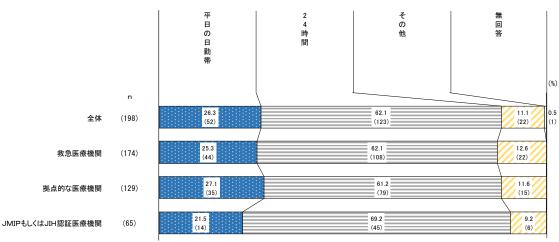


図表 I-3-6-1 ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況

(6) -2 ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時(SA)

ビデオ通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時について聞いたところ、「24時間」が62.1%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が26.3%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「24 時間」が 62.1%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が 25.3%となっている。拠点的な医療機関では「24 時間」が 61.2%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が 27.1%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「24 時間」が 69.2%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が 21.5%となっている。

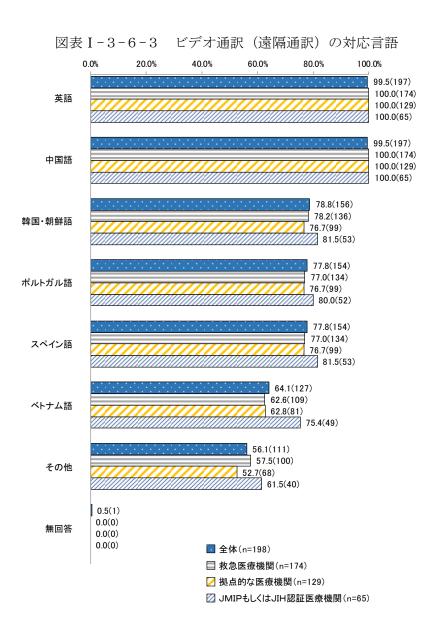


図表 I-3-6-2 ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時

(6) -3 ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語(MA)

ビデオ通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語について聞いたところ、「英語」と「中国語」がそれぞれ 99.5%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が 78.8%で続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「英語」と「中国語」が 100.0%で最も高く、次いで「韓国語・朝鮮語」が 78.2%となっている。拠点的な医療機関では、「英語」と「中国語」がそれぞれ 100.0%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮語」が 76.7%となっている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「英語」と「中国語」がそれぞれ 100.0%で最も高く、次いで「韓国語・朝鮮語」と「スペイン語」がそれぞれ 81.5%となっている。

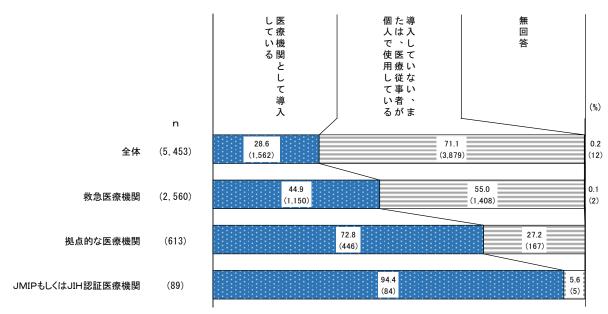


3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況

(7) -1 タブレット端末等の利用状況 (SA)

タブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が 28.6%、「導入していない、又は医療従事者が個人で使用している」が 71.1%となっている。

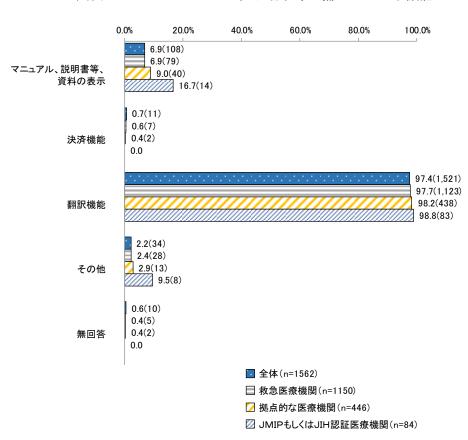
医療機関の種別でみると、「医療機関として導入している」が救急医療機関では、44.9%、拠点的な医療機関では 72.8%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 94.4%となっている。



図表 I-3-7-1 タブレット端末等の利用状況

(7) −2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等を導入している医療機関に対して、端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が 97.4%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 6.9%と続いている。 医療機関の種別でみると、救急医療機関では「翻訳機能」が 97.7%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 6.9%と続いている。拠点的な医療機関では「翻訳機能」が 98.2%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 9.0%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「翻訳機能」が 98.8%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 16.7%と続いている。



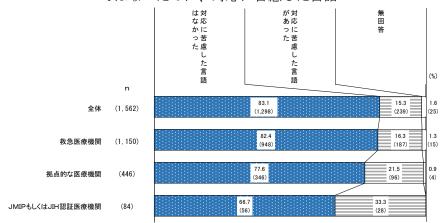
図表 I-3-7-2 タブレット端末等に備わっている機能

(7) - 3 現在使用している端末の対応言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語 (SA)

翻訳機能を備えているタブレット端末等を導入している医療機関に対して、現在使用している端末の対応 言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語について聞 いたところ、「対応に苦慮した言語はなかった」が 83.1%、「対応に苦慮した言語があった」が 15.3%、「無 回答」が 1.6%となっている。

医療機関の種別でみると、「対応に苦慮した言語はなかった」が救急医療機関では、82.4%、拠点的な医療機関では77.8%、TMIPもしくは JIH 認証医療機関では66.7%となっている。

図表 I-3-7-3 現在使用している端末の対応言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語



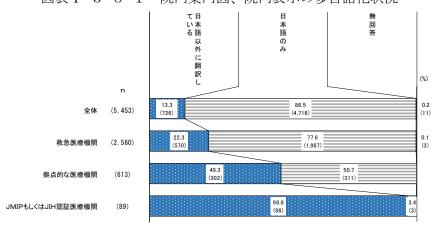
※対応に苦慮した言語抜粋:中国語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、インドネシア語、ベンガル語、ポルトガル語

3-8. 院内案内図、院内表示

(8) -1 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「日本語以外に翻訳している」が 13.3%、「日本語のみ」が 86.5%となっている。

医療機関の種別でみると、「日本語以外に翻訳している」が、救急医療機関では22.3%、拠点的な医療機関では49.3%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では96.6%となっている。

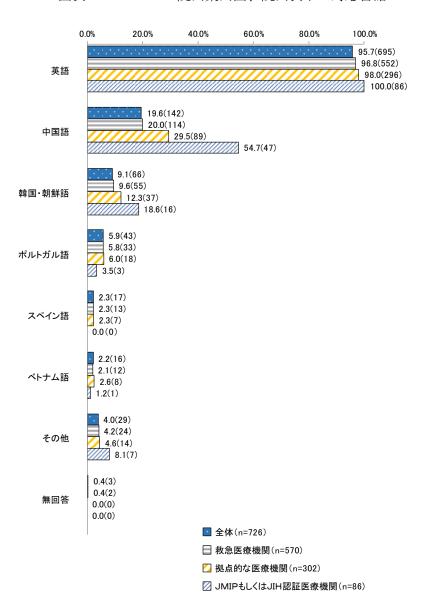


図表 I-3-8-1 院内案内図、院内表示の多言語化状況

(8) -2 院内案内図、院内表示の対応言語(MA)

院内案内図、院内表示を日本語以外に翻訳していると回答した医療機関に対して、院内案内図、院内表示の 対応言語について聞いたところ、「英語」が 95.7%で最も高く、次いで「中国語」が 19.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「英語」が 96.8%で最も高く、次いで「中国語」が 20.0%となっている。拠点的な医療機関では「英語」が 98.0%で最も高く、次いで「中国語」が 29.5%となっている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「英語」が 100.0%で最も高く、次いで「中国語」が 54.7%となっている。

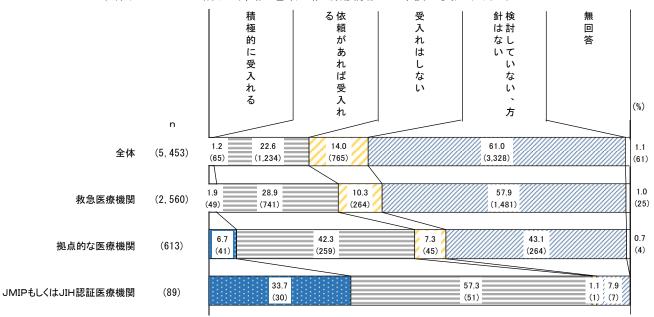


図表 I-3-8-2 院内案内図、院内表示の対応言語

3-9. 訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について(SA)

訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について聞いたところ、「検討していない、方針はない」が 61.0%で最も高く、次いで「依頼があれば受入れる」が 22.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「検討していない、方針はない」が 57.9%で最も高く、次いで「依頼があれば受入れる」が 28.9%となっている。拠点的な医療機関では「検討していない、方針はない」が 43.1%で最も高く、次いで「依頼があれば受入れる」が 42.3%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「依頼があれば受入れる」が 57.3%で最も高く、次いで「積極的に受入れる」が 33.7%となっている。



図表 I-3-9 訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について

3-10. 多言語に対応するためのその他の取組など(FA)

多言語に対応するためのその他の取組として、「問診票や同意書等書類やパンフレット等の多言語化」、「ホームページの多言語化」、「院内スタッフでの多言語の対応(語学研修や対応マニュアル、外国人採用を含む)」、「医療通訳者の派遣」、「通訳を同伴しての受診を患者に依頼」等の回答が得られた。

また、海外進出についての取組として、「海外の医療機関へのコンサルティング提供や連携」、「海外での病院建設、機器の寄贈、海外からの医療従事者の研修」、「海外の病院と技術提携を結び、職員間での交流」等の回答が得られた。

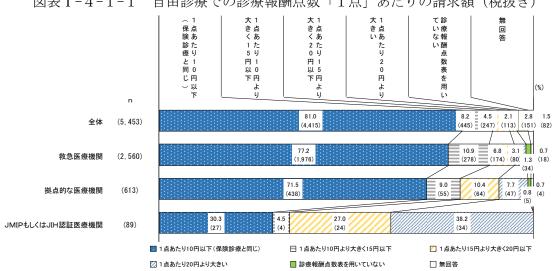
4. 医療費について

4-1. 医療費(自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について

(1) 自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの請求額(SA)

自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの金額(税抜き)について聞いたところ、「10円以下」が81.0% で最も高く、次いで「10円より大きく15円以下」が8.2%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「10円以下」が77.2%で最も高く、次いで「10円より大きく 15 円以下」が 10.9%と続いている。拠点的な医療機関では「10 円以下」が 71.5%で最も高く、次いで「10 円より大きく 15 円以下」が 9.0%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「20 円より大きい」が 38.2%で最も高く、次いで「10円以下」が30.3%となっている。

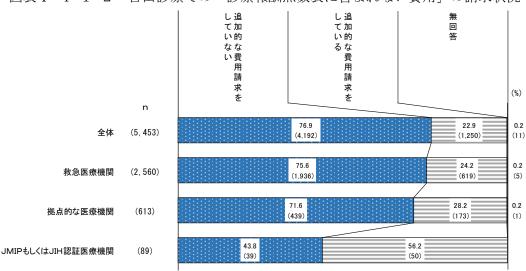


自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの請求額(税抜き) 図表 I-4-1-1

(2) 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)

自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況について聞いたところ、「追加的な費用請 求をしていない」が 76.9%で、「追加的な費用請求をしている」が 22.9%となっている。

医療機関の種別でみると、「追加的な費用請求をしていない」が救急医療機関では 75.6%、拠点的な医療 機関では 71.6%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 43.8%となっている。



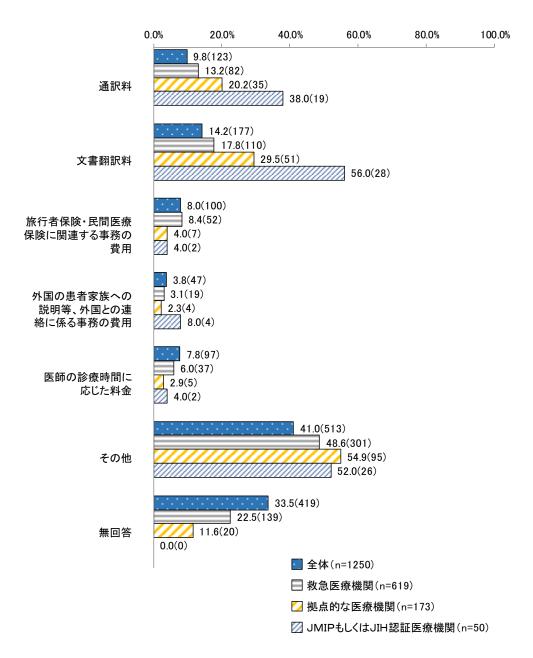
図表 I - 4 - 1 - 2 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況

(3) 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)

「診療報酬点数表に含まれない費用」の追加的な費用請求をしている医療機関に対して、その内容について聞いたところ、「文書翻訳料」が 14.2%で最も高く、次いで「通訳料」が 9.8%と続いている。

医療機関の種別でみると、いずれの医療機関でも「文書翻訳料」が最も高く、救急医療機関では 17.8%、拠点的な医療機関では 29.5%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 56.0%となっている。「通訳料」は JMIP もしくは JIH 認証医療機関が比較的高く 38.0%で、拠点的な医療機関では 20.2%、救急医療機関では 13.2%となっている。その他として、診断書作成料、室料、保険外選定療養費等の回答があった。

図表 I-4-1-3 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容



4-2. 医療費(保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について

(1) 保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)

保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況について聞いたところ、「追加的な費用請求をしていない」が 80.8%で、「追加的な費用請求をしている」が 19.1%となっている。

医療機関の種別でみると、「追加的な費用請求をしていない」が救急医療機関では 79.9%、拠点的な医療機関では 75.2%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 50.6%となっている。

し追 し追 回 て加 て加 い的 い的 答 なな い費 る費用 用 請 請 求 求 (%) n 80.8 19.1 0.1 全体 (5, 453)(4,405)(1,043)(5) 79.9 20.1 救急医療機関 (2, 560)(2,045)(515) 75.2 248 拠点的な医療機関 (613)(461) (152)50.6 49.4 JMIPもしくはJIH認証医療機関 (89) (45) (44)

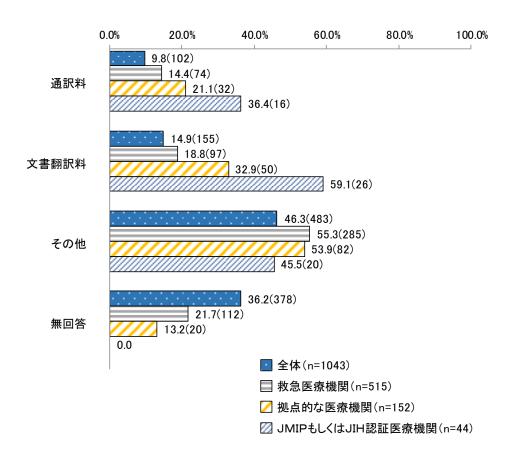
図表 I-4-2-1 保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況

(2) 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)

「診療報酬点数表に含まれない費用」の追加的な費用請求をしている医療機関に対して、その内容について聞いたところ、「文書翻訳料」が 14.9%で最も高く、次いで「通訳料」が 9.8%と続いている。

医療機関の種別でみると、いずれの医療機関でも「文書翻訳料」が最も高く、救急医療機関では 18.8%、拠点的な医療機関では 32.9%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 59.1%となっている。「通訳料」は JMIP もしくは JIH 認証医療機関が比較的高く 36.4%で、拠点的な医療機関では 21.1%、救急医療機関では 14.4%となっている。

図表 I-4-2-2 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容

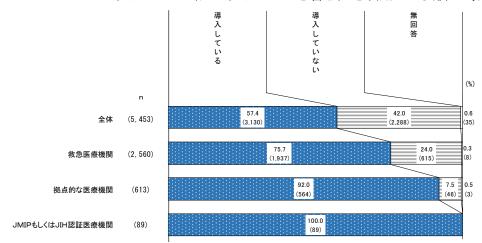


5. キャッシュレス決済について

(1) クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済の導入状況(SA)

クレジットカードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 57.4%、「導入していない」が 42.0%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「導入している」が 75.7%、「導入していない」が 24.0%、拠点的な医療機関では「導入している」が 92.0%、「導入していない」が 7.5%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「導入している」が 100.0%となっている。

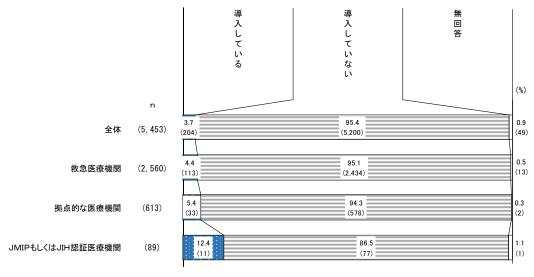


図表 I-5-1 クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済の導入状況

(2) QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)

QR コードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 3.7%、「導入していない」が 95.4%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「導入している」が 4.4%、「導入していない」が 95.1%、拠点的な医療機関では「導入している」が 5.4%、「導入していない」が 94.3%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「導入している」が 12.4%「導入していない」が 86.5%となっている。

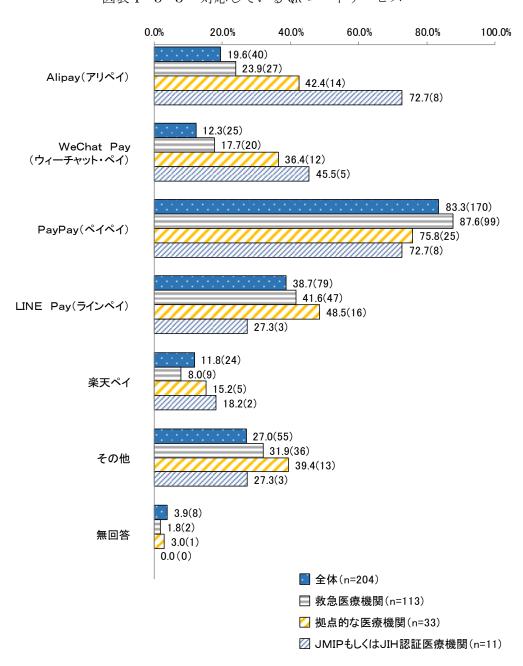


図表 I-5-2 QR コードを利用した決済の導入状況

(3)対応している QR コードサービス (MA)

QR コードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応している QR コードサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が 83.3%で最も高く、次いで「LINE Pay (ライン・ペイ)」が 38.7%、「Alipay (アリペイ)」が 19.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「PayPay(ペイペイ)」が 87.6%で最も高く、次いで「LINE Pay (ライン・ペイ)」が 41.6%となっている。拠点的な医療機関では「PayPay(ペイペイ)」が 75.8%で最も高く、次いで「LINE Pay (ライン・ペイ)」が 48.5%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「PayPay(ペイペイ)」、「Alipay (アリペイ)」が 72.7%で最も高く、次いで「WeChat Pay (ウィーチャット・ペイ)」が 45.5%となっている。

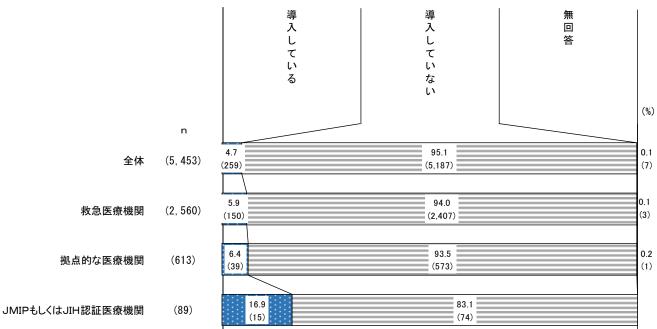


図表 I-5-3 対応している QR コードサービス

(4) その他の電子マネーを利用した決済の導入状況 (SA)

その他の電子マネーを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 4.7%、「導入 していない」が 95.1%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「導入している」が 5.9%、「導入していない」が 94.0%、拠点的な医療機関では「導入している」が 6.4%、「導入していない」が 93.5%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「導入している」が 16.9%、「導入していない」が 83.1%となっている。

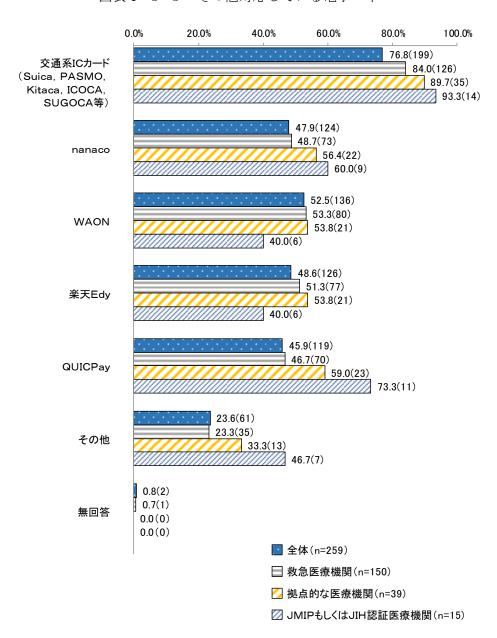


図表 I-5-4 その他の電子マネーを利用した決済の導入状況

(5) その他対応している電子マネー (MA)

その他の電子マネーを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応しているサービスについて聞いたところ、「交通系 IC カード」が 76.8%で最も高く、次いで「WAON」が 52.5%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「交通系 IC カード」が 84.0%で最も高く、次いで「WAON」が 53.3%と続いている。拠点的な医療機関では、「交通系 IC カード」が 89.7%で最も高く、次いで「QUIC Pay」が 59.0%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「交通系 IC カード」が 93.3%で最も高く、次いで「QUICPay」が 73.3%と続いている。

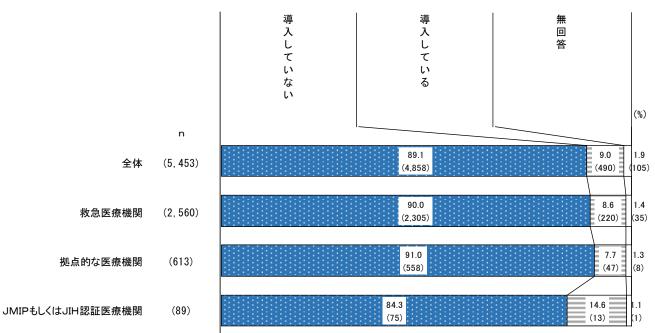


図表 I-5-5 その他対応している電子マネー

(6) その他の決済サービスの導入状況 (SA)

その他の決済サービスの導入状況について聞いたところ、「導入している」が 9.0%、「導入していない」 が 89.1%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「導入している」が 8.6%、「導入していない」が 90.0%、拠点的な医療機関では「導入している」が 7.7%、「導入していない」が 91.0%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「導入している」が 14.6%、「導入していない」が 84.3%となっている。



図表 I-5-6 その他の決済サービスの導入状況

(7) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「口座振替(口座引き落とし)」、「銀行振込・ゆうちょ払込」、「コンビニ支払い」、「医療費あと払いサービス」、「STORES 決済サービス(旧:Coiney)」、「中国銀聯」等の回答が得られた。

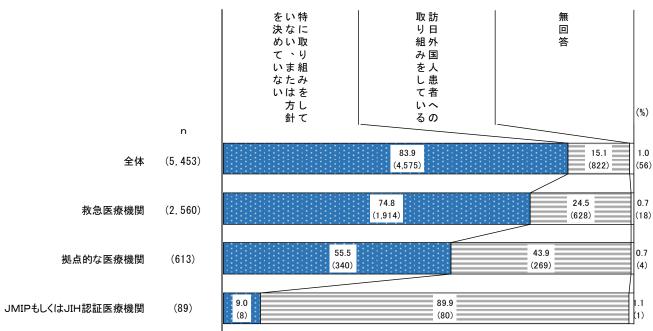
6. 未収金等への対策について

6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(1) -1 訪日外国人患者への取り組み状況 (SA)

訪日外国人患者への取組み状況について聞いたところ、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が83.9%、「訪日外国人患者への取り組みをしている」が15.1%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が74.8%で、「訪日外国人患者への取り組みをしている」が24.5%となっている。拠点的な医療機関では「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が55.5%で、「訪日外国人患者への取り組みをしている」が43.9%となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が9.0%で、「訪日外国人患者への取り組みをしている」が89.9%となっている。



図表 I-6-1-1 訪日外国人患者への取り組み状況

(1) -2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み (MA)

訪日外国人患者に対して実施している取り組みについて聞いたところ、「パスポート等、身分証のコピーの保存」が 78.0%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 72.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「パスポート等、身分証のコピーの保存」が 79.0%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 75.5%と続いている。拠点的な医療機関では「パスポート等、身分証のコピーの保存」が 80.7%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の確認」が 77.0%と続いている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では「パスポート等、身分証のコピーの保存」が 90.0%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証の電認」が 82.5%と続いている。

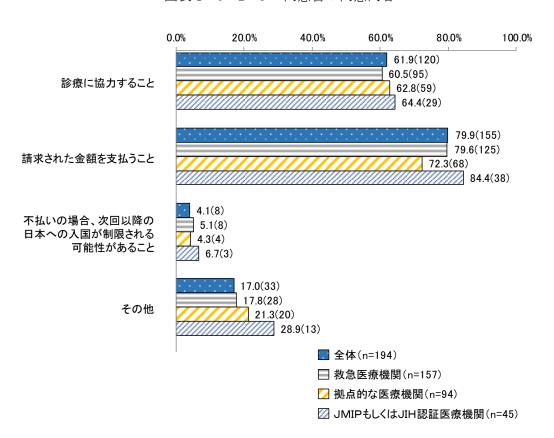
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 100.0% 80.0% 72.9(599) 75.5(474) パスポート等、身分証の確認 77.0(207) 82.5(66) 78.0(641) 79.0(496) パスポート等、身分証の 80.7(217) コピーの保存 90.0(72) 41.4(340) 40.1(252) 価格について事前説明 50.6(136) 80.0(64) 23.6(194) 25.0(157) 同意書の取得 34.9(94) 56.3(45) 33.3(274) 35.2(221) 海外旅行保険など医療保険の 加入有無の事前確認 43.9(118) 61.3(49) 13.9(114) 14.2(89) その他 14.9(40) 23.8(19) 0.7(6)0.2(1) 無回答 0.0 0.0 ■ 全体(n=822) ■ 救急医療機関(n=628) ☑ 拠点的な医療機関(n=269) ☑ JMIPもしくはJIH認証医療機関(n=80)

図表 I-6-1-2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み

(1) -3 同意書の同意内容 (MA)

訪日外国人患者に『同意書の取得』を実施していると回答した医療機関に対して、同意書の同意内容について聞いたところ、「請求された金額を支払うこと」が 79.9%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が 61.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「請求された金額を支払うこと」が 79.6%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が 60.5%と続いている。拠点的な医療機関では「請求された金額を支払うこと」が 72.3%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が 62.8%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「請求された金額を支払うこと」が 84.4%で最も高く、次いで「診療に協力すること」が 64.4%と続いている。



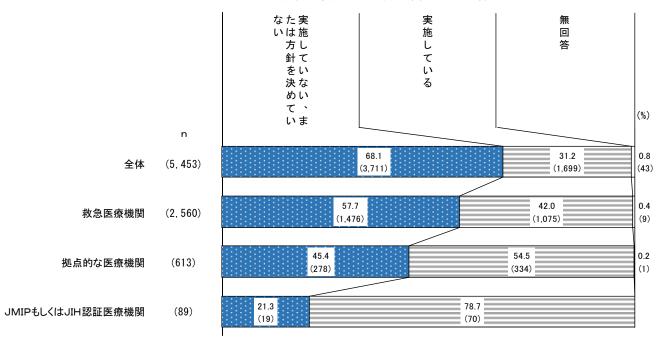
図表 I-6-1-3 同意書の同意内容

6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(2) -1 在留外国人患者への本人確認実施の有無(SA)

在留外国人患者への保険証以外による本人確認実施の有無について聞いたところ、「実施していない、または方針を決めていない」が 68.1%、「実施している」が 31.2%となっている。

医療機関の種別でみると、「実施している」は、救急医療機関では 42.0%、拠点的な医療機関では 54.5%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 78.7%となっている。

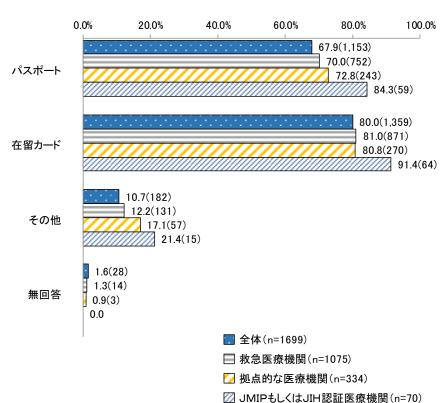


図表 I-6-2-1 在留外国人への本人確認実施の有無

(2) -2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

在留外国人患者への本人確認を実施していると回答した医療機関に対して、本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「在留カード」が 80.0%で最も高く、次いで「パスポート」が 67.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「在留カード」が 81.0%で最も高く、次いで「パスポート」が 70.0%と続いている。拠点的な医療機関では「在留カード」が 80.8%で最も高く、次いで「パスポート」が 72.8%と続いている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「在留カード」が 91.4%で最も高く、次いで「パスポート」が 84.3%と続いている。



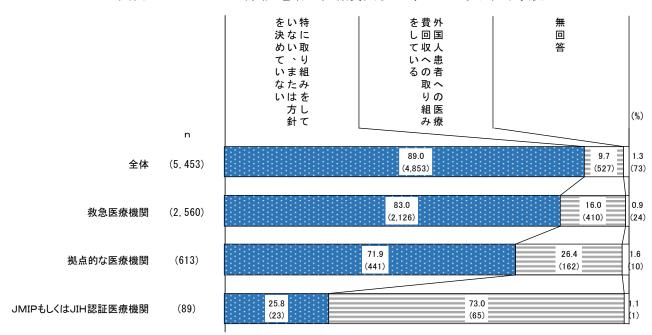
図表 I-6-2-2 本人確認時に提示を求めているもの

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法

(3) -1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況 (SA)

外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況について聞いたところ、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が 89.0%、「外国人患者への医療費回収への取り組みをしている」が 9.7%となっている。

医療機関の種別でみると、「外国人患者への医療費回収への取り組みをしている」は、救急医療機関では 16.0%、拠点的な医療機関では 26.4%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 73.0%となっている。

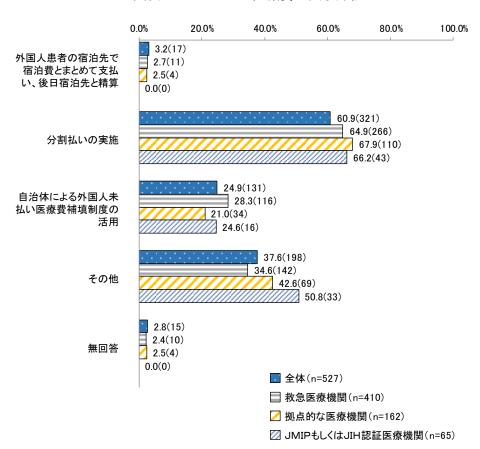


図表 I-6-3-1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況

(3) -2 医療費の回収方法 (MA)

外国人患者の医療費の回収方法について聞いたところ、「分割払いの実施」が 60.9%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払医療費補填制度の活用」が 24.9%と続いている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では「分割払いの実施」が 64.9%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払医療費補填制度の活用」が 28.3%と続いている。拠点的な医療機関では「分割払いの実施」が 67.9%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払医療費補填制度の活用」が 21.0%と続いている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では「分割払いの実施」が 66.2%で最も高く、次いで「自治体による外国人未払医療費補填制度の活用」が 24.6%と続いている。

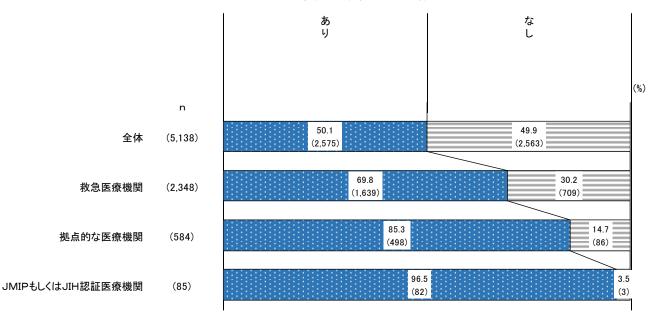


図表 I-6-3-2 医療費の回収方法

II. 調査票 B 結果

1. 外国人患者受入れの有無

外国人患者受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 50.1%、「なし」が 49.9%となっている。 医療機関の種別でみると、「あり」が救急医療機関では 69.8%、拠点的な医療機関では 85.3%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では 96.5%となっている。



図表Ⅱ-1 外国人患者受入れの有無

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

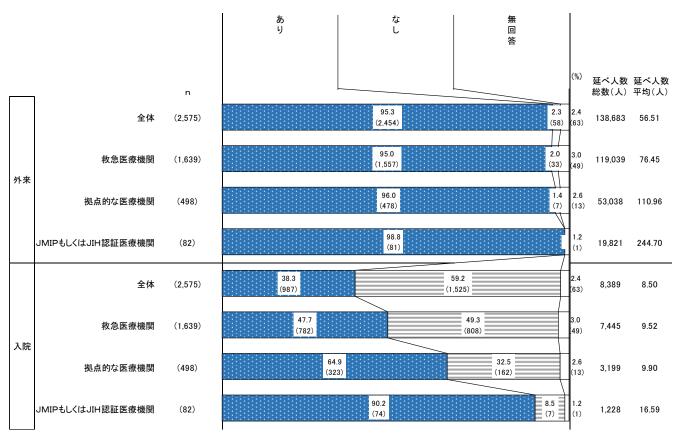
(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (FA)

在留外国人患者受入れの有無について聞いたところ、外来では「あり」が 95.3%、「なし」が 2.3%となっており、入院では「あり」が 38.3%、「なし」が 59.2%となっている。

医療機関の種別でみると、外来では「あり」が救急医療機関では95.0%、拠点的な医療機関では96.0%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では98.8%となっており、入院では「あり」が救急医療機関では47.7%、拠点的な医療機関では64.9%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では90.2%となっている。

延べ人数はそれぞれ 138,683 人 (外来)、8,389 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 56.51 人 (外来)、8.5 人 (入院) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、受入れ「あり」が外来で1,557 件 (95.0%) 入院で782 件 (47.7%) となっており、延べ人数はそれぞれ119,039 人 (外来)、7,445 人 (入院)、平均人数はそれぞれ76.45 人 (外来)、9.52 人 (入院) となっている。拠点的な医療機関では受入れ「あり」が外来で478 件 (96.0%)、入院で323 件 (64.9%) となっており、延べ人数はそれぞれ53,038 人 (外来)、3,199 人 (入院)、平均人数はそれぞれ110.96 人 (外来)、9.90 人 (入院) となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では受入れ「あり」が外来で81 件 (98.8%) 入院で74 件 (90.2%) となっており、延べ人数はそれぞれ19,821 人 (外来)、1,228 人 (入院)、平均人数はそれぞれ244.70 人 (外来)、16.59 人 (入院) となっている。



図表Ⅱ-2-1 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数

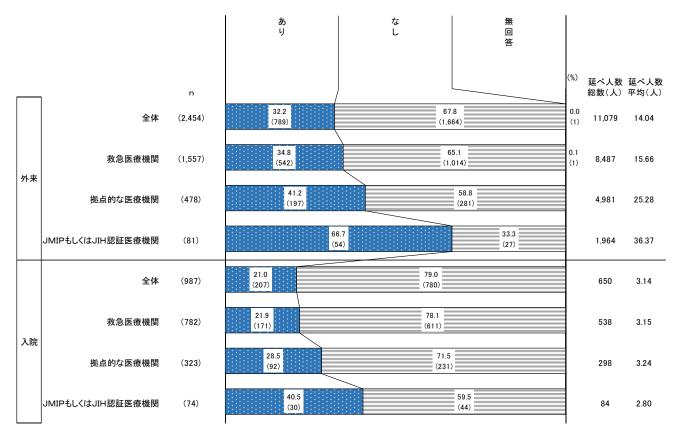
(2) 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の有無について聞いたところ、外来では1名以上の未加入者「あり」と回答した医療機関が32.2%、未加入者「なし」と回答した医療機関が67.8%となっており、入院では「あり」が21.0%、「なし」が79.0%となっている。

医療機関の種別でみると、外来では「あり」が救急医療機関では34.8%、拠点的な医療機関では41.2%、 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では66.7%となっており、入院では「あり」が救急医療機関では21.9%、拠点的な医療機関では28.5%、JMIP もしくは JIH 認証医療機関では40.5%となっている。

受入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の延べ人数はそれぞれ 11,079 人 (外来)、650 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 14.04 人 (外来)、3.14 人 (入院) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来で 542 件 (34.8%) 入院で 171 件 (21.9%) となっており、延べ人数はそれぞれ 8,487 人 (外来)、538 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 15.66 人 (外来)、3.15 人 (入院)となっている。拠点的な医療機関では、外来で 197 件 (41.2%)、入院で 92 件 (28.5%)となっており、延べ人数はそれぞれ 4,981 人 (外来)、298 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 25.28 人 (外来)、3.24 人 (入院)となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来で 54 件 (66.7%)入院で 30 件 (40.5%)となっており、延べ人数はそれぞれ 1,964 人 (外来)、84 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 36.37 人 (外来)、2.80 人 (入院)となっている。



図表Ⅱ-2-2 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)

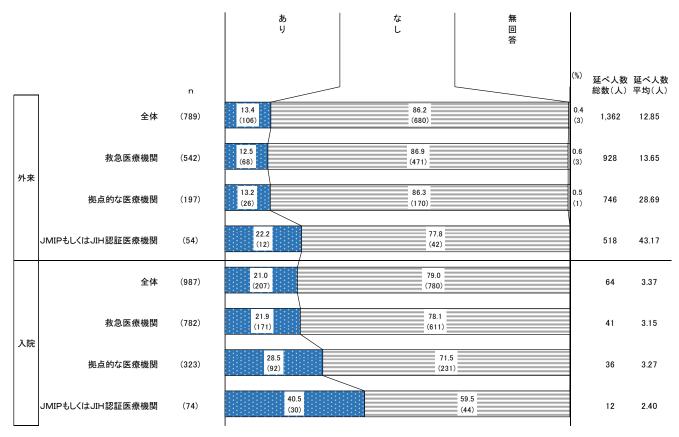
(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の有無について聞いたところ、外来では、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が13.4%、利用者「なし」と回答した医療機関が86.2%となっており、入院では「あり」が21.0%、「なし」が79.0%となっている。

医療機関の種別でみると、外来では「あり」が、救急医療機関では12.5%、拠点的な医療機関では13.2%、JMIPもしくは JIH 認証医療機関では22.2%、入院では「あり」が、救急医療機関では21.9%、拠点的な医療機関では28.5%、JMIPもしくは JIH 認証医療機関では40.5%となっている。

受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ 1,362 人(外来)、64 人(入院)、平均人数はそれぞれ 12.85 人(外来)、3.37 人(入院)となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来で 68 件 (12.5%) 入院で 171 件 (21.9%) となっており、延べ人数はそれぞれ 928 人 (外来)、41 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 13.65 人 (外来)、3.15 人 (入院) となっている。拠点的な医療機関では、外来で 26 件 (13.2%)、入院で 92 件 (28.5%) となっており、延べ人数はそれぞれ 746 人 (外来)、36 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 28.69 人 (外来)、3.27 人 (入院)となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来で 12 件 (22.2%) 入院で 30 件 (40.5%) となっており、延べ人数はそれぞれ 518 人 (外来)、12 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 43.17 人 (外来)、2.40 人 (入院)となっている。

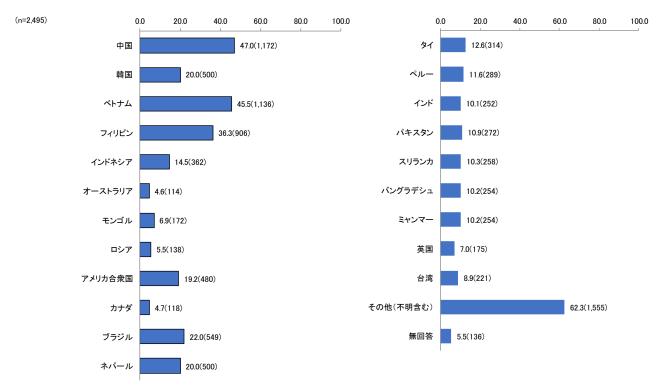


図表Ⅱ-2-3 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)

(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の国籍について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の47.0%で最も高く、次いで「ベトナム」籍が45.5%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-2-4 受入れた在留外国人患者の国籍

図表Ⅱ-2-4-1 受入れた在留外国人患者の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピ ン	インドネ シア	オースト ラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ 合衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	1, 172	500	1, 136	906	362	114	172	138	480	118	549
総数 (人)	14, 472	4, 350	7, 973	7, 395	1, 092	255	381	357	3, 033	282	8, 489
平均 (人)	12. 35	8.70	7. 02	8. 16	3. 02	2. 24	2. 22	2. 59	6. 32	2. 39	15. 46
	ネパール	タイ	ペルー	インド	パキスタ ン	スリラン カ	バングラ デシュ	ミャンマ	英国	台湾	その他 (不 明含む)
回答医療機関数 (件)	500	314	289	252	272	258	254	254	175	221	1, 555
総数 (人)	3, 187	1, 119	2, 046	1, 119	1, 100	970	1, 023	744	450	701	39, 553
平均 (人)	6. 37	3. 56	7. 08	4. 44	4.04	3. 76	4. 03	2. 93	2. 57	3. 17	25. 44

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

3. 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について

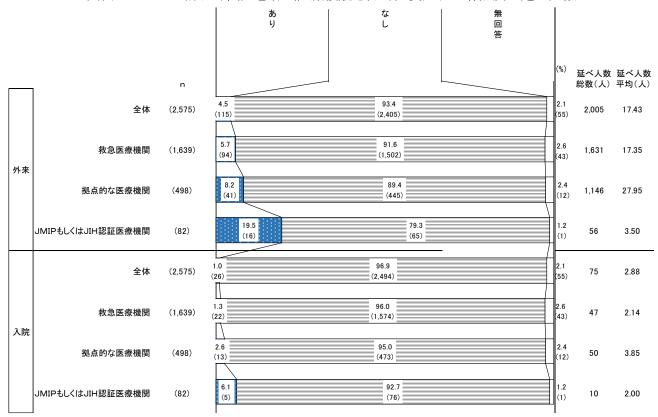
(1) 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れの有無及び延べ人数(FA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)受入れの有無について聞いたところ、外来では「あり」が 4.5%、「なし」が 93.4%となっており、入院では「あり」が 1.0%、「なし」が 96.9%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来では「あり」が 5.7%、「なし」が 91.6%となっており、入院では「あり」が 1.3%、「なし」が 96.0%となっている。拠点的な医療機関では、外来では「あり」が 8.2%、「なし」が 89.4%となっており、入院では「あり」が 2.6%、「なし」が 95.0%となっている。 JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来では「あり」が 19.5%、「なし」が 79.3%となっており、入院では「あり」が 6.1%、「なし」が 92.7%となっている。

受入れ患者の延べ人数はそれぞれ 2,005 人(外来)、75 人(入院)、平均人数はそれぞれ 17.43 人(外来)、2.88 人(入院)となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、受入れ「あり」が外来で94件(5.7%)入院で22件(1.3%)となっており、延べ人数はそれぞれ1,631人(外来)、47人(入院)、平均人数はそれぞれ17.35人(外来)、2.14人(入院)となっている。拠点的な医療機関では受入れ「あり」が外来で41件(8.2%)、入院で13件(2.6%)となっており、延べ人数はそれぞれ1,146人(外来)、50人(入院)、平均人数はそれぞれ27.95人(外来)、3.85人(入院)となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では受入れ「あり」が外来で16件(19.5%)入院で5件(6.1%)となっており、延べ人数はそれぞれ56人(外来)、10人(入院)、平均人数はそれぞれ3.50人(外来)、2.0人(入院)となっている。



図表Ⅱ-3-1 訪日外国人患者(医療渡航を除く)受入れの有無及び延べ人数

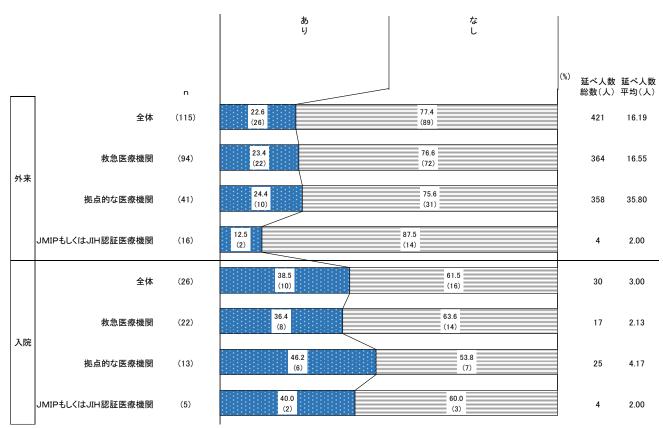
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航を除く))(FA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の民間医療保険利用者について聞いたところ、外来では、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が22.6%、利用者「なし」と回答した医療機関が77.4%となっており、入院では、「あり」が38.5%、「なし」が61.5%となっている。

医療機関の種別でみると、外来では「あり」が、救急医療機関では23.4%、拠点的な医療機関では24.4%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では12.5%、入院では「あり」が救急医療機関では36.4%、拠点的な医療機関では46.2%、JMIPもしくはJIH認証医療機関では40.0%となっている。

受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ 421 (外来)、30人 (入院)、平均人数はそれぞれ 16.19人 (外来)、3.00人 (入院)となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来で 22 件 (23.4%) 入院で 8 件 (36.4%) となっており、延べ人数はそれぞれ 364 人 (外来)、(17 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 16.55 人 (外来)、(2.13 人 (入院) となっている。拠点的な医療機関では、外来で 10 件 (24.4%)、入院で 6 件 (46.2%) となっており、延べ人数はそれぞれ 358 人 (外来)、(25 人 (入院)、平均人数はそれぞれ 35.80 人 (外来)、(4.17 人 (入院) となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来で (2 件 (12.5%) 入院で (2 件 (40.0%) となっており、延べ人数はそれぞれ (4 人 (9 来)、(4 人 (10 入院)、平均人数はそれぞれ (2.00 人 (9 来)、(2.00 人 (0 入院) となっている。

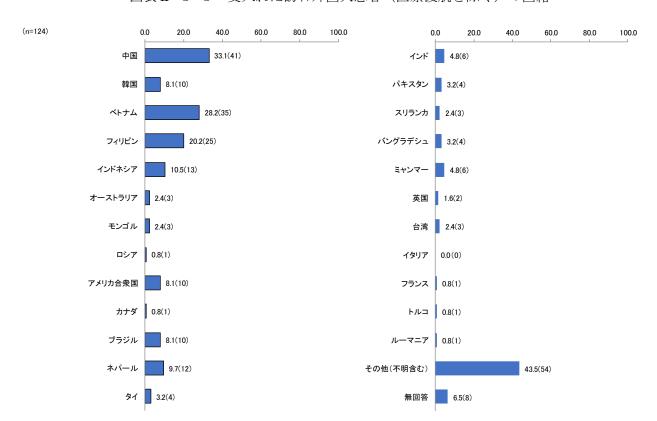


図表Ⅱ-3-2 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航を除く))

(3) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別の延べ人数(MA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の33.1%で最も高く、次いで「ベトナム」籍が28.2%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者(医療渡航を除く)の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-3-3 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍

図表Ⅱ-3-3-1 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシ ア	オーストラ リア	モンゴル	ロシア	アメリカ合 衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	41	10	35	25	13	3	3	1	10	1	10
総数 (人)	111	25	142	69	35	8	4	1	18	1	312
平均 (人)	2. 71	2. 50	4. 06	2. 76	2. 69	2. 67	1. 33	1.00	1.80	1.00	31. 20
	ネパール	タイ	インド	パキスタン	スリランカ	バングラデ シュ	ミャンマー	英国	台湾	イタリア	フランス
回答医療機関数 (件)	12	4	6	4	3	4	6	2	3	-	1
総数 (人)	39	5	13	11	15	5	12	3	3	-	1
平均 (人)	3. 25	1. 25	2. 17	2. 75	5. 00	1. 25	2.00	1.50	1.00	-	1.00
	トルコ	ルーマニア	その他 (不 明含む)								
回答医療機関数 (件)	1	1	54								
総数	9	-	700]							

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

2

2 00

平均

709

13 13

1 00

4. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れ実績について

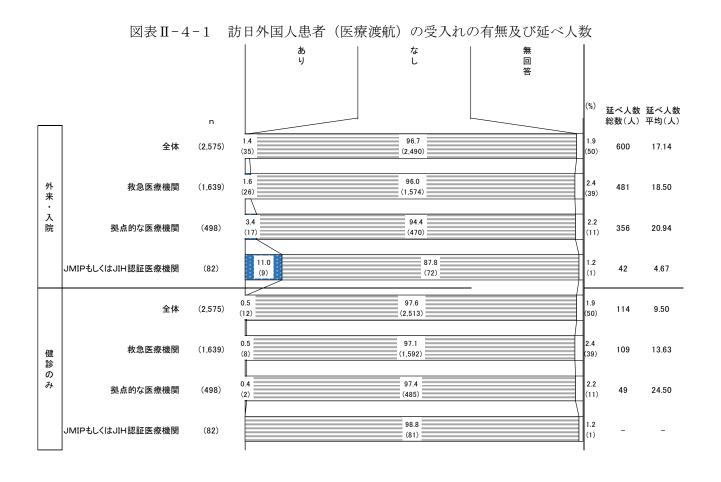
(1) 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れの有無及び延べ人数(FA)

訪日外国人患者(医療渡航)受入れの有無について聞いたところ、外来・入院では「あり」が 1.4%、「なし」が 96.7%となっており、健診のみでは「あり」が 0.5%、「なし」が 97.6%となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では外来・入院では「あり」が 1.6%、「なし」が 96.0%となっており、健診のみでは「あり」が 0.5%、「なし」が 97.1%となっている。拠点的な医療機関では、外来・入院では「あり」が 3.4%、「なし」が 94.4%となっており、健診のみでは「あり」が 0.4%、「なし」が 97.4%となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では外来・入院では「あり」が 11.0%、「なし」が 87.8%となっている。

受入れ患者の延べ人数はそれぞれ 600 人 (外来・入院)、114 人 (検診のみ)、平均人数はそれぞれ 17.14 人 (外来・入院)、9.50 人 (検診のみ) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、受入れ「あり」が外来・入院で 26 件 (1.6%)、検診のみで 8 件 (0.5%) となっており、延べ人数はそれぞれ 481 人 (外来・入院)、109 人 (検診のみ) 、平均人数はそれぞれ 18.50 人 (外来・入院) 、13.63 人 (検診のみ) となっている。拠点的な医療機関では、受入れ「あり」が外来・入院で 17 件 (3.4%) 、検診のみで 2 件 (0.4%) となっており、延べ人数はそれぞれ 356 人 (外来・入院) 、49 人 (検診のみ) 、平均人数はそれぞれ 20.94 人 (外来・入院) 、24.50 人 (検診のみ) となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、受入れ「あり」が外来・入院で 9 件 (11.0%) 、延べ人数は 42 人 (外来・入院) 、平均人数は 4.67 人 (外来・入院) となっている。

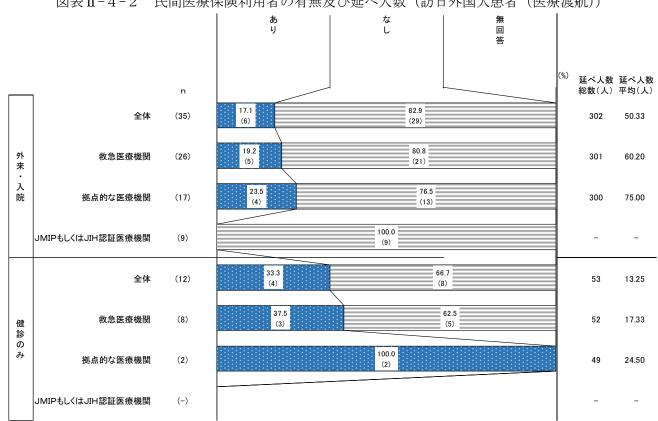


(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航))(FA)

訪日外国人患者(医療渡航)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療目 的)の民間医療保険利用者の有無について聞いたところ、外来・入院では、1 名以上の利用者「あり」と回答 した医療機関が17.1%、利用者「なし」と回答した医療機関は82.9%となっており、検診のみでは、「あ り」が33.3%、「なし」が66.7%であった。

医療機関の種別でみると、外来・入院では「あり」が、救急医療機関では19.2%、拠点的な医療機関では 23.5%、検診のみでは「あり」が救急医療機関では37.5%、拠点的な医療機関では100.0%となっている。 受入れた訪日外国人患者(医療目的)の民間医療保険利用者の延べ人数はそれぞれ302人(外来・入院)、 53 人 (検診のみ)、平均人数はそれぞれ 50.33 人 (外来、入院)、13.25 人 (検診のみ) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来・入院で5件(19.2%)、検診のみで3件(37.5%)と なっており、延べ人数はそれぞれ 301 人(外来・入院)、52 人(検診のみ)、平均人数はそれぞれ 60.20 人 (外来・入院)、17.33人(検診のみ)となっている。拠点的な医療機関では、外来・入院で4件(23.5%)、 検診のみで2件(100.0%)となっており、延べ人数はそれぞれ300人(外来・入院)、49人(検診のみ)、平 均人数はそれぞれ 75.00 人(外来・入院)、24.50人(検診のみ)となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療 機関では、外来・入院で、検診とも0人であった。

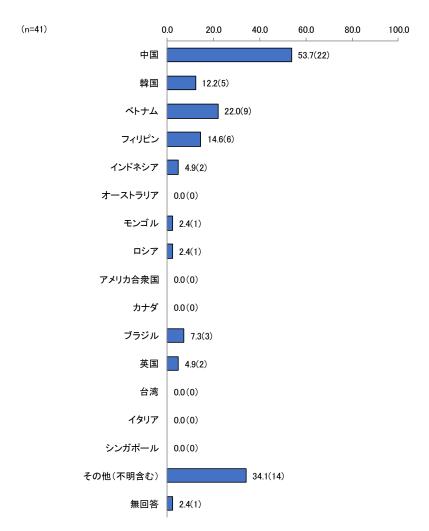


図表Ⅱ-4-2 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航))

(3) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別の延べ人数(MA)

訪日外国人患者(医療渡航)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療目的)の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の53.7%で最も高く、次いで「ベトナム」籍が22.0%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者(医療目的)の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-4-3 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍

図表Ⅱ-4-3-1 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	インドネシ ア	オーストラ リア	モンゴル	ロシア	アメリカ合 衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	22	5	9	6	2	-	1	1	-	-	3
総数 (人)	100	8	73	18	4	-	1	1	-	-	371
平均 (人)	4. 55	1.60	8. 11	3.00	2. 00	-	1.00	1.00	-	-	123. 67
	英国	台湾	イタリア	シンガポー ル	その他 (不明含む)						
回答医療機関数 (件)	2	-	-	-	14						
総数 (人)	4	-	-	-	109						
平均 (人)	2.00	-	-	-	7. 79						

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類(FA)

訪日外国人患者(医療渡航)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療目的)の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-4-4 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類

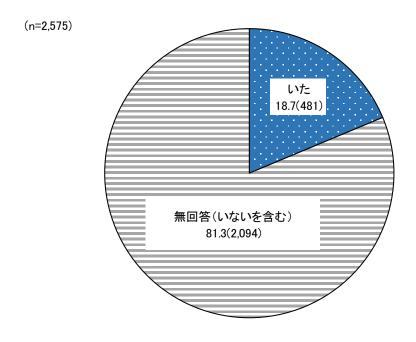
	回答医療 機関数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
悪性新生物 (C00-C97)	16	29	1.81
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50-D89)	2	3	1. 50
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)	2	6	3.00
循環器系疾患(I00-I99)	7	41	5. 86
呼吸器系疾患(J00-J99)	5	60	12.00
歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94)	2	41	20.50
歯科疾患(管理等含む)	1	2	2.00
筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94)	3	52	17. 33
腎尿路生殖器系疾患(N00-N99)	4	32	8.00
妊娠、分娩及び産褥(000-099)	_	_	_
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	5	27	5. 40
その他	10	169	16. 90

5. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受入れた病院に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が18.7%、「無回答(いないを含む)」が81.3%となっている。

図表Ⅱ-5-1 未収金を生じた患者の有無



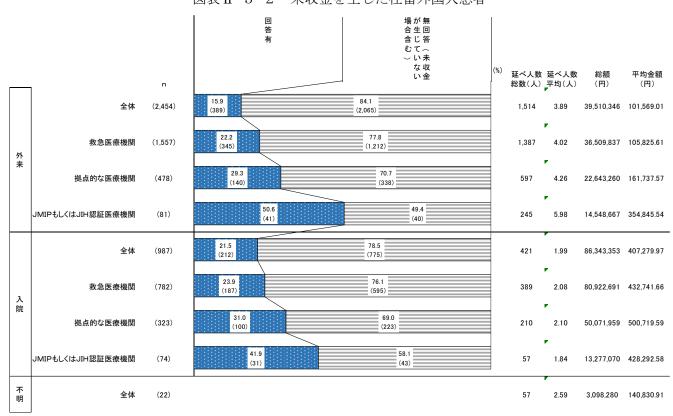
(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

未収金を生じた在留外国人患者について回答があったのは、外来で 389 件 (15.9%)、入院で 212 件 (21.5%) となっている。延べ人数は外来で 1,514 人、平均人数 3.89 人となっており、入院では 421 人、平均人数 1.99 人となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では外来で345 件(22.2%)、入院で187 件(23.9%)となっている。延べ人数は外来で1,387 人、平均人数4.02 人となっており、入院では389 人、平均人数2.08 人となっている。拠点的な医療機関では外来で140 件(29.3%)、入院で100 件(31.0%)となっている。延べ人数は外来で597 人、平均人数4.26 人となっており、入院では210 人、平均人数2.10 人となっている。JMIPもしくは JIH 認証医療機関では、外来で41 件(50.6%)、入院で31 件(41.9%)となっている。延べ人数は外来で245 人、平均人数5.98 人となっており、入院では57 人、平均人数1.84 人となっている。

在留外国人患者の未收金額の総額は、外来で 39,510,346 円 (平均 101,569.01 円) となっており、入院は 86,343,353 円 (平均 407,279.97 円) となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では外来で 36,509,837 円 (平均 105,825.61 円) となっており、入院は 80,922,691 円 (平均 432,741.66 円) となっている。拠点的な医療機関では、外来で 22,643,260 円 (平均 161,737.57 円) となっており、入院は 50,071,959 円 (平均 500,719.59 円) となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来で 14,548,667 円 (平均 354,845.54 円) となっており、入院は 13,277,070 円 (平均 428,292.58 円) となっている。



図表Ⅱ-5-2 未収金を生じた在留外国人患者

※表中の「延べ人数平均」「平均金額」は、「回答有」の医療機関数で割って算出している。

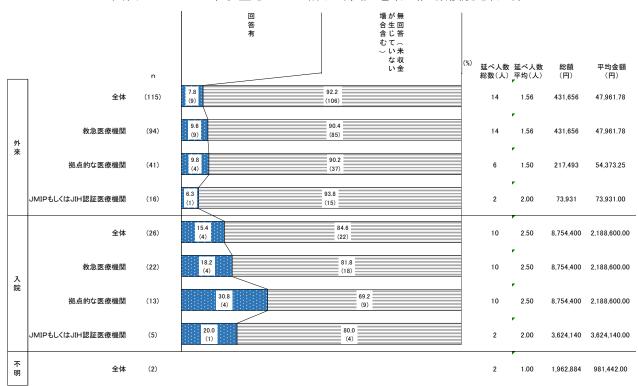
(3) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)について回答があったのは、外来で9件(7.8%)、入院で4件(15.4%)となっている。延べ人数は外来で14人、平均人数1.56人となっており、入院では10人、平均人数2.50人となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来で9件(9.6%)、入院で4件(18.2%)となっている。延べ人数は外来で14人、平均人数1.56人となっており、入院では10人、平均人数2.50人となっている。拠点的な医療機関では、外来で4件(9.8%)、入院で4件(30.8%)となっている。延べ人数は外来で6人、平均人数1.50人となっており、入院では10人、平均人数2.50人となっている。JMIPもしくはJIH認証医療機関では、外来で1件(6.3%)、入院で1件(20.0%)となっている。延べ人数は外来で2人、平均人数2.00人となっており、入院では2人、平均人数2.00人となっている。

訪日外国人患者(医療渡航を除く)の未收金額の総額は、外来で431,656円(平均47,961.78円)となっており、入院は8,754,400円(平均2,188,600.00円)となっている。

医療機関の種別でみると、救急医療機関では、外来で 431,656 円 (平均 47,961.78 円) となっており、入院は 8,754,400 円 (平均 2,188,600.00 円) となっている。拠点的な医療機関では外来で 217,493 円 (平均 54,373.25 円) となっており、入院は 8,754,400 円 (平均 2,188,600.00 円) となっている。JMIP もしくは JIH 認証医療機関では、外来で 73,931 円、入院は 3,624,140 円となっている。



図表Ⅱ-5-3 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)

※表中の「延べ人数平均」「平均金額」は、医療機関数で割って算出している。

(4) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)については、未収金を生じた訪日外国人患者はいなかった。

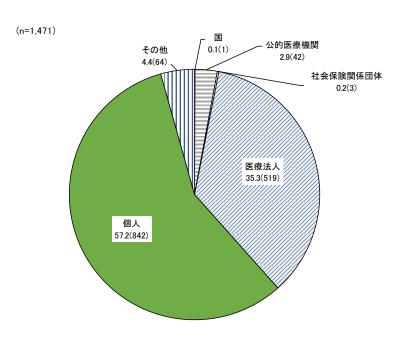
第3章 調査結果(診療所)

I. 調査票 A 結果

1. 回答した医療機関の基本情報

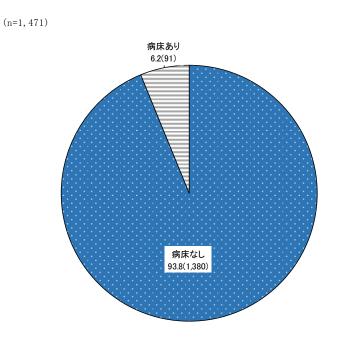
(1) 開設者 (SA)

図表 I-1-1 開設者



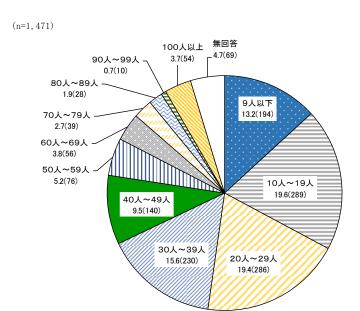
(2) 病床の有無 (SA)

図表 I-1-2 病床の有無



(3) 1日平均外来患者数 (FA)

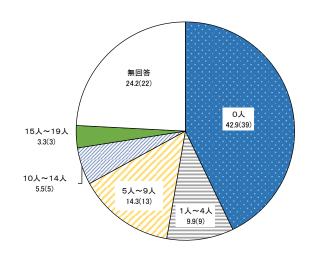
図表 I-1-3 1日平均外来患者数



(4) 1日平均在院患者数 (FA)

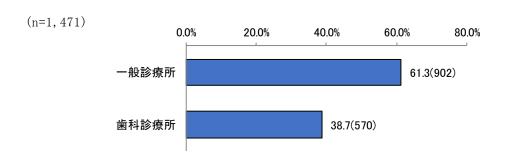
図表 I-1-4 1日平均在院患者数





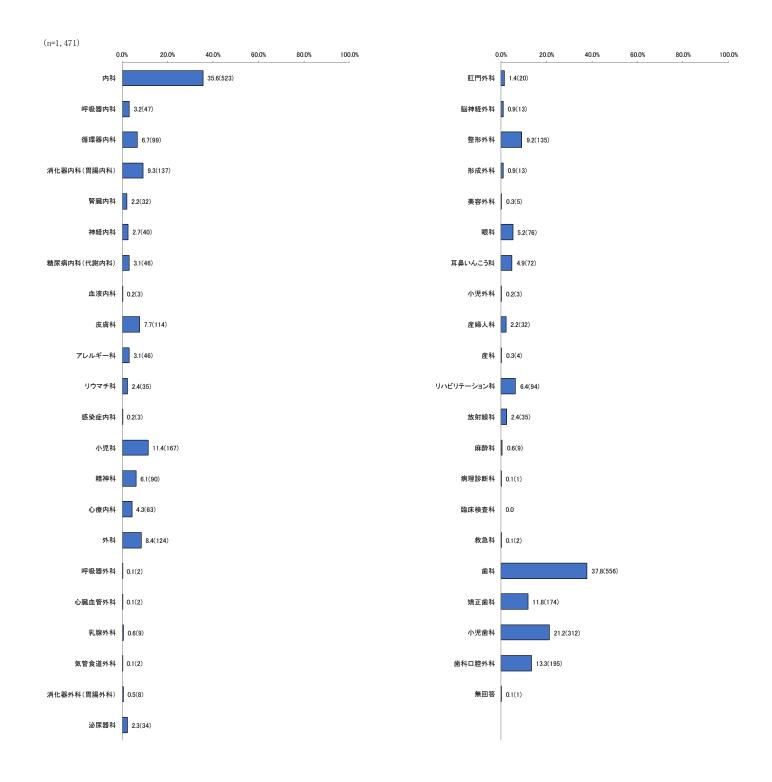
(5) 医療機関の種別 (MA)

図表 I-1-5 医療機関の種別



(6)診療科目 (MA)

図表 I-1-6 診療科目



2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

(1) 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度 (SA)

外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアルについてその認知度を聞いたところ、「内容を知っていた」が 15.3%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 43.8%、「知らなかった」が 39.6%、「無回答」が 1.2%となっている。

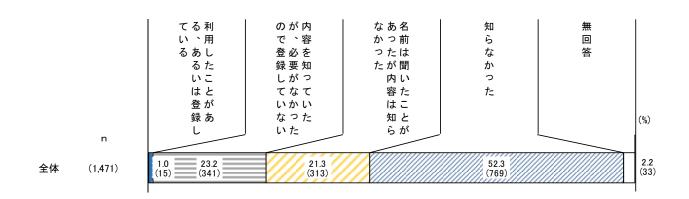
なあ名 知 容 かつ前 回 b ったは な を たが聞 知 か つ っ 内い τ 容た た い はこ 知と (%) らが 15.3 43.8 1.2 全体 (1, 471)(225)(645) (583) (18)

図表 I-2-1 外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル認知度

(2) 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況 (SA)

希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業についてその利用・登録状況を聞いたところ、「利用したことがある、あるいは登録している」が1.0%、「内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない」が23.2%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が21.3%、「知らなかった」が52.3%、「無回答」が2.2%となっている。

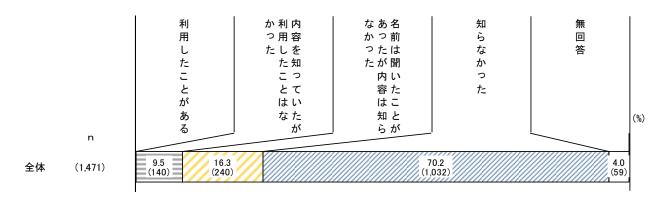
図表 I-2-2 希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業の利用・登録状況



(3) 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況 (SA)

医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.0%、「内容を知っていたが利用したことはない」が 9.5%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 16.3%、「知らなかった」が 70.2%、「無回答」が 4.0%となっている。

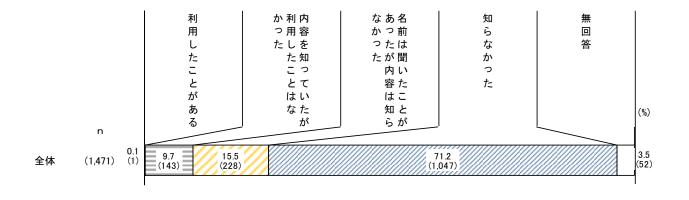
図表 I-2-3 医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業の利用状況



(4) 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.1%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 9.7%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 15.5%、「知らなかった」が 71.2%、「無回答」が 3.5%となっている。

図表 I-2-4 外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修の利用状況



(5) 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況 (SA)

外国人向け多言語説明資料一覧についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 1.2%、「内容を知っていたが利用したことはなかった」が 13.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 17.1%、「知らなかった」が 65.5%、「無回答」が 3.2%となっている。

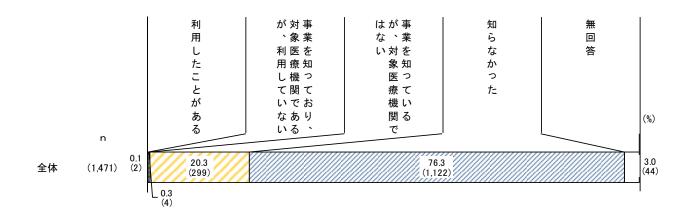
か利内 なあ名 知 用 つ用容 かつ前 b 回 ったは たしを な 答 たことが た知 たが聞 か こっ 内い っ とて 容た た はい はこ あ なた 知と (%) らが る が 3.2 (47) 13.0 65.5 全体 (1,471) (18) (252) (191)(963)

図表 I-2-5 外国人向け多言語説明資料一覧の利用状況

(6) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 (医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)の利用状況 (SA)

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための設備整備事業)についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.1%、「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 0.3%、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 20.3%、「知らなかった」が 76.3%、「無回答」が 3.0%となっている。

図表 I-2-6 新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業の利用状況



(7) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における 外国人患者の受入れ体制確保事業)の利用状況(SA)

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業)についてその利用状況を聞いたところ、「利用したことがある」が 0.1%、「事業を知っており、対象医療機関であるが、利用していない」が 0.5%、「事業を知っているが、対象医療機関ではない」が 20.1%、「知らなかった」が 76.0%、「無回答」が 3.3%となっている。

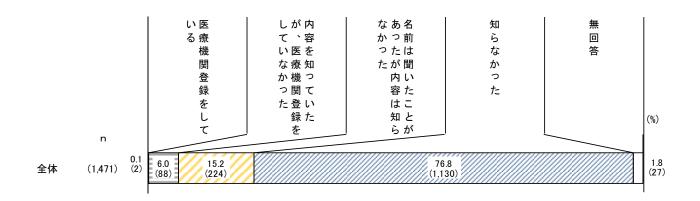
図表 I-2-7 新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業の利用状況



(8) 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況 (SA)

訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムについてその登録状況を聞いたところ、「医療機関登録をしている」が 0.1%、「内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった」が 6.0%、「名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった」が 15.2%、「知らなかった」が 76.8%、「無回答」が 1.8%となっている。

図表 I-2-8 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムの登録状況

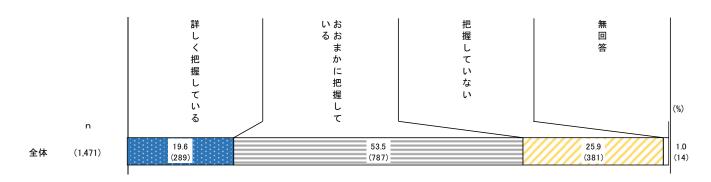


3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 外国人患者の受入れに関する体制

(1) -1 自院における外国人患者の受診状況(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)(SA) 自院における外国人患者の受診状況を把握しているか聞いたところ、「詳しく把握している」が 19.6%、「おおまかに把握している」が 53.5%、「把握していない」が 25.9%、「無回答」が 1.0%となっている。

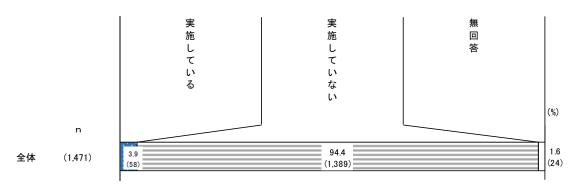
図表 I-3-1-1 自院における外国人患者の受診状況



(1) -2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出(SA)

外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出について聞いたところ、「実施している」が 3.9%、「実施していない」が 94.4%、「無回答」が 1.6%となっている。

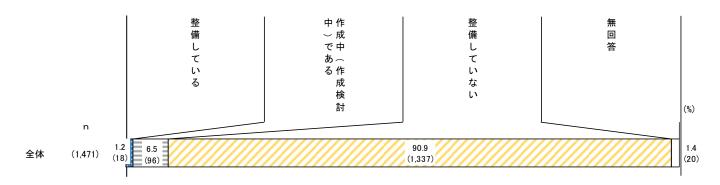
図表 I-3-1-2 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出



(1) -3 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」(SA)

自院おける「外国人患者受入れ体制整備方針」について聞いたところ、「整備している」が 1.2%、「作成中 (作成検討中) である」が 6.5%、「整備していない」が 90.9%、「無回答」が 1.4%となっている。

図表 I-3-1-3 自院おける「外国人患者受入れ体制整備方針」

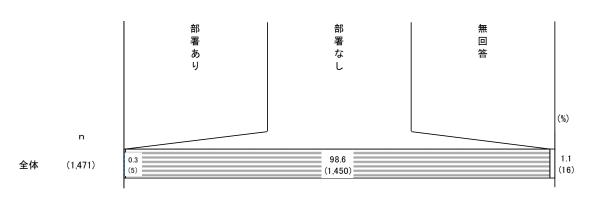


3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況

(2) -1 外国人患者対応専門部署の有無(SA)

外国人患者対応専門部署の有無について聞いたところ、「部署あり」が 0.3%、「部署なし」が 98.6%、「無回答」が 1.1%となっている。

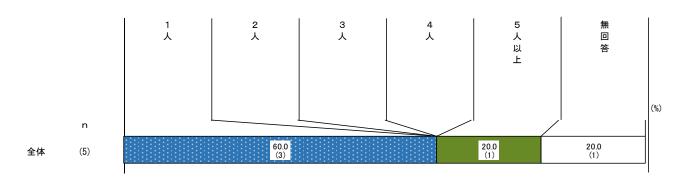
図表 I-3-2-1 外国人患者対応専門部署の有無



(2) -2 外国人患者対応専門部署の職員数 (FA)

外国人患者対応専門部署があると回答した医療機関に対して、専門部署の職員数について聞いたところ、「1人」が60.0%、「5人以上」が20.0%、「無回答」が20.0%となっている。

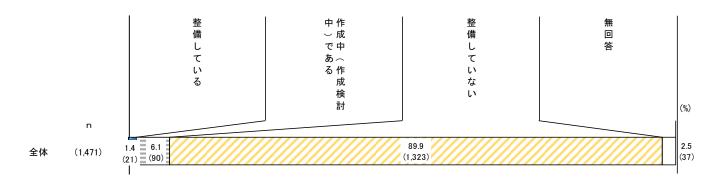
図表 I-3-2-2 外国人患者対応専門部署の職員数



(2) -3 外国人対応のマニュアル整備状況 (SA)

外国人対応のマニュアル整備状況について聞いたところ、「整備している」が 1.4%、「作成中(作成検討中)である」が 6.1%、「整備していない」が 89.9%、「無回答」が 2.5%となっている。

図表 I-3-2-3 外国人対応のマニュアル整備状況



3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター

(3) - 1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数について聞いたところ、「0人」が 98.0%で最も高く、次いで「1人」が 0.5%と続いている。

 0 人
 1 人
 2 人
 3 無
 無

 以上
 答

 全体 (1,471)
 98.0 (1,442)
 (%)

図表 I-3-3-1 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数

(3) - 2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別 (SA)

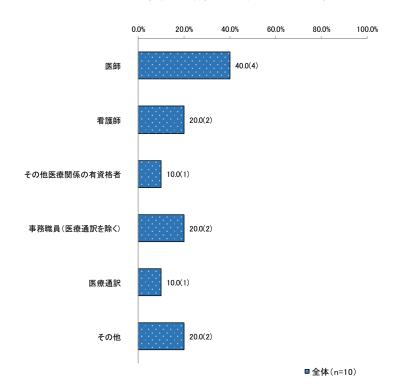
外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が63.6%で最も高く、次いで「専任・兼任とも配置」が27.3%と続いている。

兼 任 無回 任 の み配 み配 兼 ☆任とも (%) n 63.6 27.3 全体 (11)(3) (1)

図表 I-3-3-2 外国人患者受入れ医療コーディネーターの専任・兼任の別

(3) -3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職 (MA)

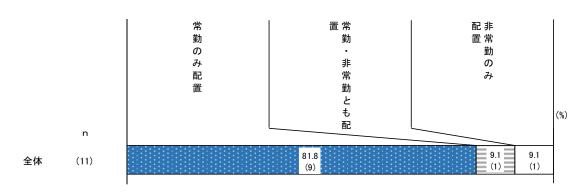
兼任の外国人患者受入れ医療コーディネーターを配置していると回答した医療機関に対して、外国人患者 受入れ医療コーディネーターの兼職について聞いたところ、「医師」が 40.0%で最も高く、次いで「看護 師」、「事務職員」が 20.0%と続いている。



図表 I-3-3-3 外国人患者受入れ医療コーディネーターの兼職

(3) -4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別(SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が81.8%で、「常勤・非常勤とも配置」、「非常勤のみ配置」がそれぞれ9.1%となっている。

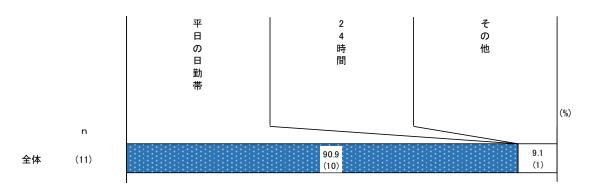


図表 I-3-3-4 外国人患者受入れ医療コーディネーターの常勤・非常勤の別

(3) - 5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時 (SA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が90.9%で最も高く、次いで「24時間」が9.1%となっている。

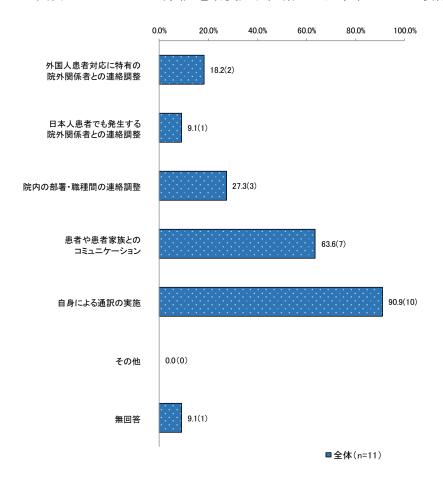
図表 I-3-3-5 外国人患者受入れ医療コーディネーターがカバーしている日時



(3) - 6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割 (MA)

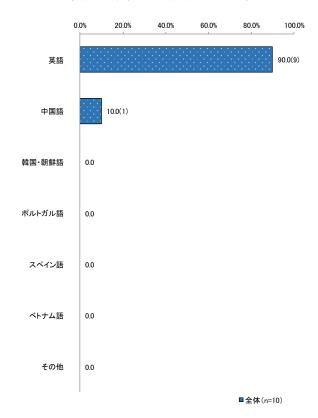
外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数が1人以上と回答した医療機関に対して、外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割について聞いたところ、「自身による通訳の実施」が90.9%で最も高く、次いで「患者や患者家族とのコミュニケーション」が63.6%と続いている。

図表 I-3-3-6 外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割



(3) - 7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語 (MA)

外国人患者受入れ医療コーディネーターの役割で『自身による通訳の実施』と回答した医療機関にコーディネーターの対応言語について聞いたところ、「英語」が 90.0%で最も高く、次いで「中国語」が 10.0%と 続いている。

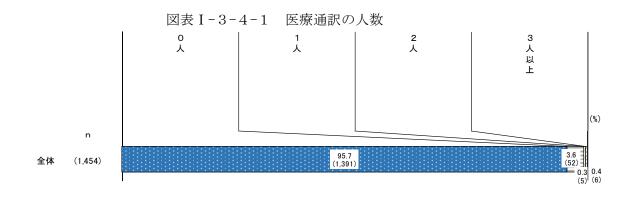


図表 I-3-3-7 外国人患者受入れ医療コーディネーターの対応言語

3-4. 医療通訳

(4) - 1 医療通訳の人数 (SA)

医療通訳の人数について回答があった医療機関のうち、「0人」が 95.7%で最も高く、次いで「1人」が 3.6%と続いている。



(4) -2 医療通訳の専任・兼任の別(SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の専任・兼任の別について聞いたところ、「兼任のみ配置」が90.5%で最も高く、次いで「専任のみ配置」、「専任・兼任とも配置」が3.2%と続いている。

 専任任任任任任任日日のの・・ののみ 兼
 みみ 前記 任任 配記 置

 ・ ののみ 兼
 ・ のの 答

 ・ のの 方の 意記 日任 配記 置
 と 置

 ・ のの 方の 答
 ・ のの 答

 ・ のの 方の 音
 ・ のの 答

 ・ のの 方の 音
 ・ のの 答

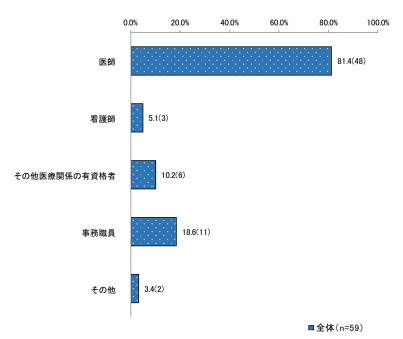
 ・ のの 音
 ・ のの 音

 ・ のの 音</

図表 I-3-4-2 医療通訳の専任・兼任の別

(4) -3 医療通訳の兼職 (MA)

兼任の医療通訳を配置していると回答した医療機関に対して、医療通訳の兼職について聞いたところ、「医師」が81.4%で最も高く、次いで「事務職員」が18.6%と続いている。

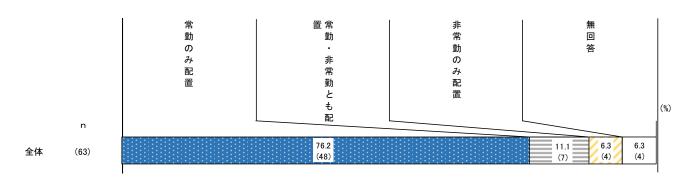


図表 I-3-4-3 医療通訳の兼職

(4) -4 医療通訳の常勤・非常勤の別(SA)

医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の常勤・非常勤の別について聞いたところ、「常勤のみ配置」が76.2%で最も高く、次いで「常勤・非常勤とも配置」が11.1%と続いている。

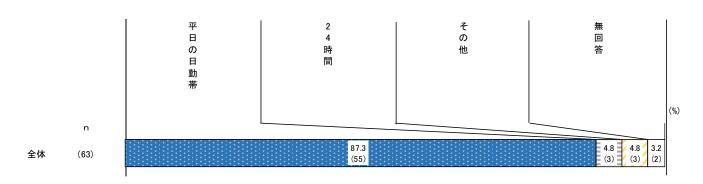
図表 I-3-4-4 医療通訳の常勤・非常勤の別



(4) - 5 医療通訳がカバーしている日時 (SA)

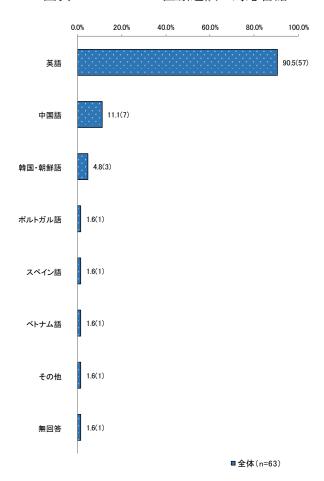
医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳がカバーしている日時について聞いたところ、「平日の日勤帯」が87.3%で最も高く、次いで「24時間」、「その他」が4.8%と続いている。

図表 I-3-4-5 医療通訳がカバーしている日時



(4) -6 医療通訳の対応言語 (MA)

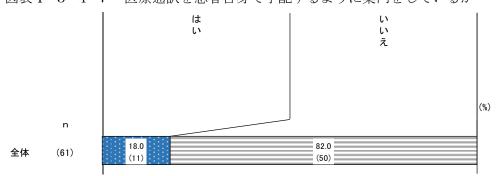
医療通訳の人数が1人以上と回答した医療機関に対して、医療通訳の対応言語について聞いたところ、「英語」が90.5%で最も高く、次いで「中国語」が11.1%と続いている。



図表 I-3-4-6 医療通訳の対応言語

(4) - 7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか (SA)

患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に案内しているか(医療機関のホームページ等による案内も含む)について回答があった医療機関のうち、「はい」が18.0%、「いいえ」が82.0%となっている。



図表 I-3-4-7 医療通訳を患者自身で手配するように案内をしているか

3-5. 電話通訳(遠隔通訳)

(5)-1 電話通訳(遠隔通訳)の利用状況(SA)

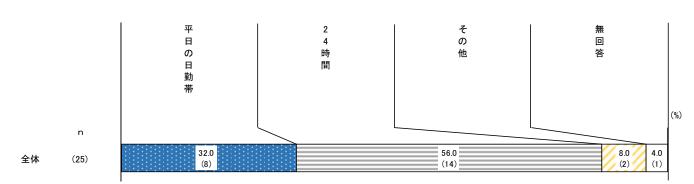
電話通訳(遠隔通訳)の利用状況について聞いたところ、「利用している」が1.7%、「利用していない」が97.1%となっている。

利 用 し て い る な い 2 全体 (1.471) 1.7 97.1 1.2 1.8)

図表 I-3-5-1 電話通訳(遠隔通訳)の利用状況

(5) -2 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時(SA)

電話通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている範囲について聞いたところ、「24時間」が56.0%で最も高く、次いで「平日の日勤帯」が32.0%となっている。



図表 I-3-5-2 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時

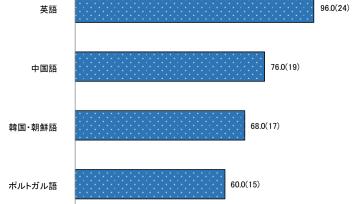
(5) -3 電話通訳(遠隔通訳)の対応言語(MA)

スペイン語

フランス語

電話通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、電話通訳(遠隔通訳)の対応言語について聞い たところ、「英語」が96.0%で最も高く、次いで「中国語」が76.0%で続いている。

図表 I-3-5-3 電話通訳(遠隔通訳)の対応言語 0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 96.0(24) 英語











■全体(n=25)

64.0(16)

3-6. ビデオ通訳 (遠隔通訳)

(6)-1 ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況 (SA)

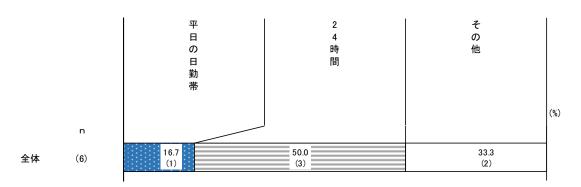
ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況の配置状況について聞いたところ、「利用している」が 0.4%、「利用していない」が 98.2%となっている。

利 用 し し て い る る な い (%)

図表 I-3-6-1 ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用状況

(6) - 2 ビデオ通訳 (遠隔通訳) がカバーしている日時 (SA)

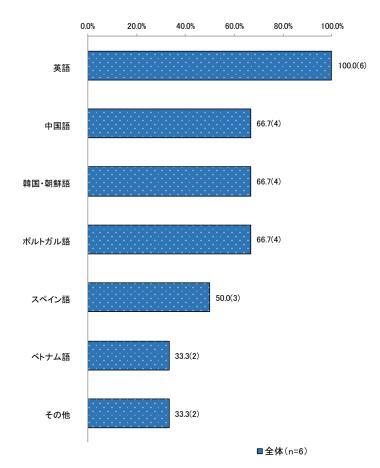
ビデオ通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時について聞いたところ、「24時間」が50.0%で最も高く、次いで「その他」が33.3%となっている。



図表 I-3-6-2 ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時

(6) -3 ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語(MA)

ビデオ通訳(遠隔通訳)を利用している医療機関に対して、ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語について聞いたところ、「英語」が100.0%で最も高く、次いで「中国語」「韓国・朝鮮語」「ポルトガル語」がそれぞれ66.7%で続いている。



図表 I-3-6-3 ビデオ通訳(遠隔通訳)の対応言語

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況

(7) -1 タブレット端末等の利用状況 (SA)

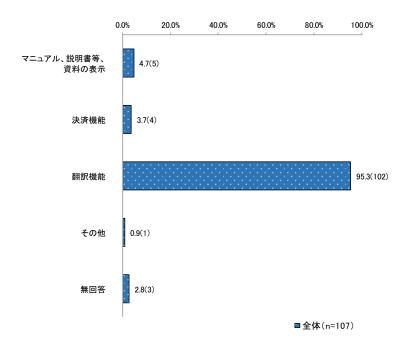
タブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について聞いたところ、「医療機関として導入している」が 7.3%、「導入していない、または、医療従事者が個人で使用している」が 91.5%、「無回答」が 1.2%となっている。

個た導 回 て療 人は入 で、し い機 答 使医て る関 し し従な て事い τ 흦 い者、 (%) 入 るがま n 7.3 91.5 1.2 全体 (1,471) (107)(1.346)(18)

図表 I-3-7-1 タブレット端末等の利用状況

(7) −2 タブレット端末等に備わっている機能 (MA)

タブレット端末等を導入している医療機関に対して、端末等に備わっている機能について聞いたところ、「翻訳機能」が 95.3%で最も高く、次いで「マニュアル、説明書等、資料の表示」が 4.7%と続いている。

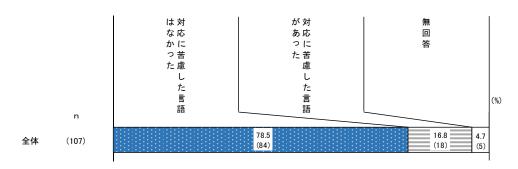


図表 I-3-7-2 タブレット端末等に備わっている機能

(7) −3 現在使用している端末の対応言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語(SA)

翻訳機能を備えているタブレット端末等を導入している医療機関に対して、現在使用している端末の対応 言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語について聞 いたところ、「対応に苦慮した言語はなかった」が 78.5%、「対応に苦慮した言語があった」が 16.8%、「無 回答」が 4.7%となっている。

図表 I-3-7-3 現在使用している端末の対応言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レベルではないために、対応に苦慮した言語

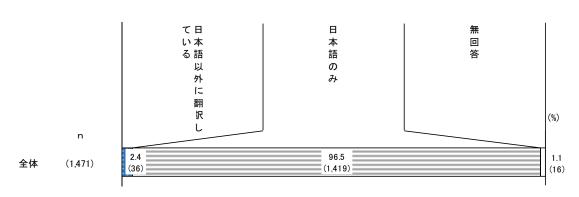


※対応に苦慮した言語抜粋:ベトナム語、中国語、ロシア語、ウルドゥー語、インドネシア語、タイ語

3-8. 院内案内図、院内表示

(8) -1 院内案内図、院内表示の多言語化状況 (SA)

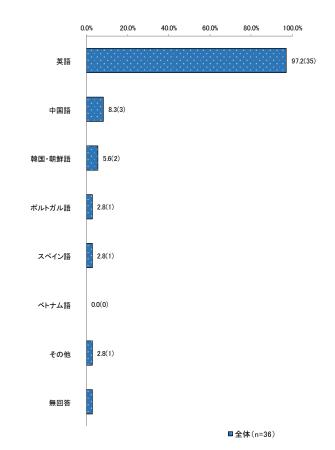
院内案内図、院内表示の多言語化状況について聞いたところ、「日本語以外に翻訳している」が 2.4%、「日本語のみ」が 96.5%となっている。



図表 I-3-8-1 院内案内図、院内表示の多言語化状況

(8) -2 院内案内図、院内表示の対応言語 (MA)

院内案内図、院内表示を日本語以外に翻訳していると回答した医療機関に対して、院内案内図、院内表示の 対応言語について聞いたところ、「英語」が 97.2% で最も高く、次いで「中国語」8.3%となっている。



図表 I-3-8-2 院内案内図、院内表示の対応言語

3-9. 訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について(SA)

訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について聞いたところ、「検討していない、方針はない」が 51.7%で最も高く、次いで「依頼があれば受入れる」が23.1%となっている。

積 る依 針検 頼 入 は討 回 ħ 的 が 答 なし に あ は いて

図表 I-3-9 訪日外国人患者(医療渡航)の今後の受入れ方針について

受 れ い 入 ば な な 受 い 入 (%) 方 23.1 (340) 22.0 (323) 1.1 (16) 全体 (1,471)

3-10. 多言語に対応するためのその他の取組など(FA)

多言語に対応するためのその他の取組として、「通訳同伴の依頼」「問診票や治療案内等の多言語対応」等 の回答が得られた。

4. 医療費について

4-1. 医療費(自由診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について

(1) 自由診療での診療報酬点数「1点」あたりの請求額(SA)

診療報酬点数「1点」あたりの金額について聞いたところ、「10 円以下」が79.9%で最も高く、次いで「診療報酬点数表を用いていない」が10.6%と続いている。

大きく15円 大きく20−1点あたり て診 い療な報 き点 険診療 いあ が耐い点 たり 円 1 以 0 円 1 以 5 2 数表を用 じ円 下円 下円 円 (%) より より n 0.8 (12) 79.9 (1,176) 10.6 (156) 3.7 (54) (1471) 全体 1.2 (17) ☑ 1点あたり15円より大きく20円以下 ■ 1点あたり10円以下(保険診療と同じ) 🗏 1点あたり10円より大きく15円以下 ☑ 1点あたり20円より大きい ■ 診療報酬点数表を用いていない □ 無回答

図表 I-4-1-1 診療報酬点数「1点」あたりの請求額

(2) 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)

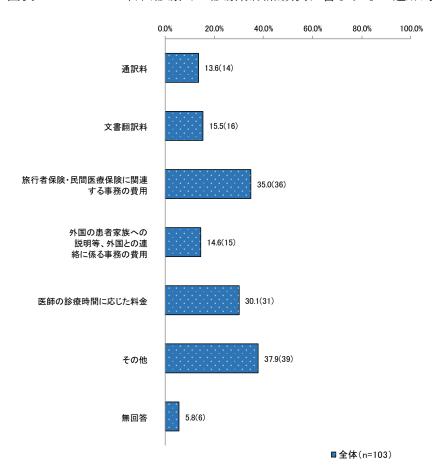
自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況について聞いたところ、「追加的な費用請求をしていない」が 86.1%で、「追加的な費用請求をしている」が 7.0%となっている。

し追 し追 回 て加 て加 い的 い的 答 なな るな 費用 い費 用 請 請 求 求 (%) を を n 86.1 7.0 6.9 全体 (1,471) (1,267)(103)(101)

図表 I-4-1-2 自由診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況

(3) 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)

「診療報酬点数表に含まれない費用」の追加的な費用請求をしている医療機関に対して、その内容について聞いたところ、「旅行者保険・民間医療保険に関連する事務の費用」が35.0%で最も高く、次いで「医師の診療時間に応じた料金」が30.1%と続いている。その他として、診断書作成料、絆創膏等の消耗品、矯正歯科治療等の回答があった。



図表 I-4-1-3 自由診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容

4-2. 医療費(保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費)について

(1) 保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況 (SA)

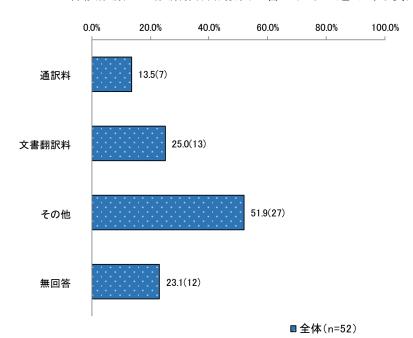
保険診療での「診療報酬点数表に含まれない費用」の請求状況について聞いたところ、「追加的な費用請求をしていない」が91.4%で、「追加的な費用請求をしている」が3.5%、「無回答」が5.1%となっている。

し追 し追 無 て加 て加 回 い的 い的 答 なな るな 費用 い費 用 請 請 求 求 (%) を を n 3.5 (52) 91.4 全体 (1,471) (1.344)

図表 I-4-2-1 保険診療での診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況

(2) 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容 (MA)

「診療報酬点数表に含まれない費用」の追加的な費用請求をしている医療機関に対して、その内容について聞いたところ、「文書翻訳料」が25.0%で最も高く、次いで「通訳料」が13.5%と続いている。



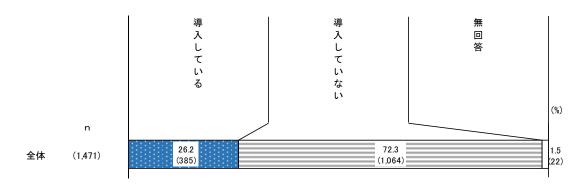
図表 I-4-2-2 保険診療での診療報酬点数表に含まれない追加的な費用の内容

5. キャッシュレス決済について

(1) クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済の導入状況(SA)

クレジットカードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 26.2%、「導入していない」が 72.3%となっている。

図表 I-5-1 クレジットカード (デビットカードを含む) を利用した決済の導入状況



(2) QR コードを利用した決済の導入状況 (SA)

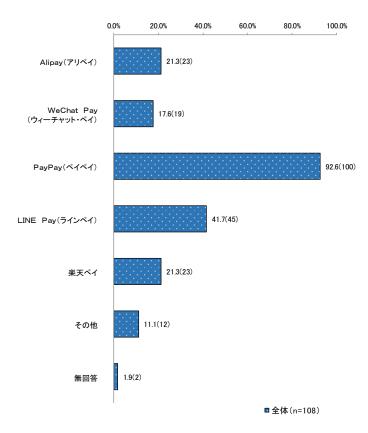
QR コードを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 7.3%、「導入していない」が 90.8%となっている。

導 入 し て い る 2 2 4 18 (%) (%)

図表 I-5-2 QR コードを利用した決済の導入状況

(3) 対応している QR コードサービス (MA)

QR コードを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応している QR コードサービスについて聞いたところ、「PayPay(ペイペイ)」が 92.6%で最も高く、次いで「LINE Pay (ライン・ペイ)」が 41.7%、「Alipay (アリペイ)」、「楽天ペイ」がそれぞれ 21.3%となっている。



図表 I-5-3 対応している QR コードサービス

(4) その他の電子マネーを利用した決済の導入状況 (SA)

その他の電子マネーを利用した決済の導入状況について聞いたところ、「導入している」が 5.7%、「導入していない」が 91.8%となっている。

導 入 し て い る **

(%)

全体 (1,471)

(84)

(91.8

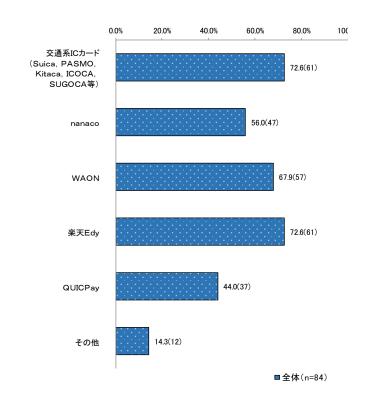
(1,350)

(%)

図表 I-5-4 その他の電子マネーを利用した決済の導入状況

(5) その他対応している電子マネー (MA)

その他の電子マネーを利用した決済を導入している医療機関に対して、対応しているサービスについて聞いたところ、「交通系 IC カード」、「楽天 Edy」が それぞれ 72.6%で最も高く、次いで「WAON」が 67.9%と続いている。



図表 I-5-5 その他対応している電子マネー

(6) その他の決済サービスの導入状況 (SA)

その他の決済サービスの導入状況について聞いたところ、「導入している」が 6.6%、「導入していない」が 89.9%となっている。

導入してしていいない。 ないないない。 全体 (1,471) 89.9 (1,323) 6.6 (97) (51)

図表 I-5-6 その他の決済サービスの導入状況

(7) その他の決済サービスの利用状況 (FA)

その他の決済サービスの利用状況について聞いたところ、「口座振替(自動引き落とし)」、「銀行振込」、「デンタルローン」等の回答が得られた。

6. 未収金等への対策について

6-1. 訪日外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(1) -1 訪日外国人患者への取り組み状況 (SA)

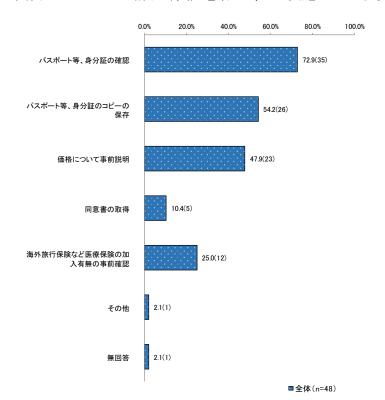
訪日外国人患者への取組み状況について聞いたところ、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が94.8%、「訪日外国人患者への取り組みをしている」が3.3%と続いている。

取 訪 をい特 決なに ИΗ 回 めい取 組外 て、り み国 いま組 なたみ し患 いはを 方し いへ (%) 針て るの n 94.8 3.3 1.9 全体 (1,471)(1,395) (28) (48)

図表 I-6-1-1 訪日外国人患者への取り組み状況

(1) -2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み (MA)

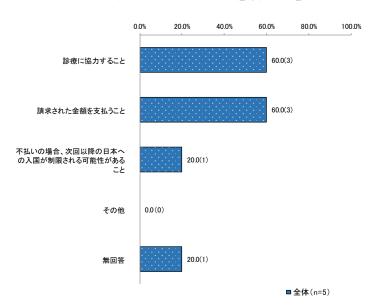
訪日外国人患者に対して実施している取り組みについて聞いたところ、「パスポート等、身分証の確認」が72.9%で最も高く、次いで「パスポート等、身分証のコピーの保存」が54.2%と続いている。



図表 I-6-1-2 訪日外国人患者に対して実施している取り組み

(1) -3 同意書の同意内容 (MA)

訪日外国人患者に『同意書の取得』を実施していると回答した医療機関に対して、同意書の同意内容について聞いたところ、「診療に協力すること」、「請求された金額を支払うこと」がそれぞれ 60.0%で最も高く、次いで「不払いの場合、次回以降の日本への入国が制限される可能性があること」が 20.0%と続いている。



図表 I-6-1-3 同意書の同意内容

6-2. 在留外国人患者を診療する際に実施している取り組み

(2) -1 在留外国人患者への本人確認実施の有無(SA)

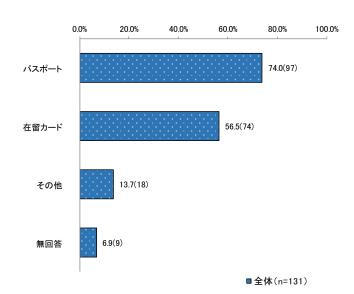
在留外国人患者への保険証以外による本人確認実施の有無について聞いたところ、「実施していない、または方針を決めていない」が88.8%、「実施している」が8.9%となっている。

なた実 いは施 方し 針て をい 決な めい て、 いま 88.8 (1,306) 8.9 (%)

図表 I-6-2-1 在留外国人への本人確認実施の有無

(2) -2 本人確認時に提示を求めているもの (MA)

在留外国人患者への本人確認を実施していると回答した医療機関に対して、本人確認時に提示を求めているものについて聞いたところ、「パスポート」が74.0%で最も高く、次いで「在留カード」が56.5%と続いている。



図表 I-6-2-2 本人確認時に提示を求めているもの

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法

(3) -1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況 (SA)

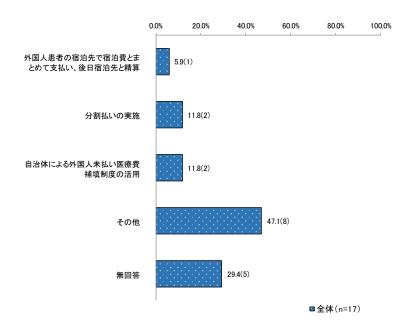
外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況について聞いたところ、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」が96.4%、「外国人患者への医療費回収への取り組みをしている」が1.2%となっている。

をい特 を費外 し回国 回 決なに めい取 て収人 答 て、り いへ患 いま組 るの者 なたみ 取へ りの いはを 組医 方し (%) み療 n 96.4 1.2 全体 (1,471) (1,418)(17)(36)

図表 I-6-3-1 外国人患者の医療費回収に対しての取り組み状況

(3) -2 医療費の回収方法 (MA)

外国人患者の医療費の回収方法について聞いたところ、「分割払いの実施」、「自治体による外国人未払医療費補填制度の活用」がそれぞれ11.8%で最も高く、次いで「外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊先と精算」が5.9%と続いている。



図表 I-6-3-2 医療費の回収方法

II. 調査票 B 結果

1. 外国人患者受入れの有無

外国人患者受入れの有無について聞いたところ、「あり」が31.4%、「なし」が68.6%となっている。

かり な し (%) 全体 (1,415) (970)

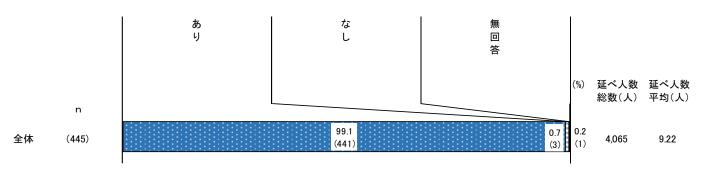
図表Ⅱ-1 外国人患者受入れの有無

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

(1) 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数 (FA)

在留外国人患者受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 99.1%、「なし」が 0.7%、「無回答」が 0.2%となっている。

延べ人数はそれぞれ 4,065 人、平均人数は 9.22 人となっている。



図表Ⅱ-2-1 在留外国人患者の受入れの有無及び延べ人数

(2) 公的医療保険利用の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の公的医療保険の未加入者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の未加入者「あり」と回答した医療機関が18.1%、未加入者「なし」と回答した医療機関が81.9%となっている。

延べ人数はそれぞれ 1,075 人、平均人数は 13.44 人となっている。

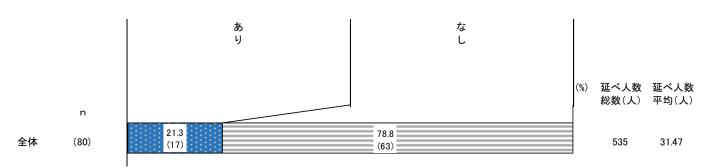
ありり なし (%) 延べ人数 延べ人数 総数(人) 平均(人) 年体 (441) 81.9 (361) 1,075 13.44

図表Ⅱ-2-2 公的医療保険の未加入者の有無及び延べ人数(在留外国人)

(3) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)(FA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の民間医療保険利用者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が21.3%、利用者「なし」と回答した医療機関が78.8%となっている。

延べ人数はそれぞれ 535人、平均人数は 31.47人となっている。

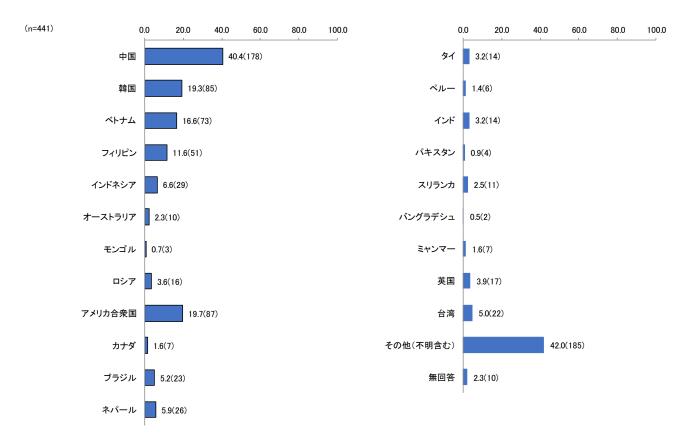


図表Ⅱ-2-3 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(在留外国人)

(4) 受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ人数 (MA)

在留外国人患者を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた在留外国人患者の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の40.4%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」籍が19.7%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-2-4 受入れた在留外国人患者の国籍

図表Ⅱ-2-4-1 受入れた在留外国人患者の国籍別人数

						ш, , ш, •		H/4 4/ 4//			
	中国	韓国	ベトナム	フィリピ ン	インドネ シア	オースト ラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ 合衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	178	85	73	51	29	10	3	16	87	7	23
総数 (人)	576	175	226	125	58	21	5	20	1, 164	9	42
平均 (人)	3. 24	2.06	3. 10	2. 45	2.00	2. 10	1.67	1. 25	13. 38	1. 29	1. 83
	ネパール	タイ	ペルー	インド	パキスタ ン	スリラン カ	バングラ デシュ	ミャンマ	英国	台湾	その他 (不 明含む)
回答医療機関数 (件)	26	14	6	14	4	11	2	7	17	22	185
総数 (人)	94	18	7	33	4	18	3	18	21	43	939
平均 (人)	3.62	1. 29	1. 17	2. 36	1.00	1.64	1.50	2. 57	1.24	1.95	5. 08

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

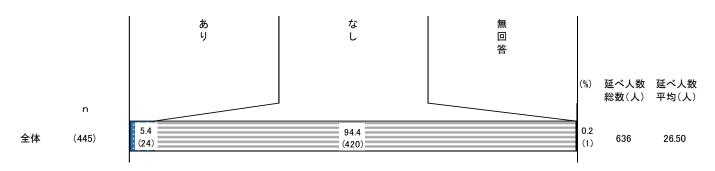
3. 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れの有無延べ人数(FA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 5.4%、「なし」が 94.4%、「無回答」が 0.2%となっている。

延べ人数は636人、平均人数は26.50人となっている。

図表Ⅱ-3-1 訪日外国人患者(医療渡航を除く)受入れの有無及び延べ人数

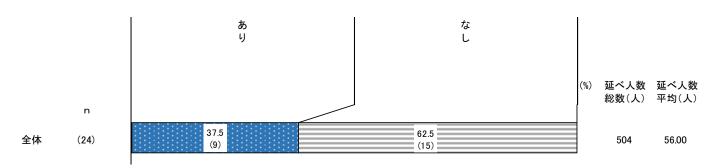


(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航を除く))(FA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の民間医療保険利用者の延べ人数について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関が37.5%、利用者「なし」と回答した医療機関が62.5%となっている。

延べ人数は504人、平均人数は56.00人となっている。

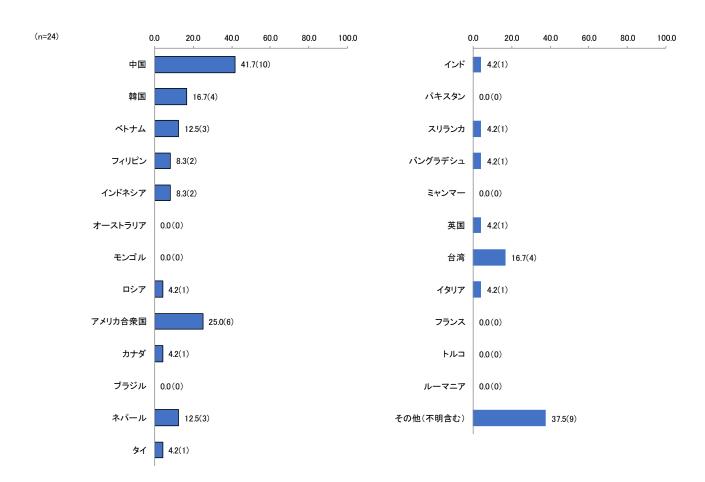
図表 Ⅱ-3-2 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航を除く))



(3) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別の延べ人数(MA)

訪日外国人患者(医療渡航を除く)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「中国」籍の患者を受入れた医療機関が全体の41.7%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」籍が25.0%と続いている。

また、国籍別訪日外国人患者(医療渡航を除く)の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-3-3 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍

図表Ⅱ-3-3-1 受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除く)の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナ ム	フィリ ピン	インド ネシア	オースト ラリア	モンゴ ル	ロシア	アメリカ 合衆国	カナダ	ブラジ ル	ネパー ル	タイ
回答医療機関数 (件)	10	4	3	2	2	-	-	1	6	1	-	3	1
総数 (人)	31	12	16	6	4	-	-	1	476	1	-	22	1
平均 (人)	3. 10	3.00	5. 33	3.00	2.00	-	-	1.00	79. 33	1.00	-	7. 33	1.00
	インド	パキス タン	スリラ ンカ	バングラ デシュ	ミャンマー	英国	台湾	イタリ ア	フラン ス	トルコ	ルーマ ニア	その他 (不 明含む)	
回答医療機関数 (件)	1	-	1	1	-	1	4	1	-	-	-	9	
総数 (人)	2	-	1	1	ı	2	14	1	-	-	-	25	
平均 (人)	2.00	-	1.00	1.00	ı	2.00	3. 50	1.00	-	-	-	2. 78	

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

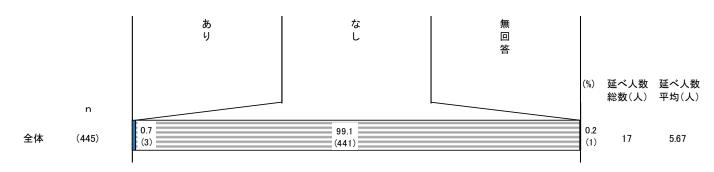
4. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れ実績について

(1) 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れの有無及び延べ人数(FA)

訪日外国人患者(医療渡航)受入れの有無について聞いたところ、「あり」が 0.7%、「なし」が 99.1%、「無回答」が 0.2%となっている。

延べ人数は17人、平均人数は5.67人となっている。

図表Ⅱ-4-1 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れの有無及び延べ人数



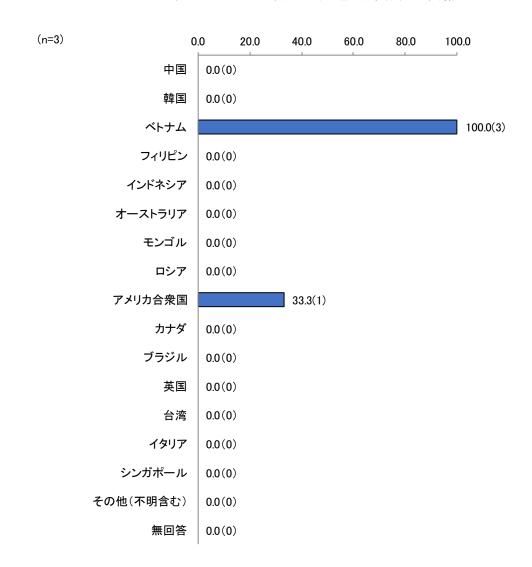
(2) 民間医療保険利用者の有無及び延べ人数(訪日外国人患者(医療渡航))(FA)

訪日外国人患者(医療目的)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療目的)の民間医療保険利用の延べ利用者について聞いたところ、1名以上の利用者「あり」と回答した医療機関はなかった。

(3) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別の延べ人数(MA)

訪日外国人患者(医療渡航)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別の延べ患者数について聞いたところ、「ベトナム」籍の患者を受入れた医療機関が全体の100.0%で最も高く、次いで「アメリカ合衆国」籍が33.3%と続いている。

また、国籍別在留外国人患者の総数については、下表の通りとなっている。



図表Ⅱ-4-2 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍

図表Ⅱ-4-2-1 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の国籍別人数

	中国	韓国	ベトナム	フィリピ ン	インドネ シア	オースト ラリア	モンゴル	ロシア	アメリカ 合衆国	カナダ	ブラジル
回答医療機関数 (件)	=	=	3	=	-	=	=	=	1	=	=
総数 (人)	-	-	15	-	_	-	-	-	2	-	-
平均 (人)	-	-	5.00	-	-	-	_	ı	2.00	1	ı
	英国	台湾	イタリア	シンガポ ール	その他 (不 明含む)						
回答医療機関数 (件)	-	-	-	-	_						
総数 (人)	-	-	-	-	_						
平均											

※表中の「総数」は各国籍で回答のあった人数の合計、「平均」は「総数」を各国籍に回答した医療機関数で割って算出している。

(4) 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類(FA)

訪日外国人患者(医療渡航)を受入れたと回答した医療機関に対して、受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類の総数及び平均については、下表の通りとなっている。

図表Ⅱ-4-3 受入れた訪日外国人患者(医療渡航)の ICD 分類

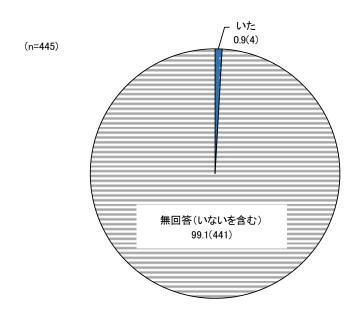
	回答医療 機関数 (件)	総数 (人)	平均 (人)
悪性新生物 (C00-C97)	_	_	_
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (D50-D89)	_	_	_
眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)	_	_	_
循環器系疾患(100-199)	_	_	_
呼吸器系疾患(J00-J99)	_	_	_
歯科疾患を除く消化器系疾患 (K00-K94)	_	_	-
歯科疾患(管理等含む)	2	13	6. 5
筋骨格系及び結合組織疾患 (M00-M94)	_	_	-
腎尿路生殖器系疾患(N00-N99)	_	_	_
妊娠、分娩及び産褥(000-099)	_	_	_
損傷、中毒及びその他の外因の影響 (S00-T98)	_	_	_
その他	_	_	_

5. 未収金を生じた患者について

(1) 未収金を生じた患者の有無 (FA)

いずれかの外国人患者を受入れた病院に未収金を生じた患者の有無について聞いたところ、「いた」が 0.9%、「無回答 (いないを含む)」が 99.1%となっている。

図表Ⅱ-5-1 未収金を生じた患者の有無

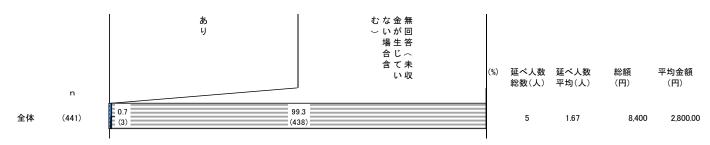


(2) 未収金を生じた在留外国人患者 (FA)

未収金を生じた在留外国人患者数について回答があったのは、3件(0.7%)となっており、延べ人数はそれぞれ5人、平均人数は1.67人となっている。

未收金額の総額は、8,400円 (平均2,800.00円) となっている。

図表Ⅱ-5-2 未収金を生じた在留外国人患者(人数/総額)



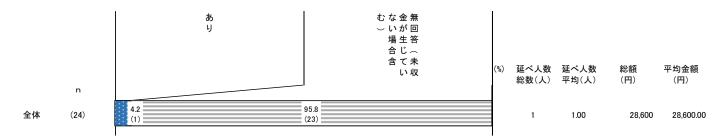
※表中の「延べ人数平均」は、「延べ人数総数」を「回答有」の機関数で割って算出している。

(3) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)について回答があったのは、1件(0.7%)となっており、延べ人数はそれぞれ1人、平均人数は1.00人となっている。

未收金額の総額は、28,600円(平均28,600.00円)となっている。

図表Ⅱ-5-3 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航を除く)(人数/総額)



(4) 未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)(FA)

未収金を生じた訪日外国人患者(医療渡航)がいたと回答した医療機関はなかった。

<巻末資料>

調査票

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査票A(病院用)医療機関における受入体制に関する調査票

【 【本調査の目的】 本調査は、各医療機関の外国人患者受入れ体制の状況等の実態を把握する目的で行うものです。各都道府県の今後の体制整備に活用するため、各医療機関の所在する都道府県にも個別病院の回答内 容を共有しますので、予めご了承ください。

- 【記入上の注息】

 ◆ 素別者の調査素は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査素A及びBから構成されています。

 ◆ 調査素A(病院用)は、貴院における<u>外園人</u>楽患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするものです。

 ※外園人とは、日本の国際を持さない者をいいます。

 ◆ 本調査素においては、**特に別の配象がある場合を融きや前が9月1日時点の投資をお答えださい。** 回答いただいた選択肢によっては、以降の項目で回答する必要がない設問の回答機が網掛けて塗られる仕様になっています。網掛けされた項目は回答不要です。

 ◆ 外国人患者の受入れの有無も含めた実態調査のため、**外国人患者の受入れ実績がない返療機関におかれても調査にご協力いただきたく**、現状の体制をご記入のうえご提出ください。

【お問い合わせ先】 ■調査に関するお問い合わせ 株式会社サーベイリサーチセンター TEL:0120-966-326(平日9時30分~17時30分)

■G-MISIに関するお問い合わせ 厚生労働省G-MIS事務局 TEL:0570-783-872(平日9時~17時)

1. 基本情報 1-1. 貴院の基本情報をご記入ください。

医療機関名	
保険機関コード	レセプドに記載される「都道府県コード(2桁)・点数表コード(1桁)・医療機関コード(7桁)」を組み合わせた10桁の数値
1日平均患者數	令和2年度(2020年4月1日~2021年3月31日)の <u>1日平均</u> 量等数※(日本人・外国人を問わず)
	1日平均外来患者数 名名 ※据療施設調査(https://www.mhise.go/touled/ist/79-1.html)と同様に、1日平均外来患者数は「年間外来患者延抜を865日で割った歯・2人は「日平均が実患者延抜を865日で割った歯・2人は「日平均が実患者延抜を865日で割った歯・2人は「日平均が実患者延抜を85日で割った歯・2人は「日平均が実患者を数して関係を表して割った歯・2人は「日平均が実患者を数する」という。
	1日平均在院患者数 名

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの全てにクリックしてチェックを入れてください※。

 地域医療支援病院 第2次救急医療機関 	
2. 第2次救急医療機関	
 教命教急センター 	
1. 災害拠点病院	
5. 周産期母子医療センター	
 ジャパンインターナショナルホスピタルズ※1 	
7. JMIP認証病院※2	

2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて伺います。 以下の8つの取り組みについて、<u>各ホームページにアクセスして内容を確認した後、</u> 該当する回答を選択肢から選んでください。

t l	回答
外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル https://www.mhlw.go.jo/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230 00003.html	○ 内容を知っていた○ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった○ 知らなかった
希少言語に対応した遠隔道欲サービス事業 https://www.mhlw.go.jo/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkeu.iryou/iryou/newpage_00010.h tml	 利用したことがある、あるいは登録している 内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった 知らなかった
医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業 https://www.onestop.emergency.co.jp/	利用したことがある内容を知っていたが利用したことはなかった名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった知らなかった
外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou.iryou/syou/newpage_08951.h tml	 ○ 利用したことがある ○ 内容を知っていたが利用したことはなかった ○ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった 如らなかった
外国人向け多言語說明資料 一覧 https://www.mhhw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou.inyou/kyou/kokusai/setsume i-mlhtml	 利用したことがある 内容を知っていたが利用したことはなかった 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった 如らなかった
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医像分) (15) 医療機関における新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための 設備整備事業 https://www.mhlw.go.jo/content/000775950.pdf#page=11	● 利用したことがある 事業を知っており、對意医療機器※であるが、利用していない 事業を知っているが、對意医療機器※ではない 知らなかった ※商惠麻根が選出する外閣人患者を受け入れる場合的な医療機関であって、かっ、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行う医療機関をいます。
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療分) (19) 新型コロナウイルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事業 https://www.mhlw.go.jo/content/000775950.pdf#page=15	● 利用したことがある 事業を知っており、 <u>対金 医療機器</u> ※であるが、利用していない 事業を知っているが、 <u>対金 医療機器</u> ※ではない。 知らなかった ※福道麻県、設合市及び特別区がに影コロナウィルス感染症患者等入院医療機関であって、かつ、最高産品が実出する「外国、患者を受け入れる拠点的な医療機関(選出予定を含む、)」である医療機関をいいます。
訪日外国人受診者医療費未払情報報告システム https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202921 00012.html	 ○ 医療機関登録をしている ○ 内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった ○ 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった ○ 知らなかった

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 貴院における外国人患者の受入れに関する体制について伺います。

Š	問	回答	
1.	自院における外国人患者の受診状況	0	詳しく把握している
	(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)	0	おおまかに把握している
		0	把握していない
2.	外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出※	0	実施している
	※1外国人患者の受入れのための医療機関向けてニテル (https://www.mhus.ga/content/18080000/000755055の哲Page=43)]の43ページ目に配載されている、「受入礼体制の現状および課題の抽出」を参考に回答ください。	0	実施していない
3.	自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」※について	0	整備している
	※外国人患者受入れ体制整備方針とは、「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル (https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000795505.pdf#page=44)」の44ページ目に記載され	0	作成中(作成検討中)である
	ている。 医療費の設定、医療費概算の接示方法、通訳体制、院内文書の多言語化、マニュアルの整備などを検討することといいます。		整備していない

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者対応の専門部署	○ 部署あり ⇒3-2-2. 職員数へ
	○ 部署なし ⇒3-2-3. マニュアルへ
2. 外国人担当の専門部署の職員数	Α
3. 外国人対応マニュアルの整備状況	○ 整備している
	作成中(作成検討中)である
	○ 整備していない

3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター※について伺います。
※外国人患者受入れ医療コーディネーターとは「外国人患者を受入れるための除内や除外関係者との調整を中心となってコーディネートする役割を担う職員よいいます。過ぎのみの役割を担う職員は「外国人患者受入れ医療コーディネーター」には該当しません。

質問	回答
1. 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数	○ 0人 ⇒3-4. 医療通訳へ ○ 1人] ○ 2人] ⇒ 3-3-2. 専任・兼任の別へ ○ 3人以上]
2. 専任・兼任の別	○ 専任のみ配置 ⇒3-3-4. 常勤・非常勤の別へ ○ 専任・兼任とも配置 ⇒3-3-3. 職種へ ○ 兼任のみ配置 ⇒3-3-3. 職種へ
3. (兼任の場合) 医療コーディネーターの 職種 (該当するもの全てにチェック)	□ 医師 □ 看護師 □ その他医療関係の有資格者 □ 事務職員(医療道訳を除く) □ 医療通訳 □ その他
4. 常勤・非常勤の別	○ 常動のみ配置 ○ 常動・非常動とも配置 ○ 非常動のみ配置
5. 週の中でコーディネーターがカバーしている日時	○ 平日の日勤帯○ 24時間○ その他
6. コーディネーターの役割 (該当するもの全でにチェック)	→ 外国人患者対応に特有の院外関係者(大使館や旅行会社、通訳者など)との連絡調整 日本人患者でも発生する院外関係者(地域の医療機関や保健所など)との連絡調整 院内の部署・職種間の連絡調整 患者や患者家族とのコミュニケーション 自身による通訳の実施 ⇒3-3-7. 対応言語へ その他 その他について具体的にご記入(ださい。
7. (自身による通訳を実施している場合)対応言語 (該当するもの全てにチェック)	英語 中国語 韓国・朝鮮語 ポルトガル語 スペイン語 ペトナム語 ペトナム語 その他 その他 その他について具体的にご記入ください。

3-4. 医療通訳※について伺います。 ※外国人患者受入れ医療コーディネーターが通訳を担当している場合は、3-3でお答えください。

黄間	回答
1. 医療通訳の人数	○ 0人 ⇒3-4-7. 患者自身による医療通訳の手配へ ○ 1人 } ○ 2人 } ⇒3-4-2. 専任・兼任の別へ
	○ 3人以上 }
2. 専任・兼任の別	専任のみ配置 ⇒3-4-4. 常勤・非常勤の別へ
	専任・兼任とも配置 ⇒3-4-3. 職種へ兼任のみ配置 ⇒3-4-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療通訳の職種	医師
(該当するもの全てにチェック)	看護師
	□ その他医療関係の有資格者□ 事務職員
	□ その他
4. 常勤·非常勤の別	○常勤のみ配置
	常勤・非常勤とも配置
	○ 非常勤のみ配置
5. 週の中で医療通訳がカバーしている日時	○平日の日勤帯
	○ 24時間 ○ その他
	C 4 ONE
6. 対応言語	□ 英語
(該当するもの全てにチェック)	中国語
	韓国・朝鮮語
	□ ポルトガル語 □ スペイン語
	□ベトナム語
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
 患者が日本語でコミュニケーションがとれない場合は、患者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に 	<u>○</u> はい
有自身で医療通訊を手配してから未続するように、患有に 案内している(医療機関のホームページ等による案内も含む)	○ いいえ

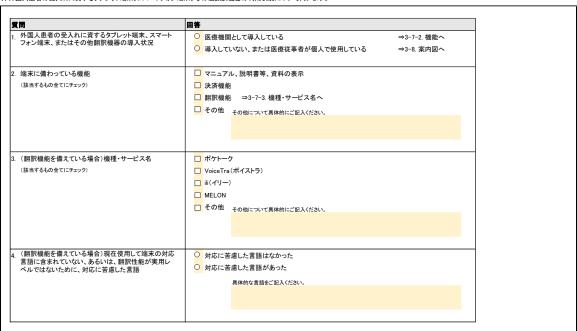
3-5. 電話通訳(遠隔通訳)※について伺います。 ※電話通訳とは、映像を伴わない音声のみの遠隔通訳をいいます。

質問	回答		
1. 電話通訳(遠隔通訳)の利用の有無	○ 利用している	⇒3-5-2. 事業者名へ	
	○ 利用していない	⇒3-6. ビデオ通訳へ	
2. 利用している事業者名(サービス)	事業者名についてご記入くだ	خار،	
3. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	○ 平日の日勤帯		
	○ 24時間		
	○ その他		
4. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語	英語		
(該当するもの全てにチェック)	□中国語		
	□ 韓国・朝鮮語		
	□ ポルトガル語		
	□ スペイン語		
	□ ベトナム語		
	□ タイ語		
	□ フランス語		
	ロッア語		
	□ その他 _{その他につ} し	ンプ目体的にご記 3 ください	
	College	CASILITATE HIDACOCCA 9	

3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)※について伺います。

※ビデナ通知とけ、映像を伴う遠隔通知を1/1/ます

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。



3-8. 院内案内図、院内表示について伺います。

日本語以外に翻訳している	⇒3-8-2. 対応言語へ
日本語のみ	⇒3-9. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れへ
英語	
中国語	
韓国・朝鮮語	
ポルトガル語	
スペイン語	
ベトナム語	
その他 その他について具体的に	ご記入ください。
	日本語のみ 英語 中国語 韓国・朝鮮語 ボルトガル語 スペイン語 ベトナム語

3-9. 訪日外国人患者(医療連絡)※の受入れについて何います。

※本日料国人患者(医療連絡)とは、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で、医療(保診含む)を受けることを目的とし来日した外国人むいます。

黄間	回答	
1. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れについて、今後の貴 院の方針	0	積極的に受入れる
元の万里	0	依頼があれば受入れる
	0	受入れはしない
	0	検討していない、方針はない

3-10. その他、貴院において多言語に対応するために行っている取り組みや、海外進出(海外にブランチ病院を作る等)の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

4. 医療費について

4-1. <u>自由警告</u>で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

黄間	回答
 診療報酬点数表1点あたりの請求額(税権き)※ ※表めていない協僚機関は10点以下を選択してください。 	 ○ 1点あたり10円以下(保険診療と同じ) ○ 1点あたり10円より大きく15円以下 ○ 1点あたり15円より大きく20円以下 ○ 1点あたり20円より大きい ○ 診療報酬点数表を用いていない
2. 診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況	 追加的な費用請求をしていない ⇒4-2 保険診療での医療費請求方法へ 追加的な費用請求をしている ⇒4-1-3. 費用の内訳へ
3 (診療報酬点敬表に含まれない費用を請求をしている場合)費用の内訳 (該当するもの全てにチェック)	□ 通訳料 □ 文書翻訳料 □ 旅行者保険・民間医療保険に関連する事務の費用 □ 外国の患者家族への説明等、外国との連絡に係る事務の費用 □ 医師の診療時間に応じた料金 □ その他 +の他について具体的にご記入ください。

4-2. 保険診療で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1 診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況※ ※決めていない医療機関は「追加的な費用請求をしていない」を選択してください。	 追加的な費用請求をしていない ⇒8. キャッシュレス決済へ 追加的な費用請求をしている ⇒4-2-2. 費用の内訳へ
2 保険診療外の費用として別途請求している費用 (額当するもの全てにチェック)	□ 通訳料 □ 文書翻訳料 □ その他 その他について具体的にご記入ください。

5. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について伺います。

黄間	回答
1. クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済	○ 導入している
	○ 導入していない
2. QRコードを利用した決済	○ 導入している ⇒5-3. 対応しているサービスへ
	○ 導入していない ⇒5-4. その他電子マネーを利用した決済へ
3. (QRコードを利用した決済を導入している場合)	□ Alipay(アリペイ)
対応しているサービス	□ WeChat Pay(ウィーチャット・ペイ)
(該当するもの全てにチェック)	□ PayPay (ペイペイ)
	□ LINE Pay(ラインペイ)
	□ ※天ペイ
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
	O was not a
4. その他電子マネーを利用した決済	○ 導入している ⇒5-5. 対応しているサービスへ
5. (その他電子マネーを利用した決済を導入している場合)	
5. (その他電子マネーを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス	□ 交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等)
	nanaco
(該当するもの全てにチェック)	WAON
	□ 楽天Edy
	☐ QUICPay
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
6. その他の決済サービス	○ 導入していない
	○ 導入している サービス名についてご記入ください。
	サービス名にJいてこ版入へにさい。
l	

6. 未収金等への対策

6-1. 訪日外国人患者※を診療する際に実施している取り組みについて伺います。

※訪日外国人とは、観光等の目的で日本に短期間滞在している外国人をいいます。

質問	回答
 訪日外国人患者への取り組み状況※ ※日本人患者と同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」を選択してください。 	 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない ⇒6-2. 在留外国人患者へ 訪日外国人患者への取り組みをしている ⇒6-1-2. 取り組みの内容へ
2. 取り組みの内容※ (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	
3. (同意書を取得している場合)同意の内容 (該当するもの全てにチェック)	□ 診療に協力すること □ 請求された金額を支払うこと □ 不払いの場合、次回以降の日本への入国が制限される可能性があること □ その他 - その他について具体的にご記入ください。

6-2. 在留外国人患者※を診療する際に実施している、本人確認について伺います。

在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。

質問	回答		
1. 保険証以外による本人確認	○ 実施	していない、または方針を決めていない している	⇒6-3. 医療費回収へ ⇒6-2-2. 本人確認資料へ
2 (保険証以外による本人確認を実施している場合)確認 の際に提示を求めているもの (該当するもの全てにチェック)	□ パス □ 在輩 □ その	カード	

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法について伺います。

黄間	回答	
 外国人患者への医療費回収の方法※ ※日本人患者と同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」を選択してください。 	○ 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない ○ 外国人患者への医療費回収への取り組みをしている	⇒7. その他へ ⇒6-3-2. 回収方法へ
医療費の回収方法 (該当するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	□ 外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊券□ 分割払いの実施 □ 自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用 □ その他 その他について具体的にご記入ぐださい。	たと精算

7. その他

本調査結果について、外国人患者受入環境整備に関する研究に活用します。厚生労働省科学研究事業の研究者への共有に<mark>同意しない場合</mark>にチェックをつけてください。

8. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせする際のご連絡先をご記入ください。

本調査に対すること寺でに	い合わせする味のこ連絡元をこれ入りたさい。
ふりがな	
お名前	
ご所属・職名	
電話番号	
メールアドレス	

質問は以上です。本調査へのご協力ありがとうございました。

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査票B(病院用) 外国人患者の受入に関する調査票

【本調査の目的】

【記入上の注意】

- 【記入上の注意】

 ◆ 本調金の副語楽異は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。

 調査薬用(病院用)は、貴院における外国人※患者受入れの実績等についてお尋ねするものです。
 ※外国人とは、日本の国職を考さない考金いいます。

 ◆ 本調査薬においては、特に別の配館がある場合を始合を和2年9月1日を身いの上気をしたが国人についてお答え(ださい。

 回答いただいた選択肢によっては、以降の項目で回答する必要がない設問の回答欄が網掛けて塗られる仕様になっています。網掛けされた項目は回答不要です。

 外国人患者の受入れの有無も含めた実態調査のため、外国人患者の受入れ実績がない医療機関におかれても調査にご協力いただきたく、現状の体制をご記入のうえご提出ください。

【お問い合わせ先】

。3月10・日イビル』 ■調査に関するお問い合わせ 株式会社サーベイリサーチセンター TEL:0120-966-326(平日9時30分~17時30分)

■G-MISに関するお問い合わせ 厚生労働省G-MIS事務局 TEL:0570-783-872(平日9時~17時)

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

11 SCHOOL THURSE	2770CC 8	
医療機関名		
保険機関コード	レセプトに記載される「都道府県コード(2桁)・点数表コード(1桁)+医療機関コード(7桁)」を組み合わせた10桁の数値	

1-2. **令和3年9月1日~9月30日**の期間に受入れた外国人患者について伺います。

質問	回答	
外国人※患者受入れの有無 ※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。 ※の国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○ あり ○ なし	⇒2. 在留外国人患者の受入れ実績へ ⇒6. その他へ

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた在留外国人患者※について伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留か一下所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。在留か一下や国籍等の詳細を確認していない場合などは**把握できる限り**で記載してください。

質問	回答	
1. 受入れた在留外国人の患者数※	外来患者延数	名
※医療施設調を(https://www.nhlw.go.jp/touku/list/79- l.html)と同様に、外来患者建設は「新米、青水等の区別なく すべてを合計したの(当該月に同一患者が2回外来受診した 場合は2名と計しする)。所、股患者者以「部内に入院した患 者数(当該月に同一患者が2回、新たに入院した患 者数(当該月に同一患者が2回、新たに入院した場合は、2名と 計上する)」をいいます。	新入院患者数	4
2. 上記1のうち公的医療保険の未加入者数※	外来名	
※在留外国人の多くは公的医療保険に加入しています。	入院名	
3. 上配2のうち民間医療保険の利用者数	外来 名	
	入院 名	
4. 上記1 について国籍別の延べ患者数	中国	名
	韓国	名名
	ベトナム	名
	フィリピン	<u>名</u>
	インドネシア	名名
	オーストラリア	名名
	モンゴル	名
	ロシア	名名
	アメリカ合衆国	名
	カナダ	名
	ブラジル	名名
	ネパール	名
	タイ	名
	ペルー	名
	インド	名
	パキスタン	名
	スリランカ	名
	バングラデシュ	名
	ミャンマー	名
	英国	名
	台湾	名
	不明	名
	その他	名
	その他の内訳をご記入	ください。

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療渡航を除ぐ)※について伺います。 ※訪日外国人患者とは、観光等の目的で日本に短期間滞在している外国人をいいます。 医療を目的に訪日した外国人は含めないでください。

黄間 回答 1. 受入れた訪日外国人(医療渡航を除く)の延べ患者数※ 外来患者延数 名 ※医療施設設置(https://www.mhw.go.jp/toukei/list/19-1.html)と同様に、外来患者延数は「新来、再来等の区別なく、すべてを合計したもの(当該月に同一患者が2回外来受診した場合は2名と計上する)、新入院患者数は「新たに入院した患者数(当該月に同一患者が2回、新たに入院した場合は、2名と計上する)」をいいます。 名 新入院患者数 外来名 2. 上記1のうち民間医療保険の利用者数 入院名 3. 上記1について国籍別の延べ患者数 中国 名 韓国 名 ベトナムフィリピン 名 名 インドネシア 名 オーストラリア 名 モンゴル 名 ロシア 名 アメリカ合衆国 名 カナダ 名 名 ブラジル ネパール 名 タイ 名 インド 名 パキスタン 名 スリランカ 名 バングラデシュ 名 ミャンマー 名 英国 名 台湾 名 イタリア 名 フランス 名 トルコ 名 ルーマニア 名 不明 名 その他 名 その他の内訳をご記入ください。

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療接航)※について伺います。 ※訪日外国人患者(医療接航)とは、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で、医療、健診含む)を受けることを目的とし来日した外国人をいいます。

黄間	回答					
受入れた訪日外国人(医療渡航)の延べ患者数※	外来·新入院患者	延数 名				
※医療施設講査(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html)と同様に、外来患者施設は「新来、再来等の区別なく、すべてを合計したもの(自動月に同一患者の位別なく、すべてを合計したもの(自動は同じ用に同したのは、新たに入院した患者数(当該月に同一患者が2回、新たに入院した場合は、2名と計上する)」をいいます。	/##÷> ∩ 7:	<u>*************************************</u>				
2. 上配1のうち民間医療保険の利用者数	外来・入院	名				
	健診のみ	名				
上記1について国籍別の延べ患者数	中国	名				
	韓国	名				
	ベトナム	名				
	フィリピン	名				
	インドネシア	名				
	オーストラリア	名				
	モンゴル	名				
	ロシア	名				
	アメリカ合衆国	名				
	カナダ	名				
	ブラジル	名				
	英国	名				
	台湾	名				
	イタリア	名				
	シンガポール	名				
	不明	名				
	その他	名				
	その他の内訳をご記入ください。					
	T 14 45 11 41 42		_			
 上記1について病名別※の延べ患者数 ※IGD-10コード(2013年版)に基づいて、最も費用を要した病名を1人の 	悪性新生物(C00		名			
患者につき1つ選んでください。		D疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89) 疾患、耳及び乳様突起の疾患(H00-H95)	名名			
	循環器系疾患(I0 呼吸器系疾患(J0		名			
			名名			
	歯科疾患(管理等	化器系疾患(K00-K94)	名			
		- 1307 - 1307	名			
	腎尿路生殖器系		名			
	妊娠、分娩及び直		名			
		名				
	長陽、中毒及びで					
	その他の内訳をご	"記入ください。	-0			

◆和3年9月1日 → 9月30日の期間に受入れた外国人患者※1のうち、未収金を生じた全ての患者※2 について、以下の表にご記入ください※3。 ※1受入れた患者とは、期間内に外来受診あるいは新たに入院した患者をいいます。 ※2 未収金を生じた患者とは、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より1ヶ月を経ても診療費の一部、または全部が未収である患者を指すこととします。 ※3 未収金を生じた外国人患者がいなかった場合は本項目の記入は不要です。

	外国人分類	区分	請水都報(円)	未収金額(円)	保険の加 入状況	保険の加 入状況	験や自治体等による未 収金の補填	未収金の理由 (験当するもの全でにチェック
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○入院			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	補填済み(予定含む)○ 補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	助日外国人思有(医療液机を除く)助日外国人患者(医療液航)	○ 外来 ○ 健診			○ 不詳	○加入	() 情現なし	□請求先が不明・連絡が取れない
	<u> </u>	<u> </u>						□ 生活に困窮しており支払い能力がない
								□ 支払いの意思がない
								□ 回収の働きかけをしていない
								□ その他
	○ 在留外国人患者	○入院			○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来			〇 加入	〇 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	()健診			○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
								□ 生活に困窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
								□ 支払いの意思かない
								□その他
		. 100			0 +4-3	0 +4-3	(補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 入院 ○ 外来			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	(神境)が(予定言む)	□ 保険会社と交渉中
	() 訪日外国人患者(医療渡航)	〇 健診			〇 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ı	_							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
ı								□ 支払いの意思がない
								□ 回収の働きかけをしていない
								□ その他
	在留外国人患者	○入院			○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来			〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	訪日外国人患者(医療渡航)	○ 健診			○ 不詳	○不詳		請求先が不明・連絡が取れない
								□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							1	□ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
								□ 回収の働きかけをしていない□ その他
ļ								
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 入院 ○ 外来			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	補填済み(予定含む)○ 補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)○ 訪日外国人患者(医療渡航)	○ 外来○ 健診			○ 加入	〇 加入	一 抽損なし	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
	0 到日7月四人应号(应该成别)	O DE SO			11.84	O -11-8+		□ 生活に困窮しており支払い能力がない
ı								□ 支払いの意思がない
ı								□ 回収の働きかけをしていない
								□ その他
1	○ 在留外国人患者	○ 入院			○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来			〇 加入	○ 加入	○ 補填なし	保険会社と交渉中
	○ 助日外国人患者(医療渡航)	○ 健診			○ 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
								□ 生活に困窮しており支払い能力がない
								□支払いの意思がない
								□ 回収の働きかけをしていない□ その他
						0		
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療灌航を除ぐ)	○ 入院 ○ 外来			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	補填済み(予定含む)○ 補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液肌を除く)○ 訪日外国人患者(医療液航)	○ 外米			○ 和人	○ 加人	THE SECOND	□ 保灰会社と父渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
	→ → ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	V 100.00			V 1 87	V 1 8F	1	□ 生活に困窮しており支払い能力がない
								□支払いの意思がない
								□ 回収の働きかけをしていない
								□ その他
	在留外国人患者	○入院			○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来			〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	()健診			○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
								生活に困窮しており支払い能力がない
							1	□ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
								□ 回収の働きかけをしていない
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 入院 ○ 外来			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	補填済み(予定含む)○ 補填なし	□ 分納中·分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療波航を除く)○ 訪日外国人患者(医療波航)	○ 外米			○ 不詳	○加人	▽ 抽模なし	□ 保険会社と父渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
		V DE 10			1 87	1 87		□ 生活に困窮しており支払い能力がなし
								□支払いの意思がない
								□ 回収の働きかけをしていない
								□ その他
1	○ 在留外国人患者	○入院			○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来			○ 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	(健診			○ 不詳	○不詳	1	請求先が不明・連絡が取れない
								□ 生活に困窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
Į								
								□ 回収の働きかけをしていない

		○ 入院○ 外来○ 健診		○ 未加入○ 加入○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
						O INSTAGO	
	() 助日外国人思有(医療展制)	O MERS		○本評	〇 不詳		□ 請求尤が不明・連拾が取れない
							生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない
		1			1		□ その他
2	○ 在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	〇 外来		○ 加入	〇 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	-	1 -				一種類など	
ľ	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	(健診		〇 不詳	○不詳		請求先が不明・連絡が取れない
							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない
							□ その他
3,	() 在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		〇 加入	〇 加入	○補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	〇 健診		〇 不詳	○不詳		□請求先が不明・連絡が取れない
	O 37-71-11-10-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		□ 生活に困窮しており支払い能力がない
		1			1		
		1			1		支払いの意思がない
		1			1		回収の働きかけをしていない
					1		一その他
_		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>		
1 ,	○ 在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		〇 加入	〇 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	〇 健診		〇 不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ľ				<u> </u>			□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					1		□ 支払いの意思がない
		1			1		
					1		回収の働きかけをしていない
					1		□ その他
5 ,	○ 在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		〇 加入	〇 加入	○ 補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	〇 健診		〇 不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ľ	•			·			□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□支払いの意思がない
							回収の働きかけをしていない
							一その他
3 ,	○ 在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
ļ,	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		〇 加入	〇 加入	○ 補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	(健診		〇 不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ľ							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					1		□支払いの意思がない
							□回収の働きかけをしていない
							□ その他
							口での他
	在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		○ 加入	〇 加入	○ 補填なし	保険会社と交渉中
- [.	訪日外国人患者(医療渡航)	(健診		○ 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ľ							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					1		□ 支払いの意思がない
		1			1		□回収の働きかけをしていない
		1			1		□その他
		1			1		CONE
,							
	在留外国人患者	○ 入院		○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	〇 外来		〇 加入	〇 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
ŀ	訪日外国人患者(医療渡航)	○ 健診		〇 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
ľ							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					1		□ 支払いの意思がない
		1			1		□回収の働きかけをしていない
		1			1		□ その他
					1		
,	^ +mum n #	0.20			0 4	O 121500 2 1-11 1	
						-	分納中·分納交渉中
						(補填なし	保険会社と交渉中
-	訪日外国人患者(医療渡航)	○ 健診		〇 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
					1		□ 生活に困窮しており支払い能力がない
		1			1		□支払いの意思がない
		1			1		□回収の働きかけをしていない
		1			1		□ その他
					1		こで間
\downarrow							
	在留外国人患者	○ 入院					分納中·分納交渉中
ŀ	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 外来		○ 加入	〇 加入	○ 補填なし	保険会社と交渉中
- [.	訪日外国人患者(医療渡航)	○ 健診		〇 不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
- 1							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
ľ							
							□ 支払いの意思がない
							□ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
	○ 在留外個人患者			○ 未加入	○未加入	補填済み(予定含む)補填なし補填なし補填済み(予定含む)	

1	○ 在郊外国人患者○ 訪日が国人患者(医療漢統を除く)○ 訪日が国人患者(医療漢統)	入院 分外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分納・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求をか不明・温能が取れない □ 生活に阻倒しており支払い他力がない □ 支払いの思思がない □ 回収の働きかけをしていない □ での他
2	○ 在個外個人患者	入院 外未 健診	一 未加入 加入 一 不詳	加入加入不詳	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分納・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求まがて来継が取れない □ 生活に阻碍しており支払い他力がない □ 支払いの思思がない □ 回収の働きかけをしていない ■ その他
:3	○ 在個外個人患者 ○ 訪日外個人患者(原療達就を除く) ○ 訪日外国人患者(原療達能)	入院 外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	(補填済み(予定含む) (補填なし	□ 分輪中・分輪交渉中 □ 保護者社を渉中 □ 請求先と不等・通畅が取れない □ 生活に国際しており支払い能力がない □ 支払いの思思がない □ 間収の働きかけをしていない □ その他
24	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療達就を除く) ○ 訪日外国人患者(医療達就)	入院外未会健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補頭条が(予定金む)補頭なし	□ 分納や・分納交渉中 □ 保護を社とび渉中 □ 請求をか不明・連絡が取れない □ 生活に関則しており支払い物力がない □ 支払いの思思がない □ 回収の働きかけをしていない ■ その他
25	○ 在爾外國人患者 ○ 訪日外國人患者(医療進載的 ○ 訪日外國人患者(医療進載的	入院 外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	福境済み(予定含む) 補境なし	分納中・分納交渉中 保険者社を渉中 請求表が不明・通絡が取れない 生活に関則しており支払い施力がない 支払いの思思がない 回版の働きかけをしていない その他
26	○ 在爾外國人患者 ○ 訪日外國人患者(医療進載的 ○ 訪日外國人患者(医療進載的	入院 外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	福境済み(予定含む) 補境なし	分納中・分納交渉中 保険者社を渉中 請求表が不明・通絡が取れない 生活に関則しており支払い施力がない 支払いの思思がない 回版の報きかけをしていない その他
27	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療波統之際ぐ) ○ 訪日外国人患者(医療波統)	入院 外来 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分輪中・分輪交渉中 ■ 保護者社を渉中 ■ 請求売か不明・通絡が取れない。 ■ 生活に関係しており支払い能力がない 支払いの思思がない。 ■ 図の働きかけもしていない。 ■ その他
28	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療達統を除く) ○ 訪日外国人患者(医療達統)	入院 外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む)補填なし	○分納中・分納交渉中 「保護会社と交渉中 」請求よが不明・運動が取れない 生活に国際・とお支払い癒力がない 支払いの悪意がない 回収の働きかけをしていない
29	○ 在留外類人患者 ○ 訪日外類人患者(医療達就乾除く) ○ 訪日外類人患者(医療達就)	入院 外未 健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む)補填なし	分納や・分納交渉中 保護会社と交渉中 請求先と不等・通絡が取れない 生活に関則しており支払い施力がない 支払いの思思がない 回収の働きかけをしていない その他
30	○ 在爾外國人患者 ○ 訪日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 訪日外国人患者(医療漢統)	入院 分外来 (健診	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	○ 未加入 ○ 加入 ○ 不詳	補填済み(予定含む) 補填なし	□ 分輪中・分納交渉中 □ 保護者社交渉中 □ 請求表が不明・運動が取れない □ 生活に関係しており支払い地力がない □ 支払いの思思がない □ 回収の働きかけ去していない □ その他

8. č	のf	也
		本調査結果について、外国人患者受入環境整備に関する研究に活用します。厚生労働省科学研究 事業の研究者への共有に <mark>同意しない場合</mark> にチェックをつけてください。

. c	担当者様の情報	
本	調査に関すること等を限	問い合わせする際のご連絡先をご記入ください。
	ふりがな	
	お名前	
	ご所属・職名	
	電話番号	
	メールアドレス	

黄間は以上です。本調査へのご協力ありがとうございました

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査票A(診療所用)医療機関における受入体制に関する調査票

【本調査の目的】 本調査は、各医療機関の外国人患者受入れ体制の状況等の実態を把握する目的で行うものです。

- 【配人上の注意】

 ◆ 本調金票は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。

 ◆ 調査票人診療所用)は、貴院における<u>外国人</u>患者受入れ体制の状況等についてお尋ねするものです。
 ※外国人とは、日本の**国際を含むい考えいいす。**本調査票においては、特に別の配館がある場合を除金中和3年9月1日時点の状況をお答えたださし。

 ◆ 回答いただいた。選択肢によっては、以降の項目で回答する必要がない設備の回答欄が網掛けて塗られる仕様になっています。網掛けされた項目は回答不要です。

 ◆ 外国人患者の受入れの有無も含めた実態調査のため、外国人患者の受入れ実績がない医療機関におかれても調査にご協力いただきたく、現状の体制をご記入のうえご提出ください。

【お問い合わせ先】

【お問い古わせ元】 ■調査に関するお問い合わせ 株式会社サーベイリサーチセンター TEL:0120-966-326(平日9時30分~17時30分)

-1. 貴院の基本情報	をご記	入ください	
ふりがな			
医療機関名			
所在地	₹		
		都道府県名	市区町村名 番地
		レセプトに記載される「	都道府県コード(2桁)+点数表コード(1桁)+医療機関コード(7桁))を組み合わせた10桁の数値
保険機関コード			
開設者		O 3	
		○ 公的医療機関	
		○ 社会保険関係[
			TOT NA.
		○ 医療法人	
		○個人	
		○ その他	
病床の有無		○ 病床なし	
		病床あり	
1日平均患者数		令和2年度(2020年4)	月1日~2021年3月31日)の 1日平均島者散 ※(日本人・外国人を問わず)
		1日平均外来患者	数 名 ※医療施設調査(https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html)と同様に、日平均外来患者数は「年間外来患者延数を365日で
			割った値」、1日平均在院患者数は「年間在院患者延数を365日で割った値」をいいます。

1-2. 医療機関の種別について、以下から貴院に該当するもの全でにクリックしてチェックを入れてください。

1日平均在院患者数

医療機関の種別	回答
1. 一般診療所	
2. 歯科診療所	
ב- פו די בפו	

1-3. 貴院が標榜している診療科目について、該当するもの**全てに**クリックしてチェックを入れてください。

診療科目	回答
1. 内科	
2. 呼吸器内科	
3. 循環器内科	
4. 消化器内科(胃腸内科)	
5. 腎臓内科	
6. 神経内科	
7. 糖尿病内科(代謝内科)	
8. 血液内科	
9. 皮膚科	
10.アレルギー科	
11.リウマチ科	
12. 感染症内科	
13. 小児科	
14.精神科	
15. 心療内科	

診療科目	回答
16.外科	
17. 呼吸器外科	
18. 心臓血管外科	
19.乳腺外科	
20. 気管食道外科	
21.消化器外科(胃腸外科)	
22. 泌尿器科	
23. 肛門外科	
24. 脳神経外科	
25.整形外科	
26. 形成外科	
27. 美容外科	
28. 眼科	
29. 耳鼻いんこう科	
30. 小児外科	

診療科目	回答
31. 産婦人科	
32. 産科	
33 リハビリテーション科	
34. 放射線科	
35. 麻酔科	
36. 病理診断科	
37. 臨床検査科	
38. 救急科	
39. 歯科	
40. 矯正歯科	
41. 小児歯科	
42. 歯科口腔外科	

2. 厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて

厚生労働省による外国人患者の受入れに関する取り組みについて伺います。 以下の8つの取り組みについて、<u>各ホームページにアクセスして内容を確認した後、</u> 該当する回答を選択肢から選んでください。

東間		回答	
外国人患者の受入	れのための医療機関向けマニュアル	0	内容を知っていた
	o.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000173230_00003.html		名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
			知らなかった
		~	W.3.4W. 312
希少言語に対応し	た遠隔通訳サービス事業	0	利用したことがある、あるいは登録している
https://www.mhlw.g	o.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou iryou/iryou/newpage 00010.h		内容を知っていたが、必要がなかったので登録していない
<u>tml</u>			名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
			知らなかった
		~	M-5-6.11 512
医療機関における	外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業	0	利用したことがある
https://www.onesto		1 -	内容を知っていたが利用したことはなかった
		1 -	名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
			知らなかった
			ねらなかった
外国 人忠 老品 1 4	医療コーディネーター養成研修	_	利用したことがある
	広塚コーティヤーテー技队研修 o.ip/stf/seisakunitsuite/bunva/kenkou irvou/irvou/newpage 08951.h		内容を知っていたが利用したことはなかった
tml		1 -	内谷を知っていたが利用したことはながった 名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
			知らなかった
UB 141145	조보이지 생생님 때문		71m; 4 = 1 // 7
. 外国人向け多言語 https://www.mblw.e	説明資料 一覧 o_ip/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/kokusai/setsume_		利用したことがある
i-ml.html	o,p/ str/ setsakunitsuite/ buniya/ kenkuu ii yuu/ ii yuu/ kokusai/ setsuine		内容を知っていたが利用したことはなかった
			名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
		0	知らなかった
**刑コロナウノ!! :	R感染症緊急包括支援事業(医療分)	_	
	N欧米征条心己指义接手来(医療刀) ける新型コロナウイルス感染症の外国人患者受入れのための		利用したことがある
設備整備事業	. / /000775050 . I'M		事業を知っており、 対象医療機関※ であるが、利用していない
https://www.mhlw.g	o.jp/content/000775950.pdf#page=11		事業を知っているが、 対象医療機関 ※ではない
		0	知らなかった
			※都道府県が選出する外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関であって、かつ、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行う医療機関をいいます。
************	***		
	、感染症緊急包括支援事業(医療分) イルス感染症患者等における外国人患者の受入れ体制確保事		利用したことがある
業			事業を知っており、 対象医療機闘※ であるが、利用していない
https://www.mhlw.g	o.jp/content/000775950.pdf#page=15	0	事業を知っているが、 <mark>対象医療機関※</mark> ではない
		0	知らなかった
			※都道府県、政令市及び特別区並びに新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関であって、かつ、都道府県が選出する「外国人患者を受け入れる拠点的な
			医療機関(選出予定を含む。)」である医療機関をいいます。
	医療費未払情報報告システム		医療機関登録をしている
https://www.mhlw.g	o.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000202921_00012.html	0	内容を知っていたが、医療機関登録をしていなかった
		0	名前は聞いたことがあったが内容は知らなかった
			知らなかった

3. 外国人患者に対応する体制について

3-1. 貴院における外国人患者の受入れに関する体制について伺います。

質問	回答
1. 自院における外国人患者の受診状況	○ 詳しく把握している
(患者数、国籍、言語、在留か訪日か、等)	おおまかに把握している
	○ 把握していない
2. 外国人患者の受入れ体制の現状把握および課題抽出※	○ 実施している
	○ 実施していない
3. 自院における「外国人患者受入れ体制整備方針」※について	
※外国人患者受入れ体制整備方針とは、「外国人患者の受入れのための (https://www.mhlw.go.ip/content/10800000/000795505.pdf#page=44)	
ている、医療費の設定、医療費概算の提示方法、通訳体制、院内文書の 備などを検討することをいいます。	多言語化、マニュアルの整
間からにはおりでもことできます。	

3-2. 外国人患者を受入れる体制の整備状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者対応の専門部署	部署あり ⇒3-2-2. 職員数へ部署なし ⇒3-2-3. マニュアルへ
2. 外国人担当の専門部署の職員数	Α
3. 外国人対応マニュアルの整備状況	● 整備している ● 作成中(作成検討中)である ● 整備していない

3-3. 外国人患者受入れ医療コーディネーター※ について伺います。 ※外国人患者受入れ医療コーディネーターとは「外国人患者を受入れるための院内や院外関係者との顕整を中心となってコーディネーサる役配を担予順員」をいいます。通販のみの役割を担予職員は「外国人患者受入れ医療コーディネーター」には該当しませか。

プログログライス 1. 外国人患者受入れ医療コーディネーターの人数	回答 ○ 0人 ⇒3-4. 医療通訳へ
1. 外国人患者安人和医療コーティネーターの人致	○ 0人 ⇒3-4. 医療通訳へ ○ 1人 }
	○ 2人] ⇒ 3-3-2. 専任·兼任の別へ
	○ 3人以上]
	O SAME I
2. 専任·兼任の別	専任のみ配置 ⇒3-3-4. 常勤・非常勤の別へ
	専任・兼任とも配置 ⇒3-3-3. 職種へ
	★任のみ配置 ⇒3-3-3. 職種へ
, 3. (兼任の場合)医療コーディネーターの職種	医師
(該当するもの全てにチェック)	看護師
(3)	□ その他医療関係の有資格者
	■ 事務職員(医療通訳を除く)
	医療通訳
	□ その他
	_
4. 常勤・非常勤の別	○常勤のみ配置
	○ 常勤·非常勤とも配置
	○非常動のみ配置
, 5. 週の中でコーディネーターがカバーしている日時	○ 平日の日勤帯
	○ 24時間
	○ その他
6. コーディネーターの役割	□ 外国人患者対応に特有の院外関係者(大使館や旅行会社、通訳者など)との連絡調整
(該当するもの全てにチェック)	□ 日本人患者でも発生する院外関係者(地域の医療機関や保健所など)との連絡調整
	院内の部署・職種間の連絡調整
	□ 患者や患者家族とのコミュニケーション
	□ 自身による通訳の実施 ⇒3-3-7. 対応言語へ
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
7. (自身による通訳を実施している場合)対応言語	英語
(該当するもの全てにチェック)	中国語
	□ 韓国・朝鮮語
	□ポルトガル語
	スペイン語
	□ ペトナム語
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。

3-4. 医療通訳※ について伺います。
※4日人患者受入れ医療コーディネーターが通際を担当している場合は、3-3でお答えください。

質問	回答
. 医療通訳の人数	○ 0人 ⇒3-4-7. 患者自身による医療通訳の手配へ ○ 1人
2. 専任・兼任の別	専任のみ配置 ⇒3-4-4. 常勤・非常勤の別へ 専任・兼任とも配置 ⇒3-4-3. 職種へ 兼任のみ配置 ⇒3-4-3. 職種へ
3. (兼任の場合)医療通訳の職種 (装曲するもの全てにチェック)	□ 医師 □ 看護師 □ その他医療関係の有資格者 □ 事務職員 □ その他
4. 常勤・非常勤の別	常勤のみ配置常勤・非常勤とも配置非常勤のみ配置
5. 週の中で医療通訳がカバーしている日時	○ 平日の日勤帯○ 24時間○ その他
6. 対応言語 (装当するもの全てにチェック)	英語 中国語 韓国 朝鮮語 ポルトガル語 スペイン語 ペトナム語 その他 その他について具体的にご記入ください。
7. 患者が日本語でコミュニケーションがどれない場合は、患 者自身で医療通訳を手配してから来院するように、患者に 案内している(医療機関のホームページ等による案内も含む)	○ はい ○ いいえ

3-5. 電話通訳(遠隔通訳)※について伺います。 ※電話通訳とは、映像を伴わない音声のみの遠隔通訳をいいます。

質問	回答	
1. 電話通訳(遠隔通訳)の利用の有無	○ 利用している ⇒3-5-2. 事業者名へ	
	○ 利用していない ⇒3-6. ビデオ通訳へ	
2. 利用している事業者名(サービス)	事業者名についてご記入ください。	
	A 7.0 a 0.0 M	
3. 電話通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	○ 平日の日勤帯○ 24時間	
	○ その他	
	COME	
4. 電話通訳(遠隔通訳)が対応している言語	英語	
(該当するもの全てにチェック)	□中国語	
	□韓国・朝鮮語	
	□ ポルトガル語	
	□ スペイン語	
	□ ベトナム語	
	□ タイ語	
	□ フランス語	
	□ ロシア語	
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。	

3-6. ビデオ通訳(遠隔通訳)※について伺います。 ※ビデオ通訳とは、映像を伴う遠隔通訳をいいます。

質問	回答		
1. ビデオ通訳(遠隔通訳)の利用の有無	○ 利用している	⇒3-6-2. 事業者名へ	
	○ 利用していない	⇒3-7. タブレット端末等へ	
2. 利用している事業者名(サービス)	事業者名についてご記入くだ	ささい。	
3. ビデオ通訳(遠隔通訳)がカバーしている日時	○ 平日の日勤帯		
	○ 24時間		
	○ その他		
4. ビデオ通訳(遠隔通訳)が対応している言語	英語		
(該当するもの全てにチェック)	□ 中国語		
	□ 韓国・朝鮮語		
	□ ポルトガル語		
	□ スペイン語		
	□ ベトナム語		
	□ その他 その他につ	いて具体的にご記入ください。	

3-7. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、その他翻訳機器の利用状況について伺います。

質問	回答
1. 外国人患者の受入れに資するタブレット端末、スマートフォン端末、またはその他翻訳機器の導入状況	○ 医療機関として導入している ⇒3-7-2. 機能へ○ 導入していない、または、医療従事者が個人で使用している ⇒3-8. 案内図へ
2. 端末に備わっている機能 (鉄当するもの全てにチェック)	□マニュアル、説明書等、資料の表示 □ 決済機能 □ 翻訳機能 ⇒3-7-3.対応言語へ □ その他 その他について具体的にご記入ください。
3. (翻訳機能を備えている場合)機種・サービス名 (該当するもの全てにチェック)	 ボケトーク VoiceTra (ボイストラ) ii (イリー) MELON その他 その他について具体的にご記入ください。
4. 翻訳機能を備えている場合)現在使用して端末の対応 言語に含まれていない、あるいは、翻訳性能が実用レ ベルではないために、対応に苦慮した言語	○ 対応に苦慮した言語はなかった ○ 対応に苦慮した言語があった 具体的な音語をご記入ください。

3-8. 院内案内図、院内表示について伺います。

質問	回答	
1. 院内案内図、院内表示の状況	○ 日本語以外に翻訳している ○ 日本語のみ	⇒3-8-2. 対応言語へ ⇒3-9. その他の取り組みへ
2. (翻訳している場合)対応言語 (鉄当するもの全てにチェック)	英語 中国語 韓国・朝鮮語 ボルトガル語 スペイン語 ベトナム語 その他 その他について具体的にご記	入ください。

3-9. 訪日外国人患者(医療液輸)※の受入れについて伺います。
※訪日外国人患者(医療液輸)※の受入れについて伺います。
※訪日外国人患者(医療液験)とは、日本に入国する前に、医療機関と関型した上で、医療(健診含む)を受けることを目的とし来日した外国人をいいます。

質問		回答	
1. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れに 院の方針	こついて、今後の貴	0	積極的に受入れる
		0	依頼があれば受入れる
		0	受入れはしない
		0	検討していない、方針はない
	•		

3-10. その他、貴院において多言語に対応するために行っている取り組みや、海外進出(海外にブランチ病院を作る等)の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

_			

4. 医療費について

4-1. <u>自由診療</u>で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

4-2. **保険診療**で外国人患者を診療する場合の医療費の請求方法について伺います。

質問	回答
1. 診療報酬点数表に含まれない費用の請求状況※	追加的な費用請求をしていない ⇒5. キャッシュレス決済へ
※決めていない医療機関は「追加的な費用請求をしていない」を選択してください。	○ 追加的な費用請求をしている ⇒4-2-1. 費用の内訳へ
TO TO TAKE A STATE OF THE PARTY	T New Actual
2. 保険診療外の費用として別途請求している費用	□通訳料
(該当するもの全てにチェック)	文書翻訳料
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。

5. キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済の導入状況について伺います。

黄問	回答
1. クレジットカード(デビットカードを含む)を利用した決済	○ 導入している
	○ 導入していない
2. QRコードを利用した決済	○ 導入している ⇒5-3. 対応しているサービスへ
	○ 導入していない ⇒5-4. その他電子マネーを利用した決済へ
3. (QRコードを利用した決済を導入している場合) 対応しているサービス	□ Alipay(アリペイ)
対応とといるケーとス	□ WeChat Pay(ウィーチャット・ペイ)
(該当するもの全てにチェック)	PayPay(ペイペイ)
	LINE Pay(ラインペイ)
	□ 楽天ペイ
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
4. その他電子マネーを利用した決済	○ 導入している ⇒5-5. 対応しているサービスへ
	○ 導入していない ⇒5-6. その他の決済サービスへ
5. (その他電子マネーを利用した決済を導入している場合)	□ 交通系ICカード(Suica, PASMO, Kitaca, ICOCA, SUGOCA等)
対応しているサービス	nanaco
(該当するもの全てにチェック)	WAON
	□ 楽天Edy
	QUICPay
	□ その他 その他について具体的にご記入ください。
6. その他の決済サービス	○ 導入していない
	○ 導入している サービス名についてご記入ください。
	, CAMILLA CERDANICA O
	1

6. 未収金等への対策

6-1. 訪日外国人患者※を診療する際に実施している取り組みについて伺います。 ※訪日外国人とは、観光等の目的で日本に短期間滞在している外国人といいます。

	回答
日外国人患者への取り組み状況※ 日本人患者と同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをして ない、または方針を決めていない」を選択してください。	○ 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない ⇒6-2. 在留外国人患者へ○ 訪日外国人患者への取り組みをしている ⇒6-1-2. 取り組みの内容へ
リ組みの内容※ 美当するもの全てにチェック) 日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	
司意書を取得している場合)同意の内容 書当するもの全てにチェック)	□ 診療に協力すること □ 請求された金額を支払うこと □ 不払いの場合、次回以降の日本への入国が制限される可能性があること □ その他 - その他について具体的にご記入ください。

6-2. 在留外国人患者※を診療する際に実施している、本人確認について伺います。 ※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留カード所持書)、日本に中長期居住している者をいいます。

質問	回答
1. 保険証以外による本人確認	実施していない、または方針を決めていない ⇒6-3. 医療費回収へ実施している ⇒6-2-2. 本人確認資料へ
2 (保険証以外による本人確認を実施している場合) 確認の際に提示を求めているもの (験当するもの全てにチェック)	□ パスポート □ 在留カード □ その他 - その他について具体的にご記入ください。

6-3. 外国人患者の医療費回収に対して実施している方法について伺います。

質問	回答
 外国人患者への医療費回収の方法※ ※日本人患者に同様の取り組みをしている場合は、「特に取り組みをしていない、または方針を決めていない」を選択してください。 	 特に取り組みをしていない、または方針を決めていない ⇒7. その他へ 外国人患者への医療費回収への取り組みをしている ⇒6-3-2. 回収方法へ
医療費の回収方法 (鉄画するもの全てにチェック) ※日本人患者と同様の取り組みは、記載する必要ありません。	□ 外国人患者の宿泊先で宿泊費とまとめて支払い、後日宿泊先と精算 □ 分割払いの実施 □ 自治体による外国人未払い医療費補填制度の活用 □ その他 その他について具体的にご記入ください。

7. その他

本調査結果については、厚生労働省において取りまとめた上で、各医療機関に同意いただいた範囲で、各都道府県にも施策検討の参考として共有します。また、厚生労働省において 厚生労働科学研究などに活用することがあります。 同意しない場合に い。

8. ご担当者様の情報

本調査に関すること等を問い合わせする際のご連絡先をご記入ください。

. I seel o	・ロンにものかって石田がたと思いただっ

医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査 調査票B(診療所用) 外国人患者の受入に関する調査票

【本調査の目的】 本調査は、各医療機関の外国人患者受入れ体制の状況等の実態を把握する目的で行うものです。

【記入上の注意】

- 【記人上の注意】

 ◆ 末瀬査の調査票は、全国の病院及び抽出された診療所を対象とした調査票A及びBから構成されています。

 諸査票B(診療所用)は、貴険における外国人=地名受入れの実績等についてお尋ねするものです。

 ※外国人とは、日本の国職を存さない者をいます。

 ◆ 本瀬査票においては、特に別の配電がある場合を設き令和3年9月1日~9月30日に受かした外国人についてお答えください。

 回答いただいた選択肢によっては、以降の項目で回答する必要がない設備の回答権が網掛けで塗られる仕様になっています。網掛けされた項目は回答不要です。

 外国人患者の受入れの有無も含めた実態調査のため、外国人患者の受入れ実績がない医療機関におかれても関査にご協力いただきたく、現状の体制をご記入のうえご提出ください。

【お問い合わせ先】 ■調査に関するお問い合わせ 株式会社サーベイリサーチセンター

1. 基本情報

1-1. 貴院の基本情報をご記入ください

ふりがな	
医療機関名	
所在地	〒
	都道府県名 市区町村名 番地
保険機関コード	レセプトに記載される「都連府県コード(2桁)+ 鱼製表コード(1桁)・盛像機関コード(7桁)」を組み合わせた10桁の製値

1-2. 令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた外国人患者について伺います。

	答	
外国人 [※] 患者受入れの有無	○ あり	⇒2. 在留外国人患者の受入れ実績へ
※外国人とは、日本の国籍を有さない者をいいます。	○ なし	⇒6. その他へ

2. 在留外国人患者の受入れ実績について

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた在留外国人患者※ について伺います。

※在留外国人とは、在留資格を持ち(在留力・ド所持者)、日本に中長期居住している者をいいます。在留力・ドや国籍等の詳細を確認していない場合などは把握できる限りで記載してください。

3. 訪日外国人患者(医療渡航を除く)の受入れ実績について

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療液就を除く)※ について伺います。 ※訪日外国人患者とは、親先等の目的で日本に短期間滞在している外国人をいいます。 医療を目的に訪日した外国人は含めないでください。

4. 訪日外国人患者(医療渡航)の受入れ実績について

令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた訪日外国人患者(医療波験)※ について伺います。 ※訪日外国人患者(医療変験)とは、日本に入国する前に、医療機関と調整した上で、医 療(健診含む)を受けることを目的とし来日した外国人をいいます。

東 間	回答	
- 受入れた訪日外国人(医療渡航)の延べ患者数* ※婚末、再来等の区別なく、すべてを合計したもの(当該月に同一患者: 回外未受診した場合は2名と計上する)をご記入ください。	名	
上記1のうち民間医療保険の利用者数	ž ž	
· 上配1について国籍別の延べ患者数	中国名	
	韓国名	
	ベトナム名	
	フィリピン 名	
	インドネシア名	
	オーストラリア名	
	モンゴル 名	
	ロシア名	
	アメリカ合衆国名	
	カナダ 名	
	ブラジル名	
	英国名	
	台湾 名	
	イタリア名	
	シンガポール 名	
	不明名	
	その他名	
	その他の内訳をご記入ください。	
上記1について病名別※の延べ患者数 ※ICD-10コード(2013年版)に基づいて、最も費用を要した病名をI人の	悪性新生物(C00-C97)	名
患者につき1つ選んでください。	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D5	
	眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患(H0)	0-H95) 名 名
	循環器系疾患(100-199)	
	呼吸器系疾患(J00-J99)	
	歯科疾患を除く消化器系疾患(K00-K94)	
	歯科疾患(管理等含む)	名
	筋骨格系及び結合組織疾患(M00-M94)	名 名
	腎尿路生殖器系疾患 (N00-N99)	
	妊娠、分娩及び産褥(000-099)	名
	損傷、中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	名
	その他	名
	その他の内訳をご記入ください。	

来収金を生じた患者の詳細について 令和3年9月1日~9月30日の期間に受入れた外国人患者^{※1}のうち、未収金を生じた<u>全での患者</u>^{※2}について、以下の表にご記入ください^{※3}。 ※1 受入れた患者とは、期間内に外来受診あらいは新たに入陸した患者をいいます。 ※2 未収金を生じた患者とは、診療の対価を請求したにも関わらず、請求日より1ヶ月を経ても診療費の一部、または全部が未収である患者を指すこととします。 ※3 未収金を生じた外国人患者がいなかった場合は本項目の記入は不要です。

	外国人分類	請求総額(円)	未収金額(円)	公的医療 保険の加 入状況	民間医療 保険の加 入状況	医療機関が加入する保 酸や自治体等による未 収金の補填	未収金の理由 (鉄当するもの全てにチェック)
1	● 在留外国人患者			〇 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	分納中・分納交渉中
	訪日外国人患者(医療液航を除く) お日以同し思考(医療液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・液・			○加入	○加入	(補填なし	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○ 不詳	○不詳		□ 排水光が不明・連絡が取れない □ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない
							□ その他
	○ 在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	(予定合む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)			〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
							生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
							一その他
	○ 在留外国人患者			() 未加入	○ 未加入	() 補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)			○加入	○加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○ 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない□ その他
	○ 在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)			〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 助日外国人患者(医療渡航)			〇 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない □ たぶに用窓しておりませい作为がない。
							□ 生活に困窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
							□ 収の働きかけをしていない
							□ その他
	○ 在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)			○加入	○加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○ 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
							□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない□ その他
				0	0.01	0 101111	
	○ 在留外国人患者○ 訪日外国人患者(医療渡航を除ぐ)			○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	○ 補填済み(予定含む)○ 補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液肌を除く)○ 訪日外国人患者(医療液航)			○元詳	○加人	THESE	□ 請求先が不明・連絡が取れない
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			×	×		□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない
							□ その他
C	在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	助日外国人患者(医療渡航を除く)			〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
•	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
							生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない□ 回収の働きかけをしていない
							□ その他
	○ 在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	() 補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
) 訪日外国人患者(医療渡航を除く)			○加入	○加入	○補填なし	□保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
	_						□ 生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない
							□ 回収の働きかけをしていない
							□ その他
	在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入		分納中・分納交渉中
	防日外国人患者(医療渡航を除く)			○加入	○加入	(補填なし	保険会社と交渉中
() 訪日外国人患者(医療渡航)			〇 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない □ はままれば、
							□ 生活に困窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
							□ 支払いの意思かない
							□ その他
	○ 在留外国人患者			○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	訪日外国人患者(医療渡航を除く)			〇 加入	〇 加入	(補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)			○不詳	○不詳		請求先が不明・連絡が取れない
							生活に困窮しており支払い能力がない
							□ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
		1	1	1	1	l	□ □収の働きかけをしていない
							□ その他

1	○ 在留外国人患者		○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		○ 加入	○ 加入	(補填なし	□ 保険会社と交渉中
	助日外国人患者(医療渡航)		○ 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
						□ 生活に困窮しており支払い能力がない
						□ 支払いの意思がない
						□ 回収の働きかけをしていない
						□ その他
	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入 ○ 加入	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	助日外国人思者(医療液机を除く)助日外国人患者(医療液航)		〇 不詳		○ 情現なし	□請求先が不明・連絡が取れない
	○ 前日外国人思有(区派展制)		Ŭ TH	○ 不詳		□ 生活に困窮しており支払い能力がない
						□ 支払いの意思がない
						□回収の働きかけをしていない
						□その他
	○ 在留外国人患者		〇 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		○ 加入	○ 加入	○ 補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)		○ 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
						□ 生活に困窮しており支払い能力がない
						□ 支払いの意思がない
						□ 回収の働きかけをしていない
						□ その他
	在留外国人患者		○ 未加入 ○ 加入	○ 未加入	補填済み(予定含む)補填なし	□ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く) ○ 訪日外国人患者(医療渡航)		○ 加入	○加入	→ 情項なし	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
	○ 切口介国人思有(医療展析)		○ 本語	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に困窮しており支払い能力がない
						□ 支払いの意思がない
						□ 回収の働きかけをしていない
						□その他
,	○ 在留外国人患者		〇 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	○ 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)		○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
						生活に困窮しており支払い能力がない
						支払いの意思がない
						回収の働きかけをしていない
						一その他
3	○ 在留外国人患者		○ 未加入	○ 未加入	() 補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 計日外国人患者(医療渡航を除く)		○加入	○加入	(補填なし() 補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 助日外国人患者(医療渡航)		〇 不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
	•					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
						□ 支払いの意思がない
						□ 回収の働きかけをしていない
						□ その他
7	在留外国人患者		○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	○ 加入	(補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)		○ 不詳	○ 不詳		請求先が不明・連絡が取れない
						生活に困窮しており支払い能力がない
						□支払いの意思がない
						□ 回収の働きかけをしていない □ その他
						CONE
3	○ 在留外国人患者		○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		○加入	○加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)		〇 不詳	○不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
			1			□ 生活に困窮しており支払い能力がない
		1				□ 支払いの意思がない
		I		1	1	<u></u>
						□ 回収の働きかけをしていない
						□ 回収の働きかけをしていない □ その他
						<mark>□</mark> その他
)	○ 在留外国人患者		○ 朱加入	○ 未加入	○ 補填済み(予定舎む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中
)	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入	補填済み(予定含む)補填なし	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
)						□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない
•	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入		□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に囲劇しており支払い能力がない
)	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入		□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求夫が不明・連絡が取れない □ 生活(国際)(こおり支払い能力がない □ 支払いの意思がない
)	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入		□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に固窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入		□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に関則しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)		〇 加入	〇 加入		□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に固窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
	助日外国人患者(医療達轄を除ぐ)助日外国人患者(医療連轄)		☆加入	○ 加入	☆ 精塊なし	□ その他 □ 分納・分納交渉中 □ 保険を社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に国際しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない □ その他
	○ 防日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 防日外国人患者(医療漢統) ○ 在留外国人患者		○ 加入○ 不詳○ 未加入	○ 加入 ○ 不詳	補填なし補填済み(予定金む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求表が不明・連絡が取れない □ 生活に国前しており支払い能力がない □ 図収の難きかけをしていない □ その他 □ 分納中・分納交渉中
	○ 防日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 防日外国人患者(医療漢統) ○ 在爾外国人患者 ○ 防日外国人患者 ○ 防日外国人患者		加入不詳未加入加入	○ 加入 ○ 不詳 ○ 未加入 ○ 加入	補填なし補填済み(予定金む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求表化不明・道熱が取れない □ 生活に圏駅でおり支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない □ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
)	○ 防日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 防日外国人患者(医療漢統) ○ 在爾外国人患者 ○ 防日外国人患者 ○ 防日外国人患者		加入不詳未加入加入	○ 加入 ○ 不詳 ○ 未加入 ○ 加入	補填なし補填済み(予定金む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・遺秘が取れない。 □ 生活に関助でない。 □ 図収の働きかけをしていない。 □ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・遺秘が取れない。
	○ 防日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 防日外国人患者(医療漢統) ○ 在爾外国人患者 ○ 防日外国人患者 ○ 防日外国人患者		加入不詳未加入加入	○ 加入 ○ 不詳 ○ 未加入 ○ 加入	補填なし補填済み(予定金む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・道感が取れない □ 生活に固彰しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない □ 分納中・分納交渉中 □ 請求先が不明・道能が取れない □ 生活に固彰しており支払い能力がない
	○ 防日外国人患者(医療漢統を除く) ○ 防日外国人患者(医療漢統) ○ 在爾外国人患者 ○ 防日外国人患者 ○ 防日外国人患者		加入不詳未加入加入	○ 加入 ○ 不詳 ○ 未加入 ○ 加入	補填なし補填済み(予定金む)	□ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険者社と芝涛中 □ 請求先が不明・運婚が取れない □ 生活に国際しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ のの働きかけをしていない ○ その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・運路が取れない □ 生活に国際しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない

21	○ 在留外国人患者	○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○加入	〇 加入	○補填なし	保験会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	○不詳	〇 不詳		□請求先が不明・連絡が取れない
	○ 初日が国人忠祖(国際議員)	U 118#	U 11'8#		
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□ 支払いの意思がない
					□ 回収の働きかけをしていない
					□ その他
22	○在留外国人患者	〇 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
					□保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○加入	〇 加入	○補填なし	
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	〇 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□ 支払いの意思がない
					□ 回収の働きかけをしていない
					□ その他
23	○在留外国人患者	〇 未加入	○ 未加入	○ 補填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液航を除く)		○加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	*	○加入		○無規なじ	
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	○ 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□ 支払いの意思がない
					□ 回収の働きかけをしていない
					□ その他
	1			1	- CVIB
24			0 2	O Marrie	
	在留外国人患者	○未加入	○ 未加入	(神境済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 加入	〇 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	訪日外国人患者(医療渡航)	○ 不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
	1				□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□ 支払いの意思がない
	1	1			□ 回収の働きかけをしていない
	1			1	一その他
25	○ 在留外国人患者	○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 加入	○ 加入	○補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液航)	○不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
	-				□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□支払いの意思がない
					回収の働きかけをしていない
					□ その他
26	○ 在留外国人患者	○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	☐ 分納中·分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○加入	〇 加入	○補填なし	□ 保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液航)	○不詳	○ 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□支払いの意思がない
					□回収の働きかけをしていない
					□ その他
27	○ 在留外国人患者	○ 未加入	○ 未加入	(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○ 加入	○ 加入	○ 補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療液航)	○不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
					□支払いの意思がない
					回収の働きかけをしていない
					□ その他
8	在留外国人患者	○ 未加入	○ 未加入	(補填済み(予定含む)	□ 分納中・分納交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航を除く)	○加入	○ 加入	○補填なし	保険会社と交渉中
	○ 訪日外国人患者(医療渡航)	○不詳	〇 不詳		□ 請求先が不明・連絡が取れない
					□ 生活に困窮しており支払い能力がない
	1	1			□ 支払いの意思がない
	1				
					回収の働きかけをしていない
				1	□ その他
19	○在留外国人患者	○未加入	○未加入	(計填済み(予定含む)	□ 分納中·分納交渉中
19	○ 在留外国人患者 ○ 訪日外国人患者(医療演航を除ぐ)	○ 未加入 か加入	○ 加入	○ 補填済み(予定含む) ○ 補填なし	□ 分納中·分納交渉中 □ 保険会社と交渉中
29					
29	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保険会社と交渉中
29	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保験会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に困窮しており支払い能力がない
29	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保験会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に固腐しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
29	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保験会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に囲窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
29	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保験会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に固腐しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない
	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に開涮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない □ その他
	訪日外国人患者(医療液航を除く)	○加入	○ 加入		□ 保験会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に囲窮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない
	防日外国人患者(医療護航を除く)助日外国人患者(医療護航)	○ 加入	加入	◇補類なし	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に開涮しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の働きかけをしていない □ その他
29	○ 助日外国人患者(医療遺航を除く) ○ 助日外国人患者(医療遺航) ○ 在留外国人患者 ○ 助日外国人患者 ○ 助日外国人患者	□ 加入□ 不詳□ 未加入□ 加入	加入 不詳	→ 補填済み(予定含む)	保険会社と交渉中 講座が取れない 生活に国際しており支払い能力がない 支払いの重要がない 回収の働きかけをしていない その他 分納中・分納交渉中 保険会社と交渉中
	○ 防日外国人患者(医療波統を除く) ② 防日外国人患者(医療波統) ○ 在個外国人患者	加入不詳→ 未加入	○ 加入 ○ 不詳	→ 補填済み(予定含む)	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に固削しており支払い能力がない □ 支払いの思思がない □ 団収の無きかけをしていない → その他 □ 分納中・分納交渉中 □ 債験会社と交渉中 ■ 請求先が不明・連絡が取れない
	○ 助日外国人患者(医療遺航を除く) ○ 助日外国人患者(医療遺航) ○ 在留外国人患者 ○ 助日外国人患者 ○ 助日外国人患者	□ 加入□ 不詳□ 未加入□ 加入	加入 不詳	→ 補填済み(予定含む)	□ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に翻削しており支払い能力がない □ 支払いの意思がない □ 回収の動きかけをしていない □ の状の動きかけをしていない □ 分納中・分納交渉中 □ 保険会社と交渉中 □ 請求先が不明・連絡が取れない □ 生活に囲削しており支払い能力がない
	○ 助日外国人患者(医療遺航を除く) ○ 助日外国人患者(医療遺航) ○ 在留外国人患者 ○ 助日外国人患者 ○ 助日外国人患者	□ 加入□ 不詳□ 未加入□ 加入	加入 不詳	→ 補填済み(予定含む)	環験会社と交渉中 講求光が不明・道路が取れない 生活に固削しており支払い能力がない 支払いの意思がない 回収の働きかけをしていない その他 分納中・分納交渉中 保験会社と交渉中 講求光が不明・道路が取れない 生活に固削しており支払い能力がない 支払いの意思がない
	○ 助日外国人患者(医療遺航を除く) ○ 助日外国人患者(医療遺航) ○ 在留外国人患者 ○ 助日外国人患者 ○ 助日外国人患者	□ 加入□ 不詳□ 未加入□ 加入	加入 不詳	→ 補填済み(予定含む)	保験会社と交渉中 歯球売が不明・運搬が取れない 生活に国際しており支払い能力がない 支払いの重要がない 回収の働きかけをしていない その他 分納中・分納交渉中 保験会社と交渉中 請求売が不明・運搬が取れない 生活に国際しており支払い能力がない 支払いの重要がない の扱いの働きかけをしていない
	○ 助日外国人患者(医療遺航を除く) ○ 助日外国人患者(医療遺航) ○ 在留外国人患者 ○ 助日外国人患者 ○ 助日外国人患者	□ 加入□ 不詳□ 未加入□ 加入	加入 不詳	→ 補填済み(予定含む)	環験会社と交渉中 講求光が不明・道路が取れない 生活に固削しており支払い能力がない 支払いの意思がない 回収の働きかけをしていない その他 分納中・分納交渉中 保験会社と交渉中 講求光が不明・道路が取れない 生活に固削しており支払い能力がない 支払いの意思がない

6. その他

□ 本調査結果については、厚生労働省において取りまとめた上で、各医療機関に同意いただいた節囲で、各都道府県にも施策検討の参考として共有します。また、厚生労働省において厚生労働科学研究などに活用することがあります。回復しない場合にチェックをつけてください。

/. c	こ担当個体の情報					
本	調査に関すること等を問い					
	ふりがな					
	お名前					
	ご所属・職名					
	電話番号					
	メールアドレス					